



俺の指先で

滞る世界

4

龍大和

presented by Ryu Yamato  
young magazine KC

The image features a solid red background with a white grid pattern. On the right side, a hand is shown holding a black circular object. The text is located in the bottom left corner.

**cover design :**  
**Tadashi Hisamochi + Nagomi Hashimoto (hive&co.,Ltd.)**

4  
俺の指先で  
濡れる世界

A world wet with my fingertips

龍大和

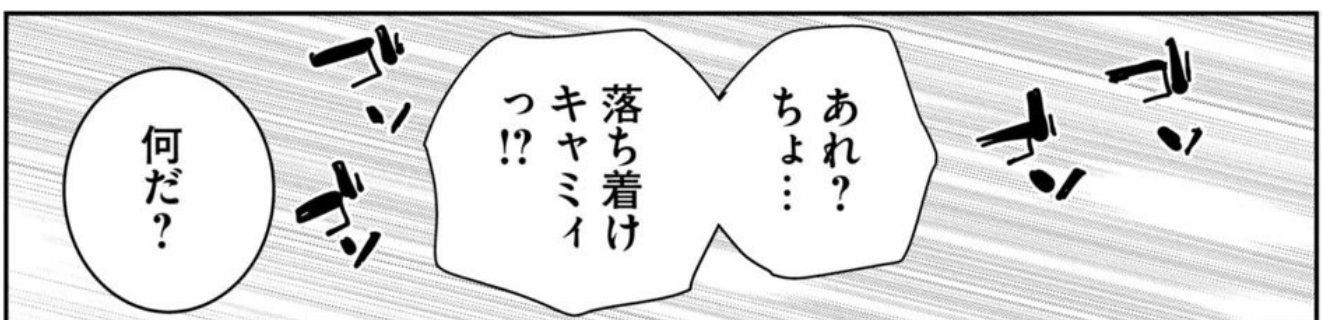
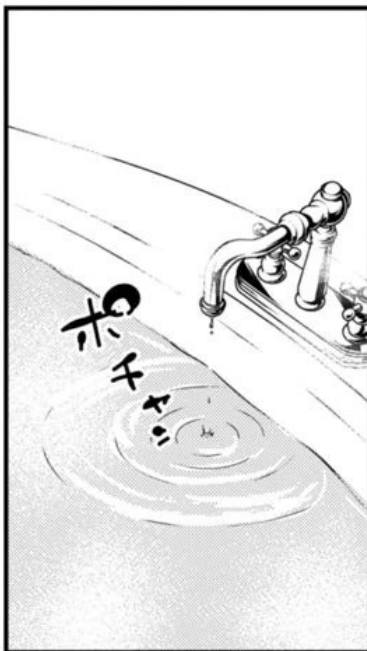
# CONTENTS

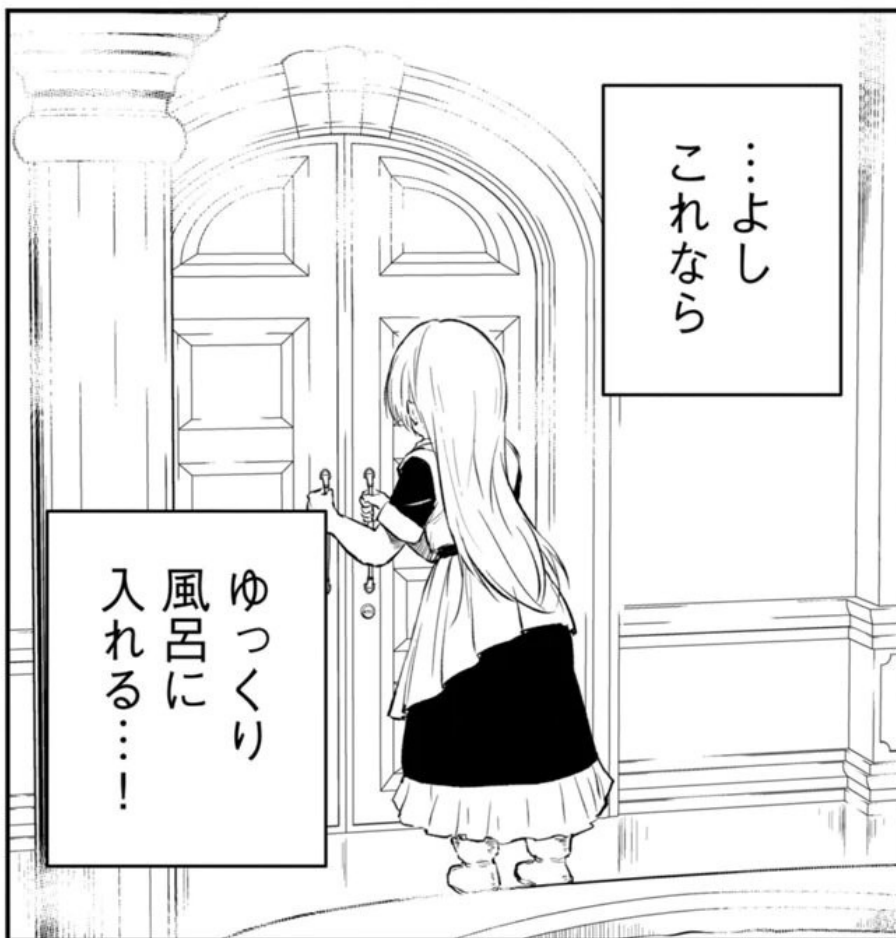
A world wet with my fingertips VOL.4

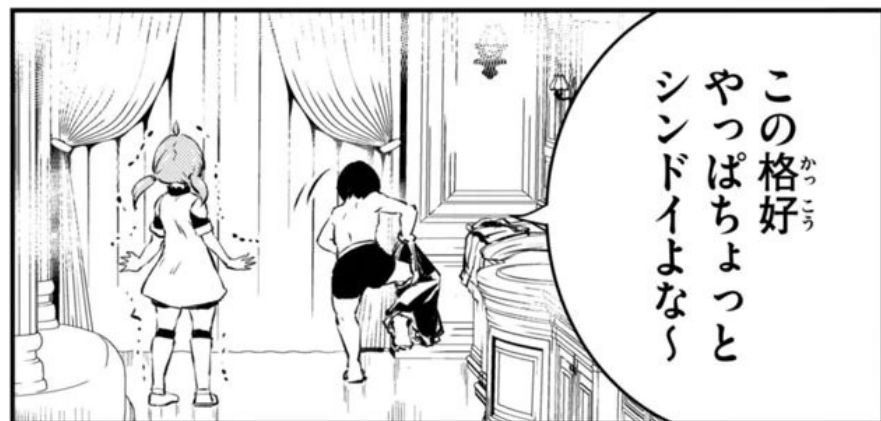
Presented by Ryu Yamato

第25話	オトコのカラダ	003
第26話	男なんかにされるがままに	021
第27話	本当に好きなもの	039
第28話	不都合な真実	057
第29話	集まる視線	077
第30話	怒りのトマト	095
第31話	キャミィの愛	115
第32話	あなたのことが好きだから	133
第33話	じっと見ないで…	151
おまけ	異世界には行かずタイムリープ してしまった件(指の力もあるよ!)	170

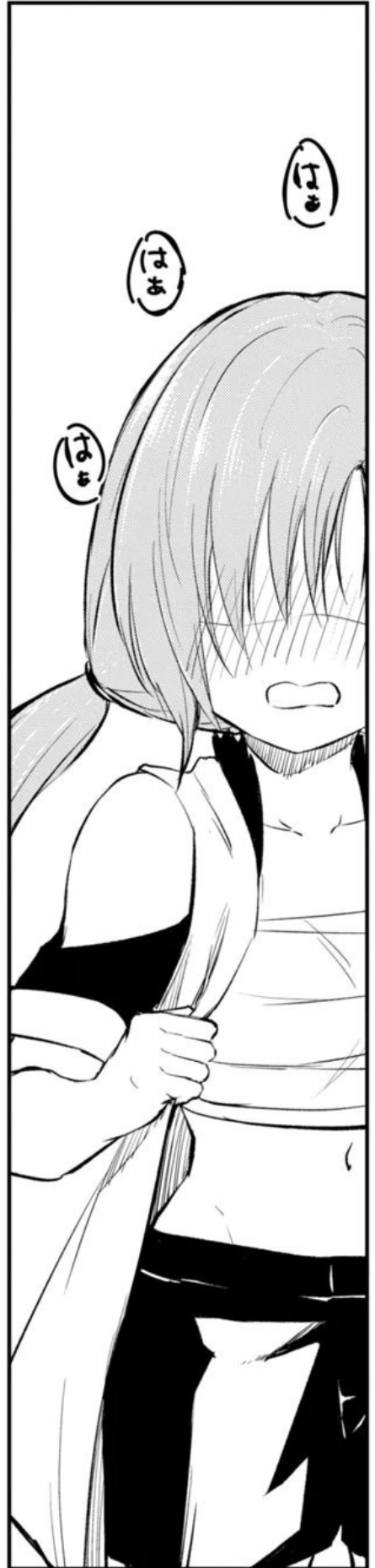
# 第25話 オトコのカラダ

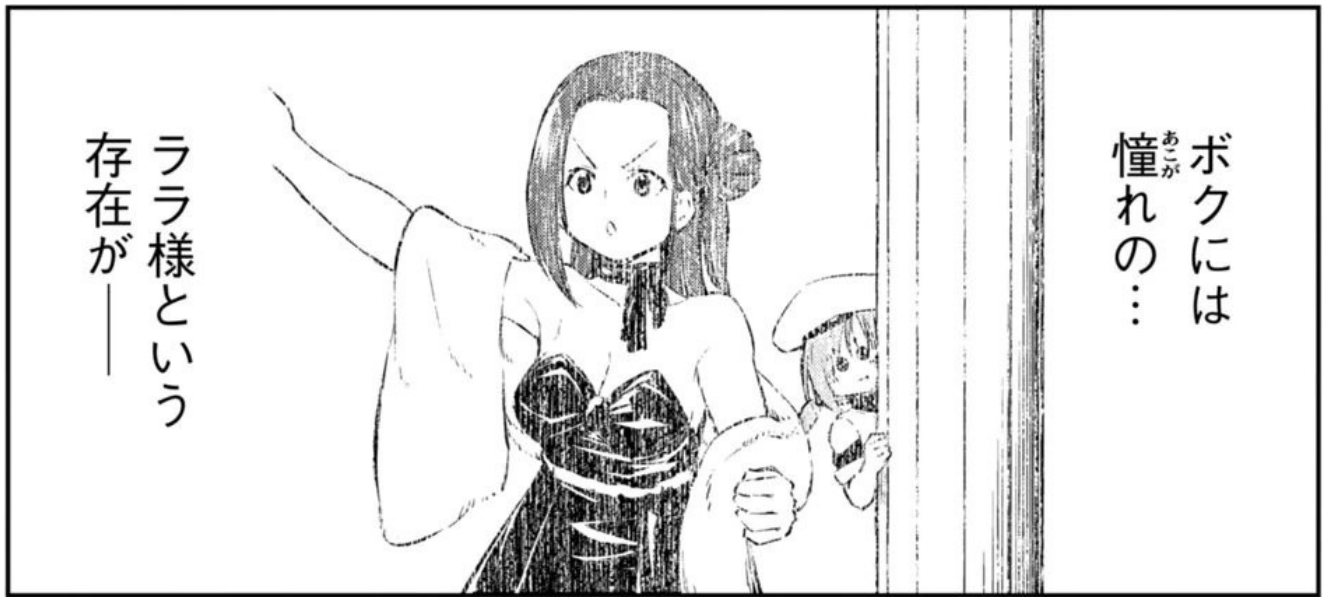












ボクには  
憧れ<sup>あこが</sup>の…

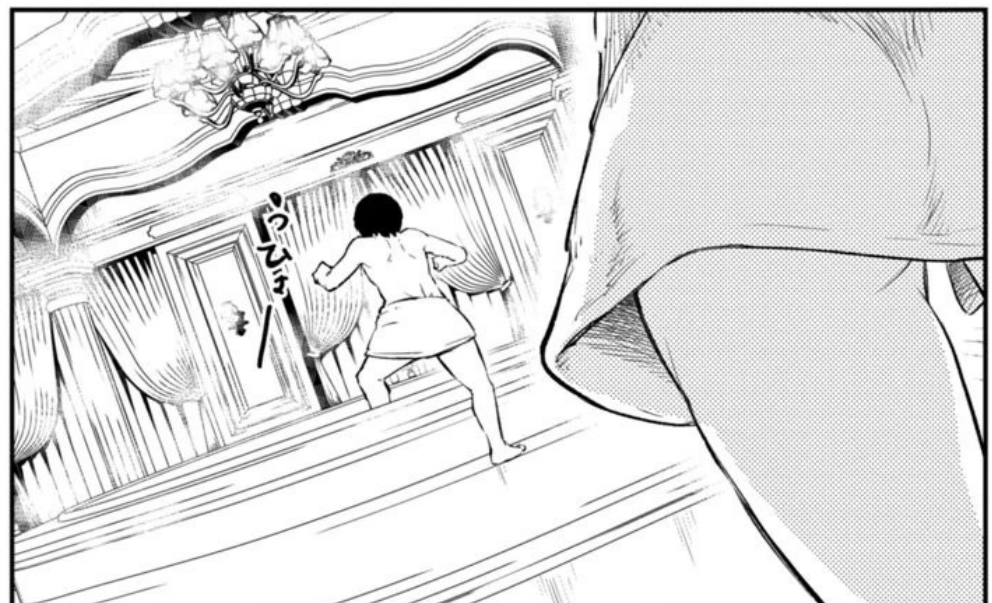
ララ様という  
存在が—



カズリア…



まて…  
まて…









お前の  
ココは…

どうして  
こんなにな  
ってるん  
だ…？

ゴシ  
ゴシ

プシュ



…！



ほ…本には  
書いてなかった  
のか？

その部分は  
切り取られていて  
えっちゃんふか  
閲覧不可だった…

けど…  
ボクの予想  
では…









おちゅ  
おちゅ  
おちゅ

すまない  
カズリア…

はまい

おちゅ  
おちゅ

気持ち  
よすぎ  
…っ♡

おいキヤミイ  
それは擦こってる  
だけ



腰が  
とめられ  
にやい…っ♡

すぢめ

すぢめ

すぢめ



はりり

あ♡

あっ  
またこの  
かんじ…！



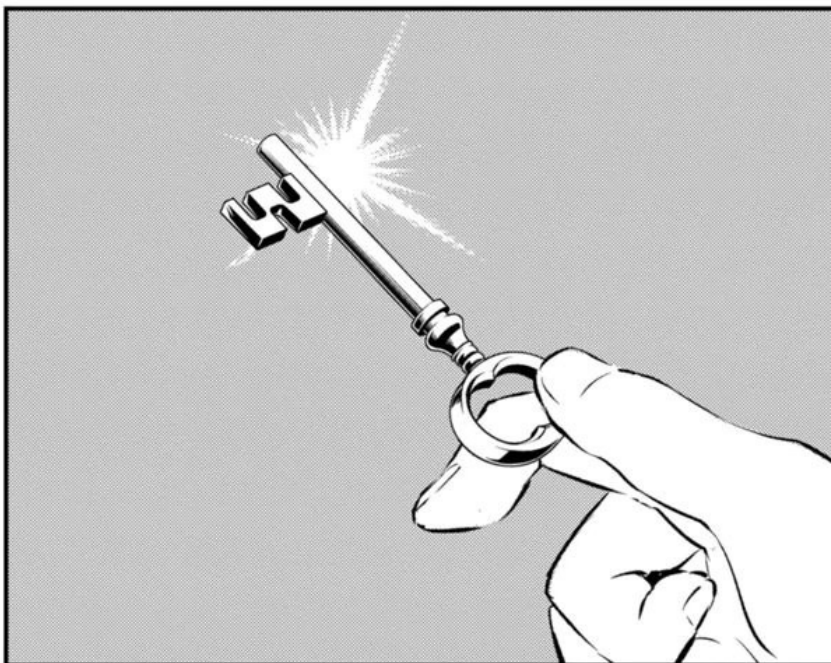


これじゃ  
おさまら  
ないよ...

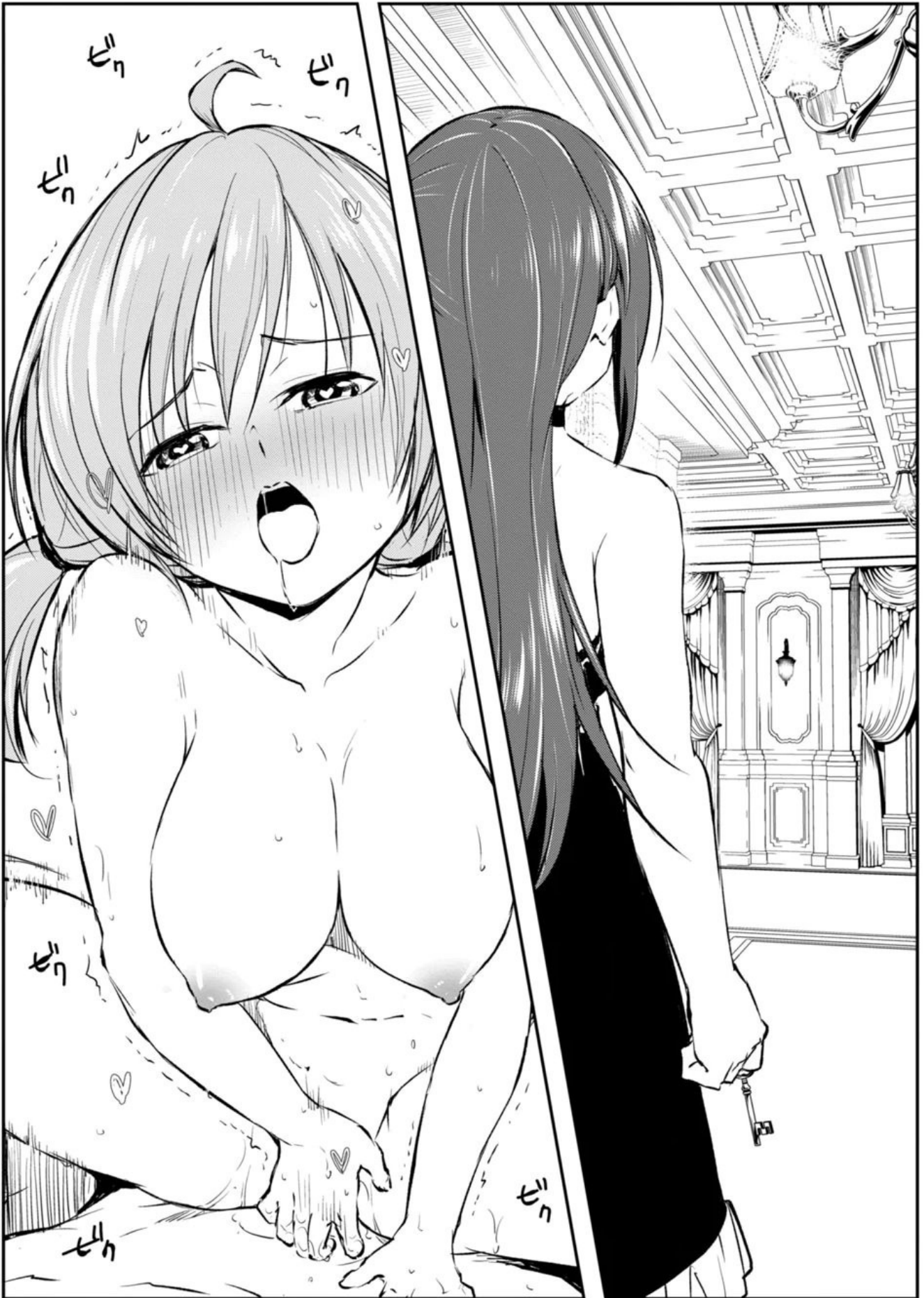
たすけて  
くれ...



あつ…  
そういえば

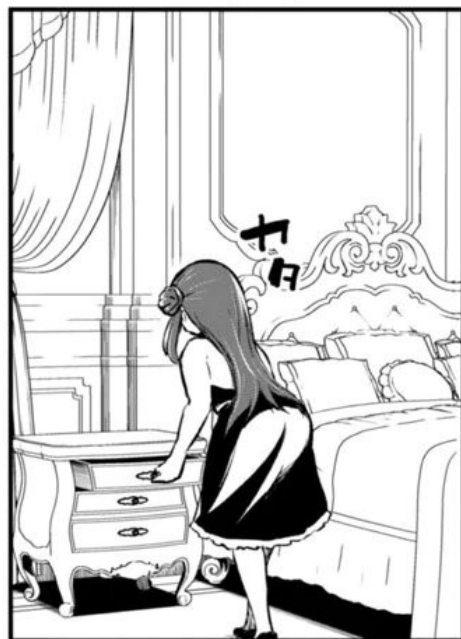
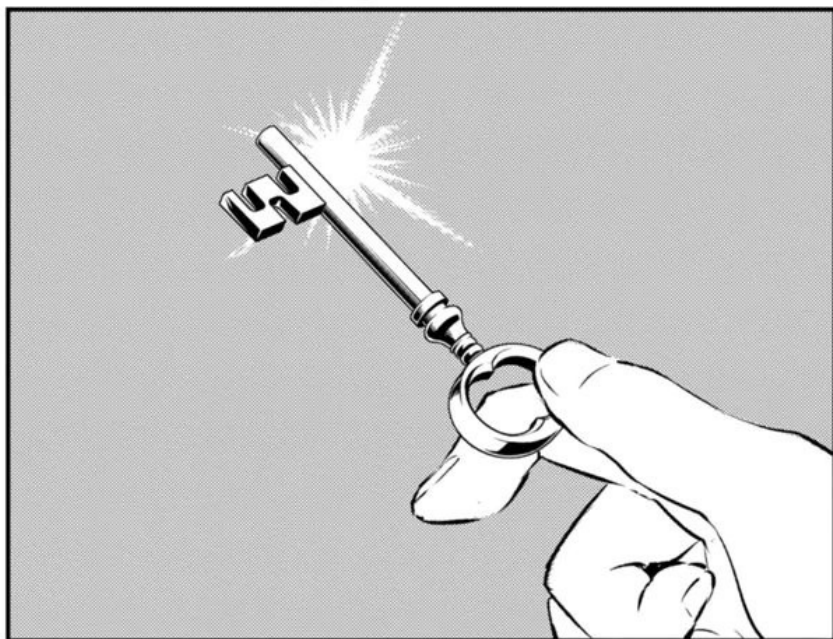


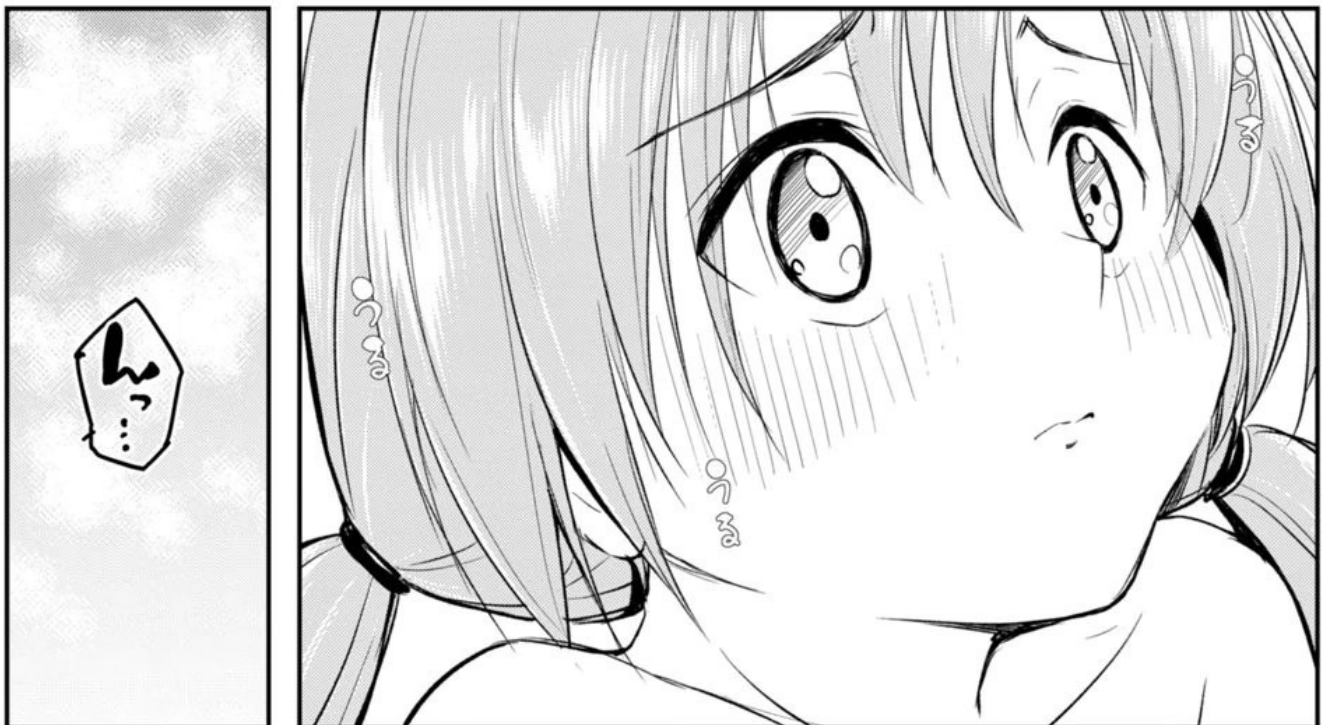
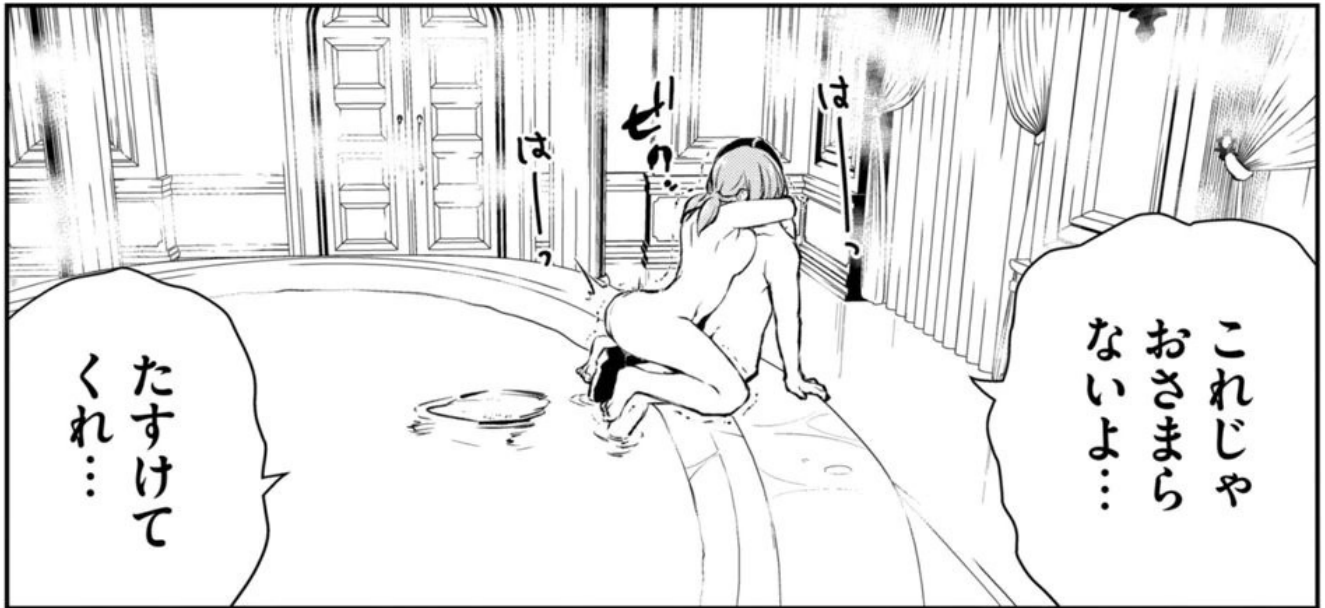
カズリアに  
部屋着を  
渡しておくのを  
忘れていたわ



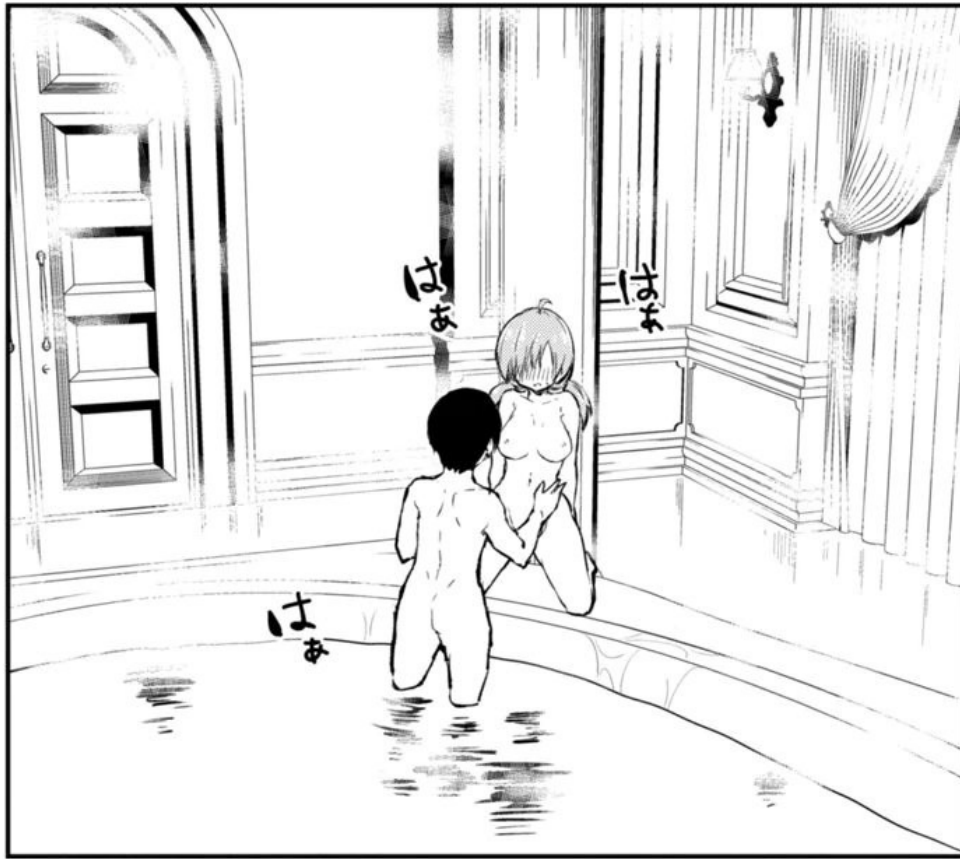
第25話 おわり

# 第26話 男なんかにはされるがまに





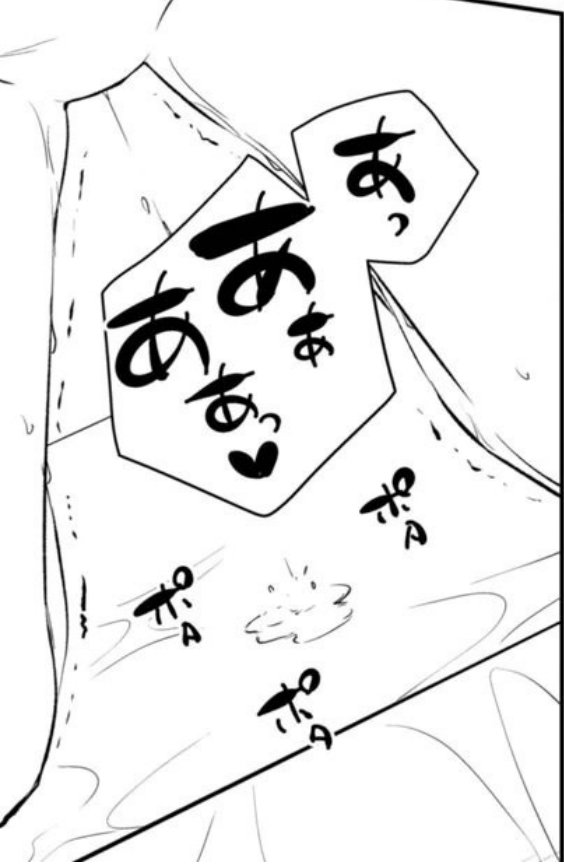




ボクは  
どうすれば  
いい…？

じゃあ  
こっちに…













ボクは  
どうして

言われるが  
ままに  
なってるんだ  
ろう…



ああ…頭では  
ダメだと  
思っているのに

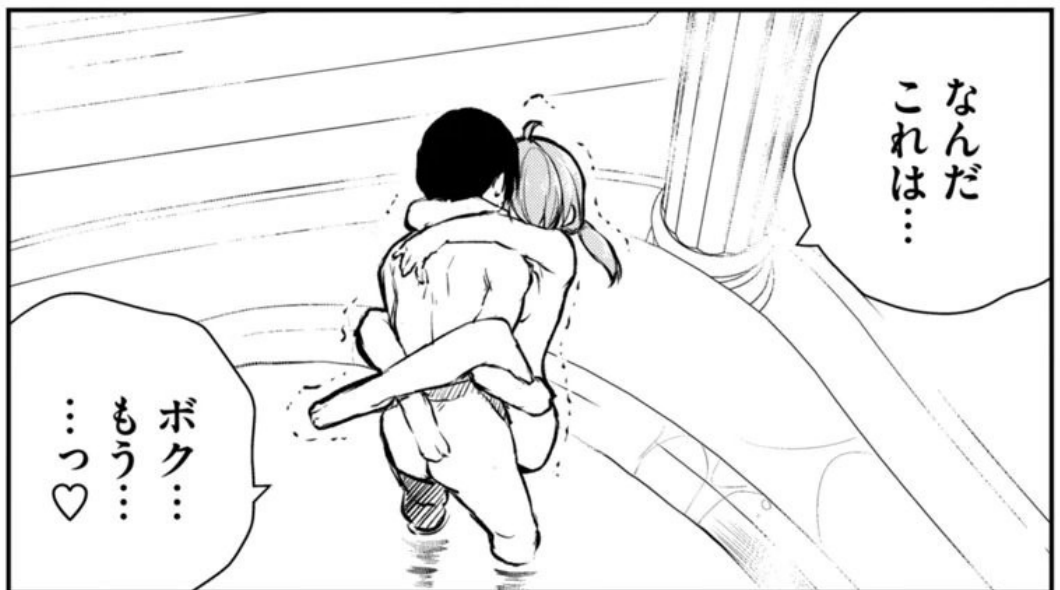
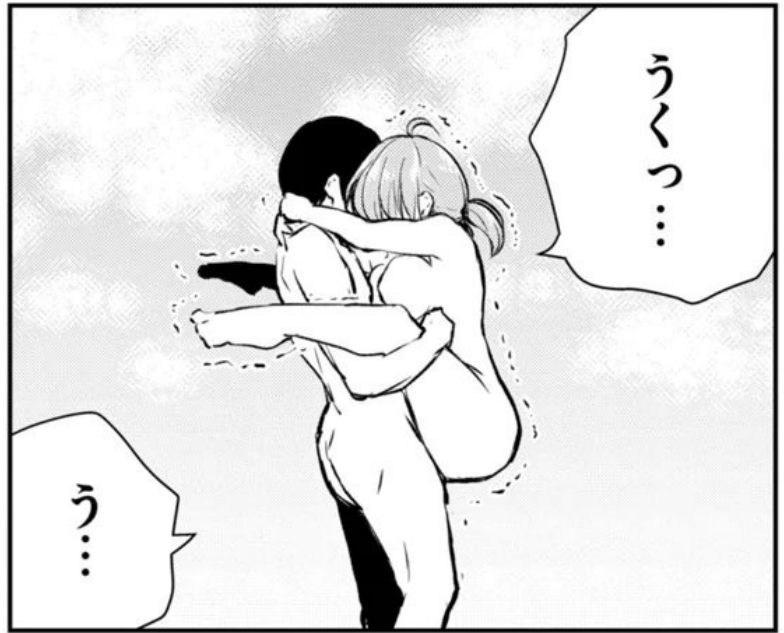
体が反応  
しちゃう…



こんな…  
男なんか

好きにされる  
なんて—







風呂を  
使っているのを  
知ってるのって…

え…いま…  
ノック…?



まさか  
ララ…!?



いま  
やめられたら  
ボク…  
おかしくなるっ

はやく  
イカせて…!!



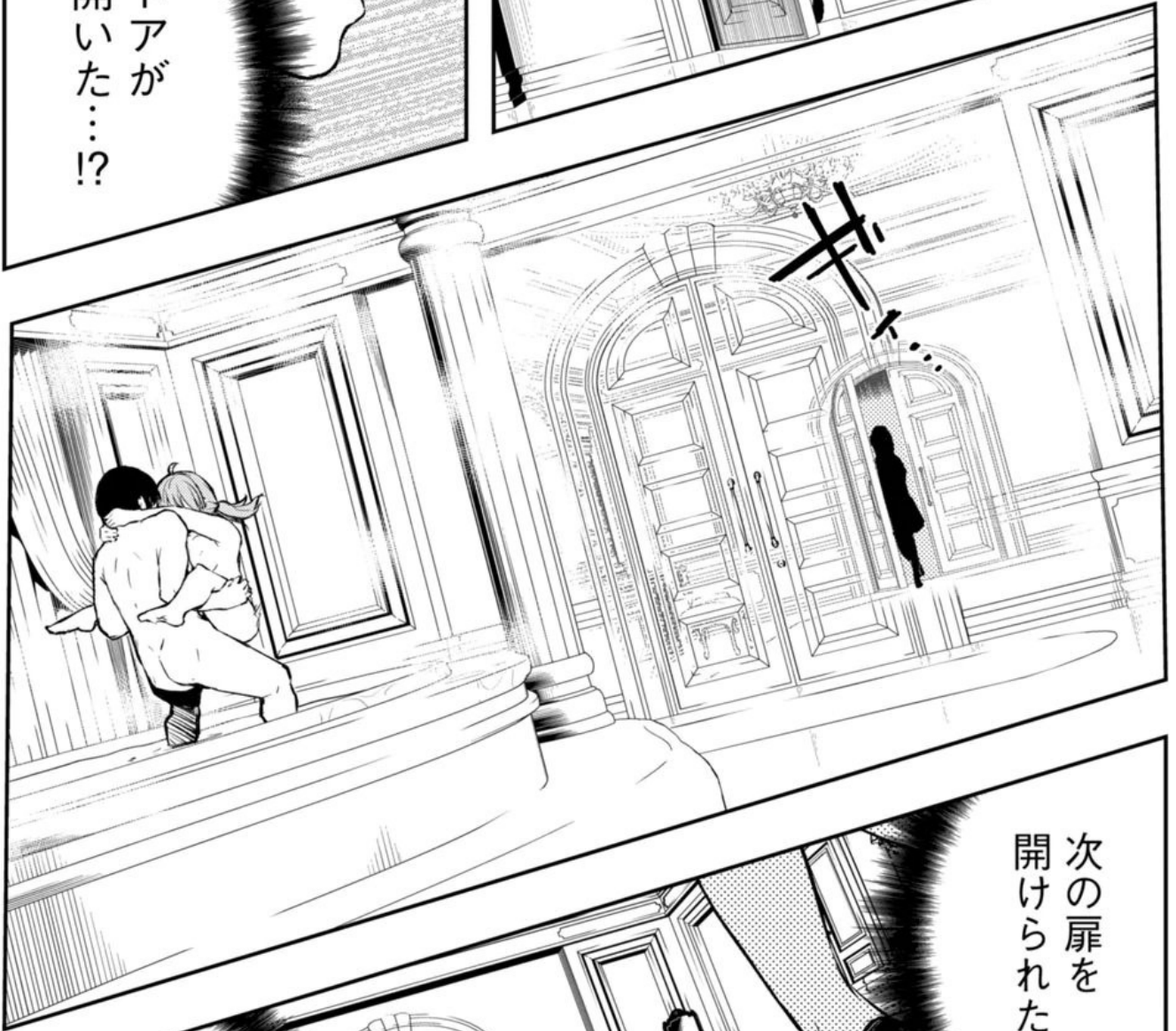
マズイ  
…!

まって  
カズリアっ

やめない  
で…



!?





もう  
イきそう...っ

イクっ



早く  
終わらせ  
なきゃ



おなかの  
おくばっかり  
せめられて

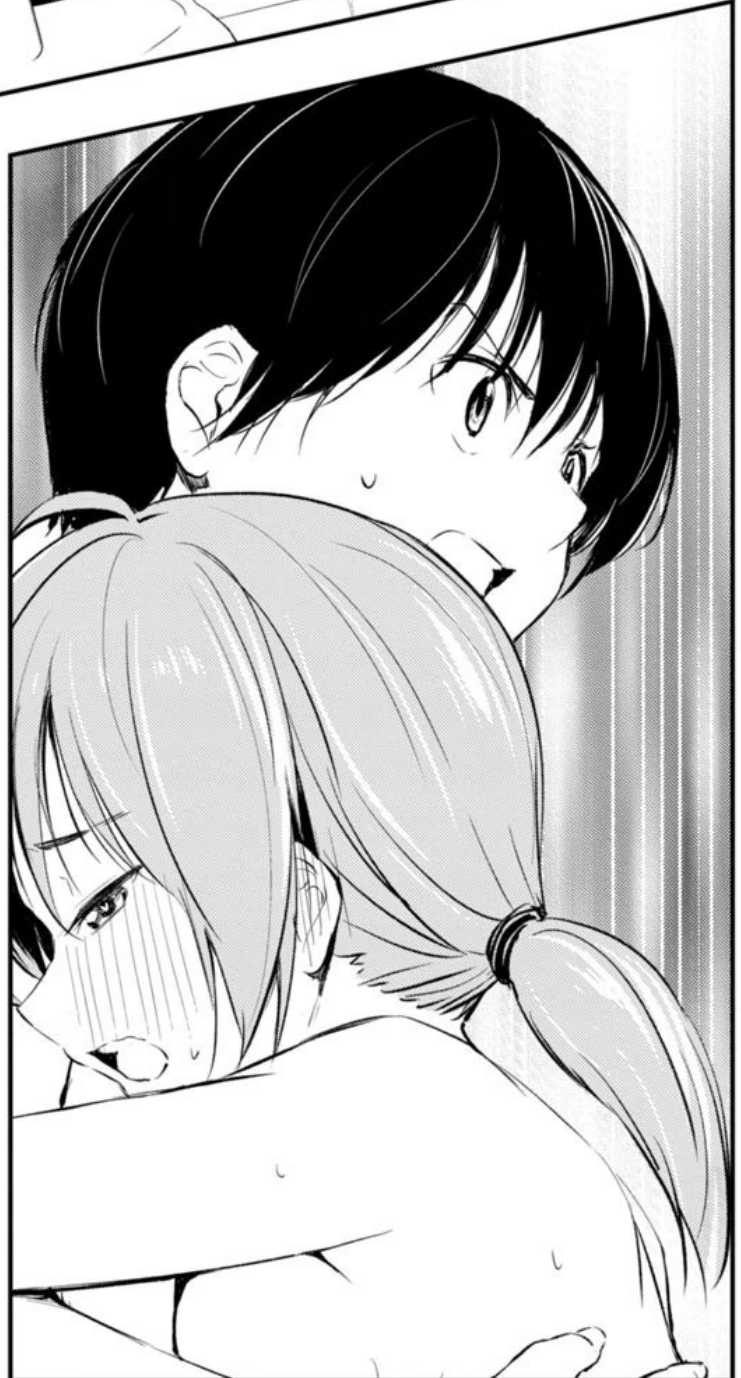






— 見つかる  
!?

# 第27話 本当に好きなもの





え?



あ…あなた  
何しに  
来たの…?

ララ様の命で  
部屋着をお届けに  
参りました



え?



ところで  
カズリア様  
は…？

あーっと  
ちようど今  
トイレに  
行ってて



お待たせ  
しました



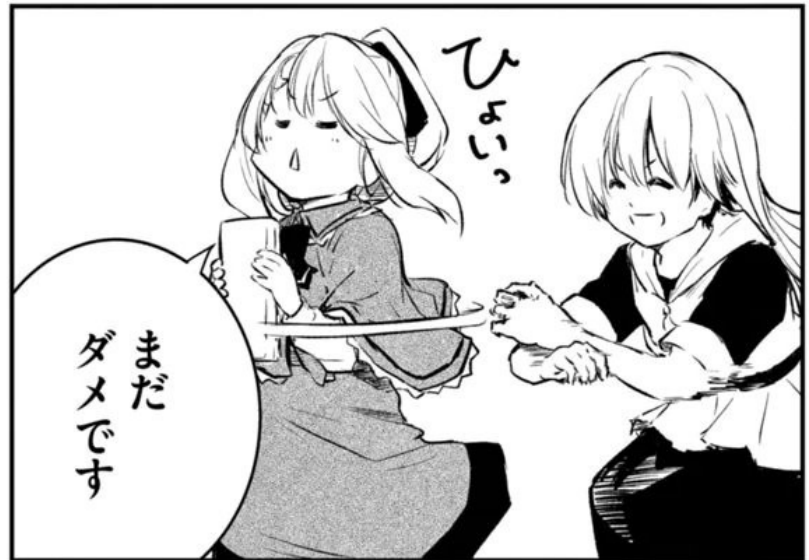
どうして  
これが  
必要に…？



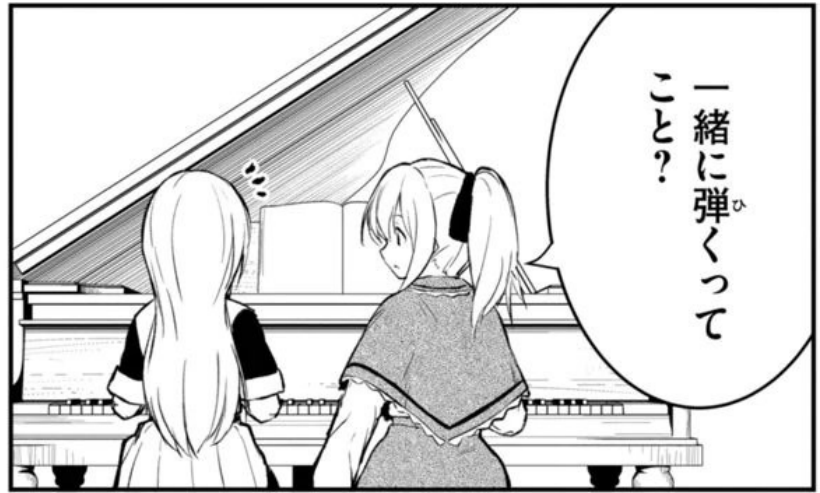
いえ急に  
呼び出したのは  
コチラですから

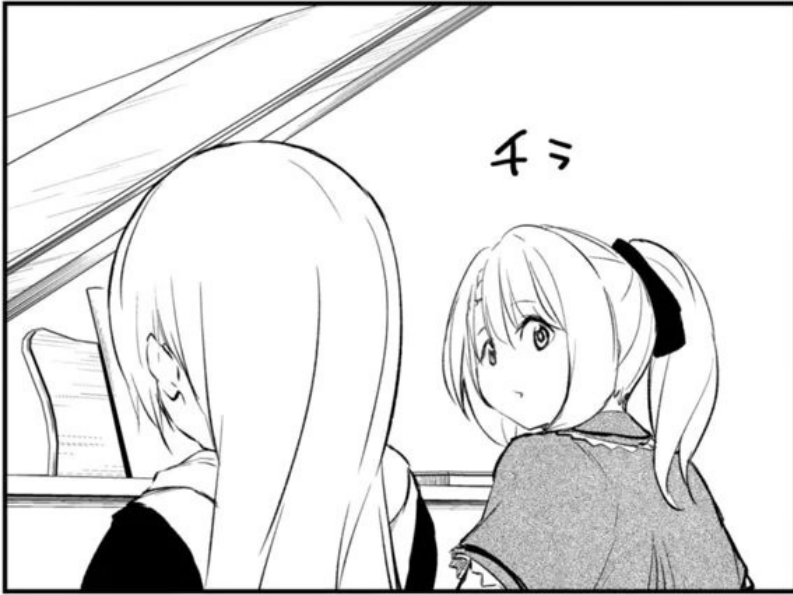
それは  
構いません  
が…

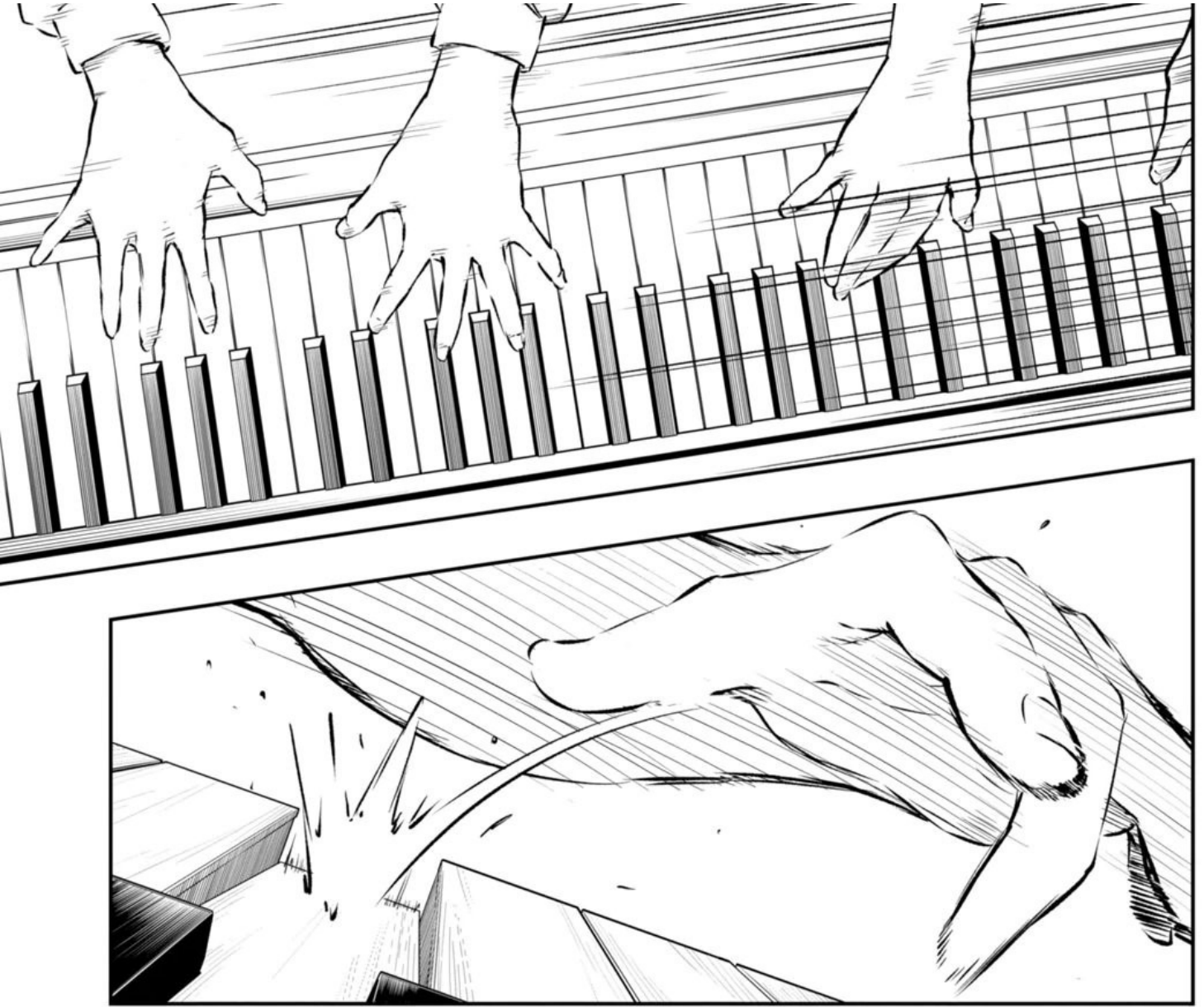




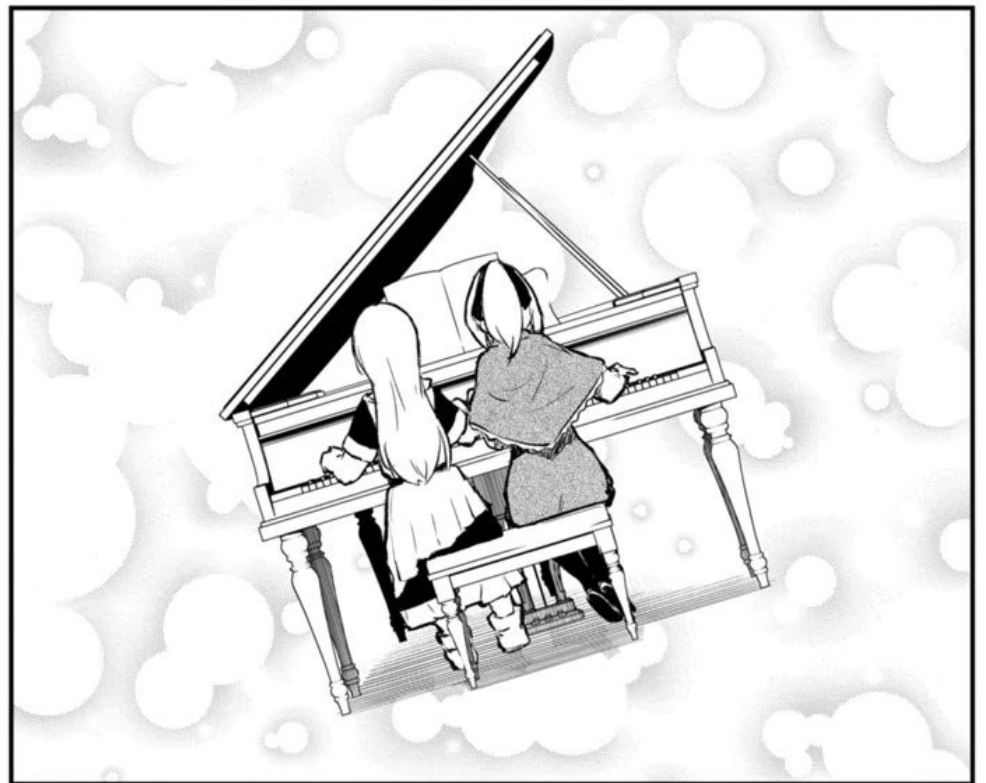




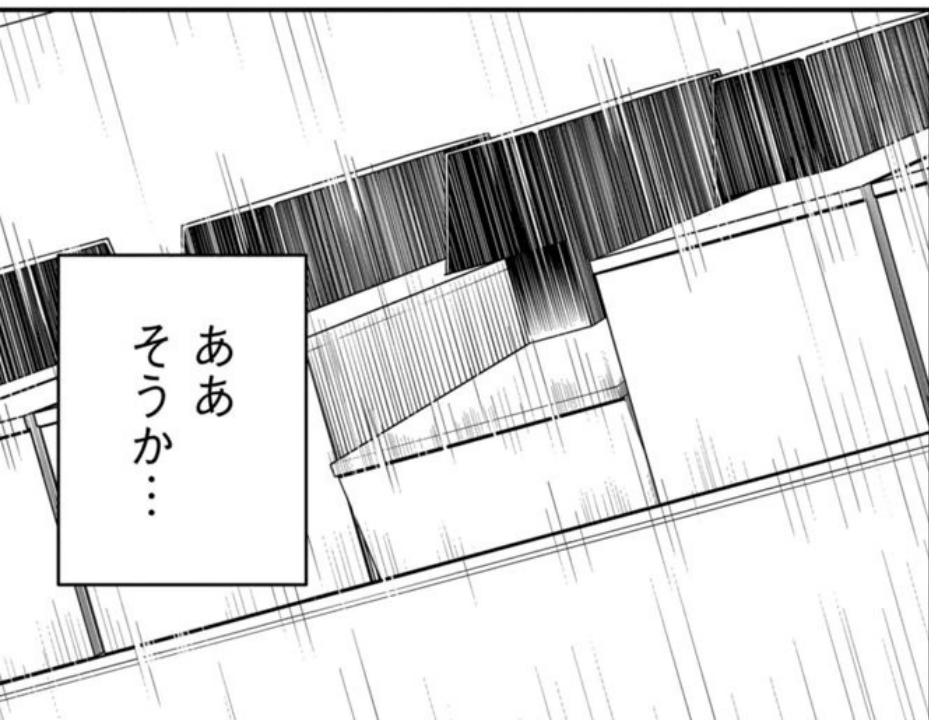
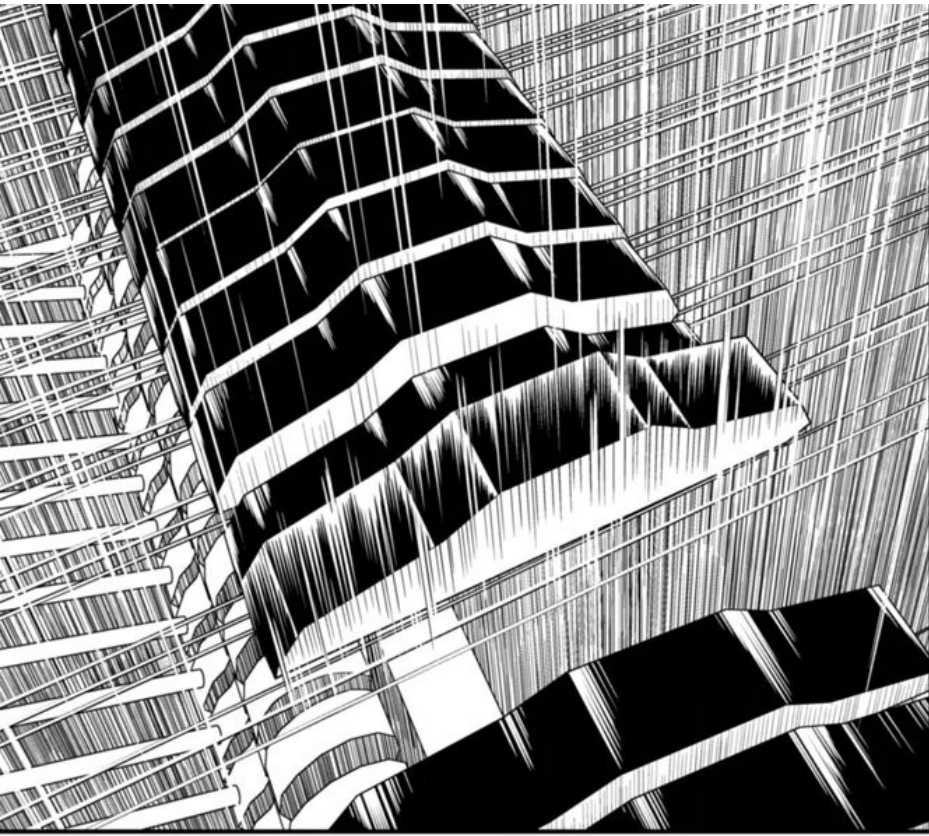




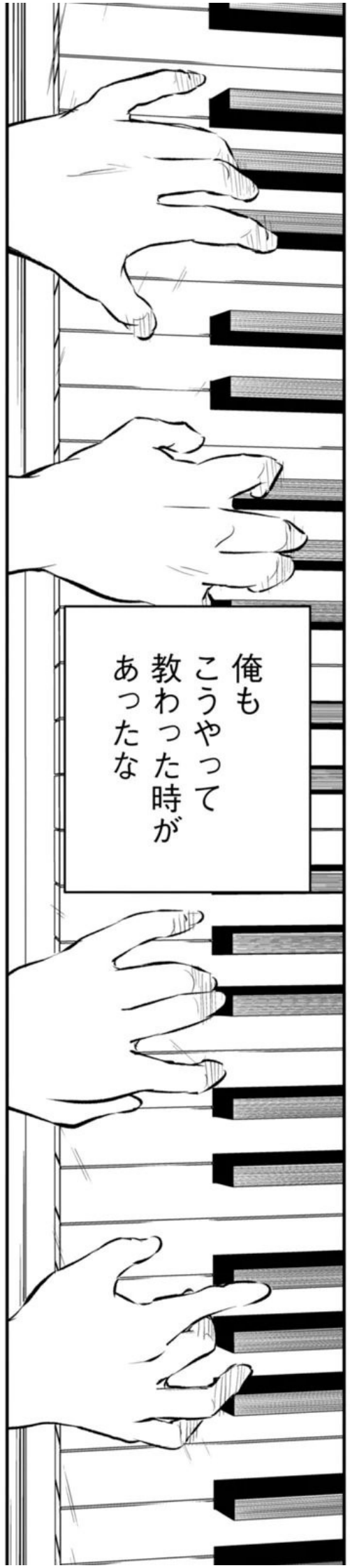
…ね？  
ピアノって  
楽しいでしょ？



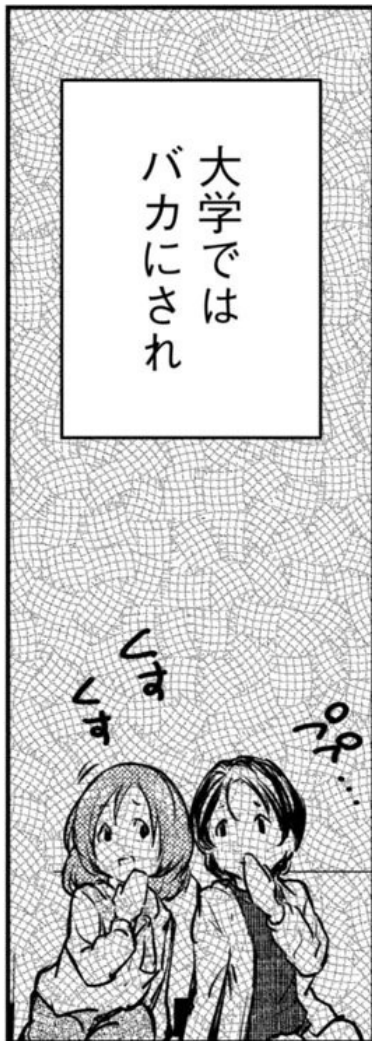




ああ  
そうか…



俺も  
こうやって  
教わった時が  
あったな



大学では  
バカにされ

くす  
くす  
うん...



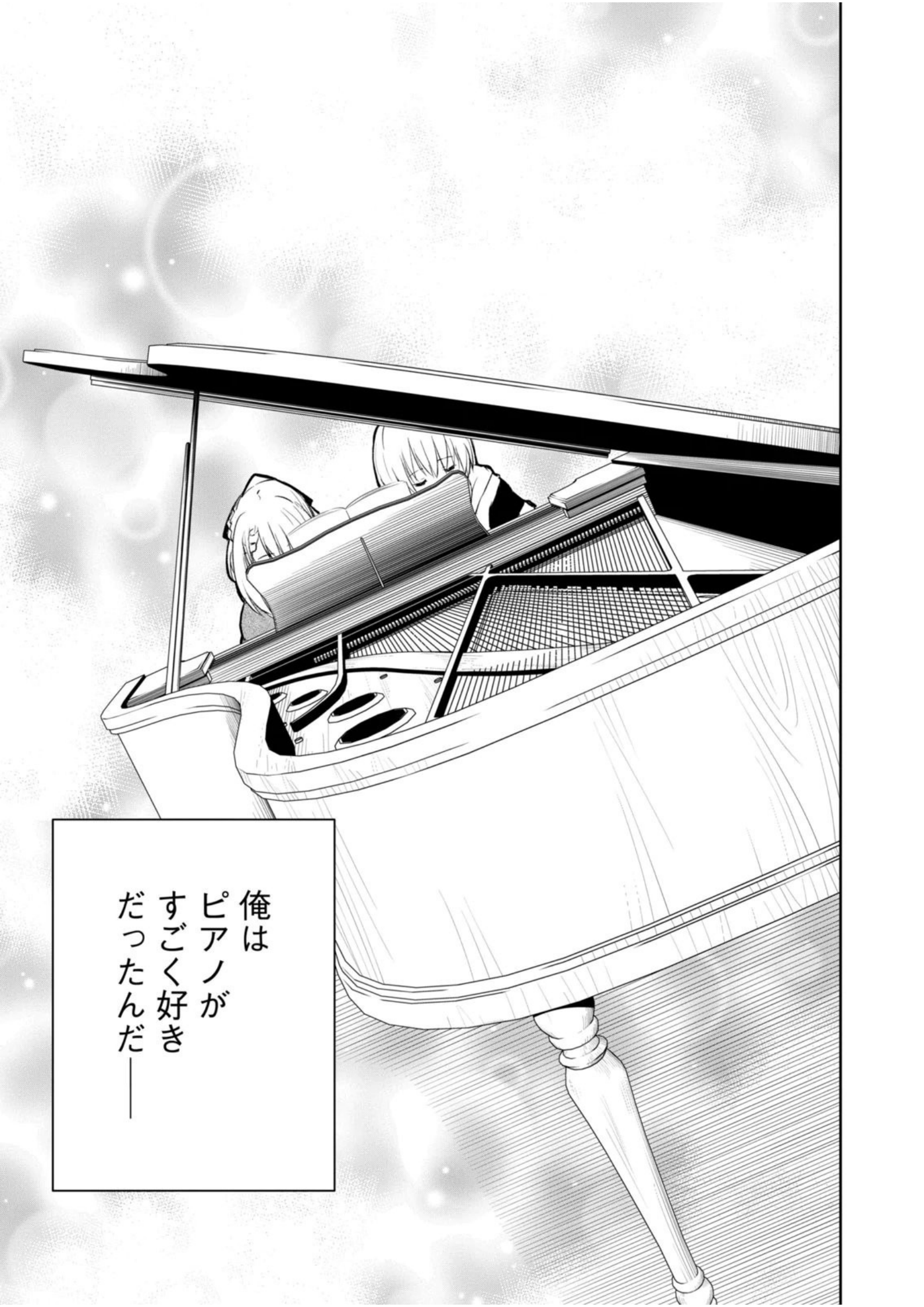
思い出した



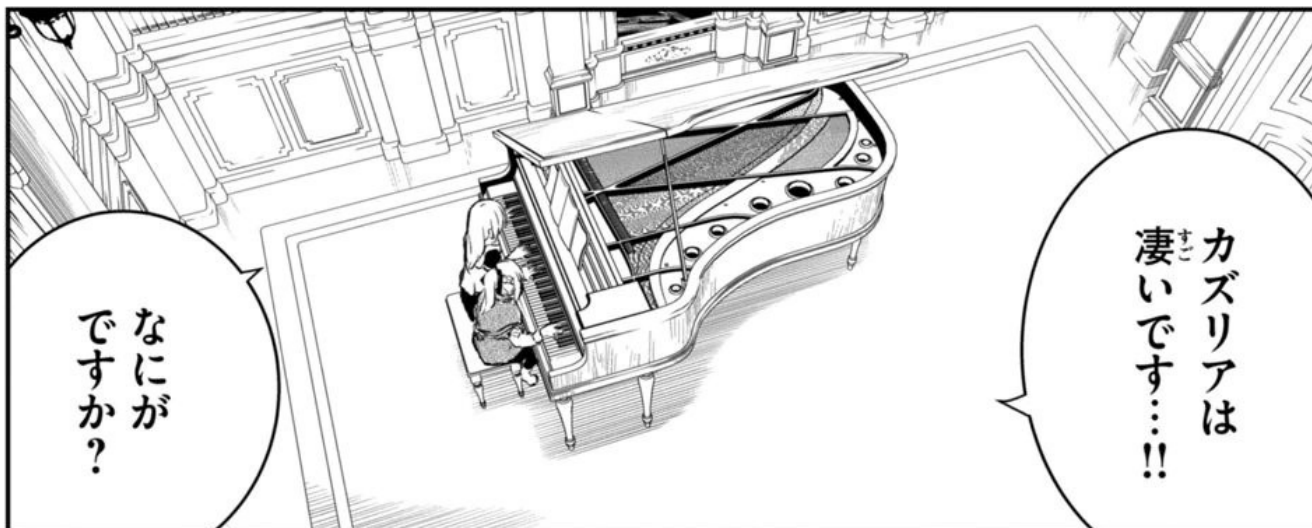
嫌な思い  
ばかりして  
きたけど...



親と  
比べられ



俺は  
ピアノが  
すごく好き  
だったんだ  
—



カズリアは  
凄<sup>すご</sup>いです…!!

なにが  
ですか？



だって  
カズリアと  
弾いてると

すっごく  
楽しいん  
だもの…!!



私も  
セレス様と  
弾くのは

楽しい  
ですよ



へへ…



気になることが  
ございまして…

ん？



そういえば  
ララ様

最近  
お風呂場や  
お部屋に

真っ黒な毛が  
落ちていくことが  
多いのですが



この屋敷に  
黒髪の者など  
おりましたで  
しょうか？



黒髪？

そんな珍しい  
髪色の者  
目立つ  
でしょう

動物か何かが  
紛れ込んだん  
じゃないの？







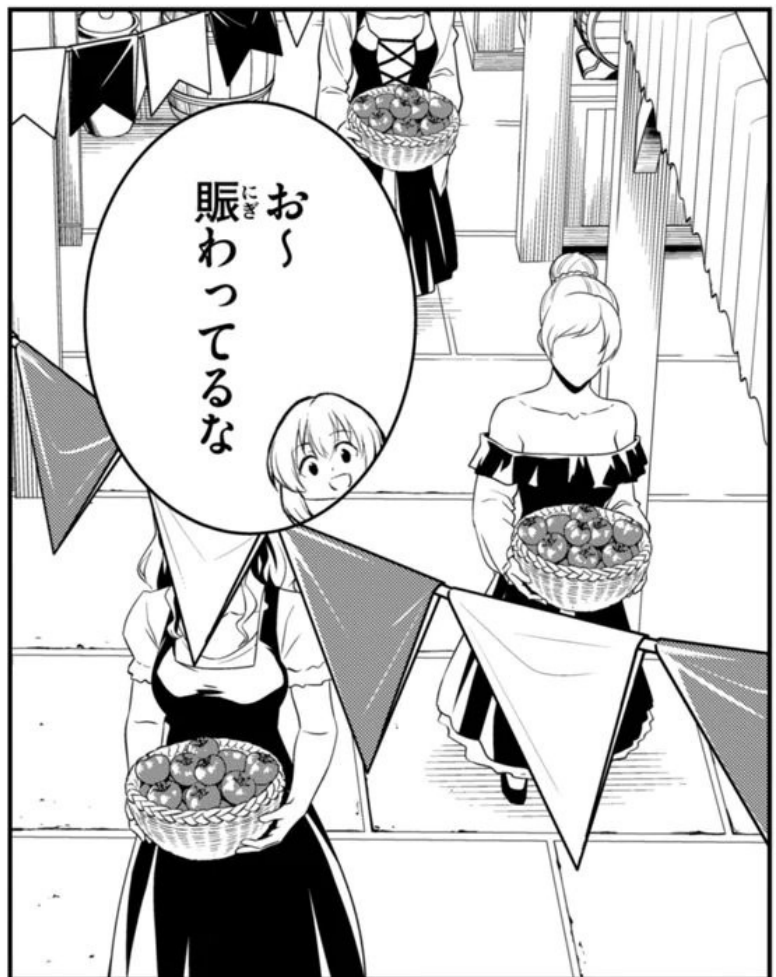
ピアノ…？

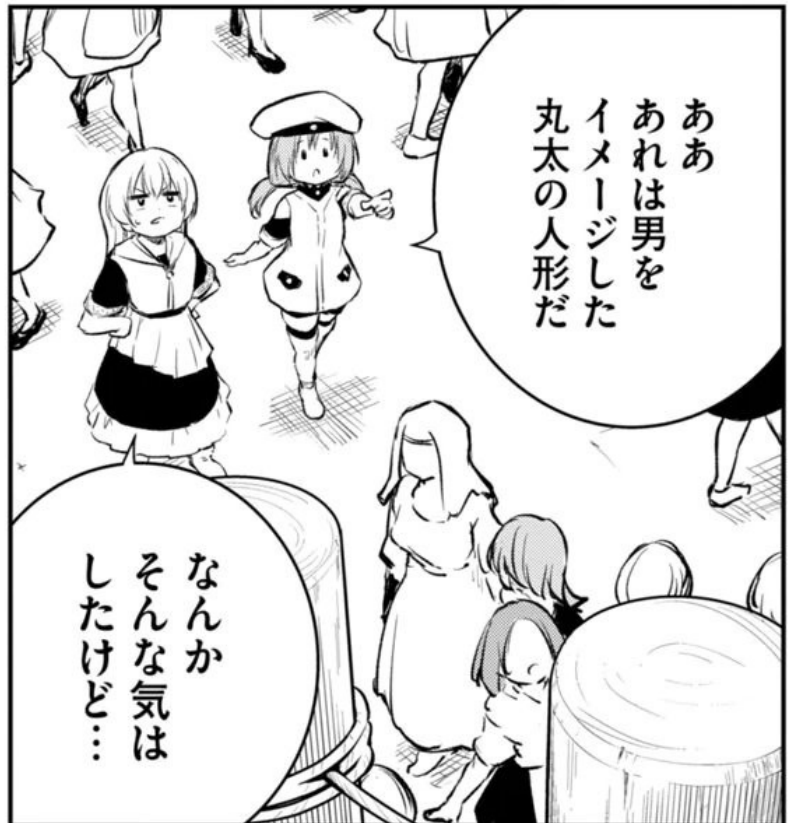
黒い毛…？

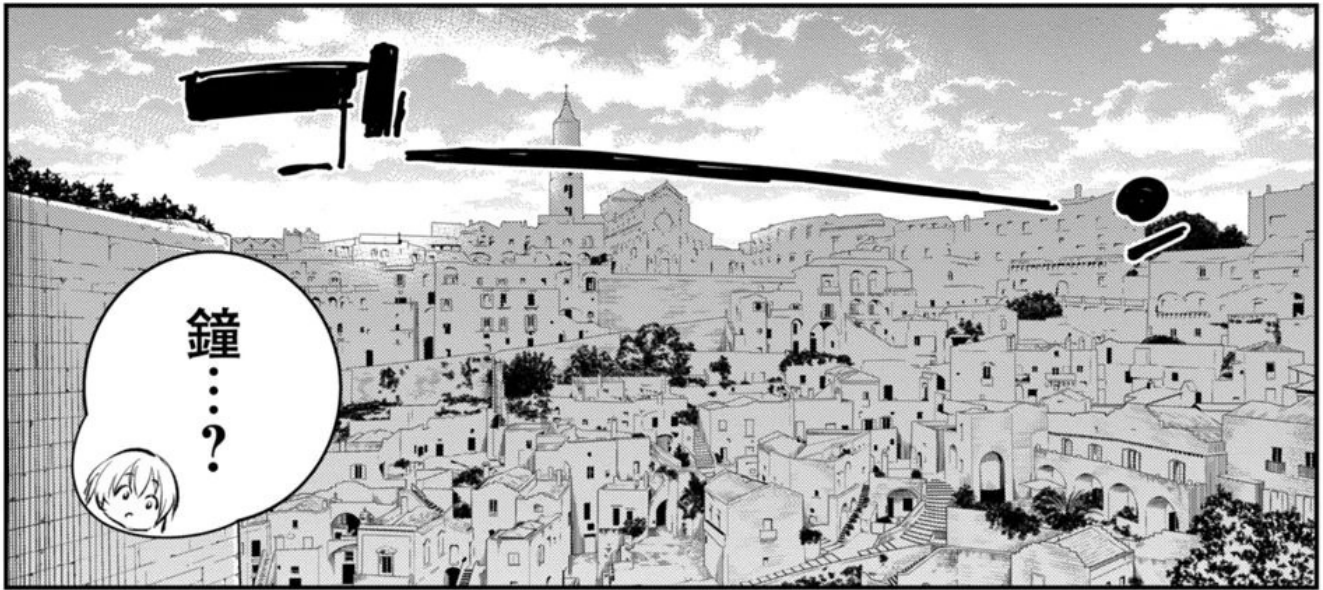


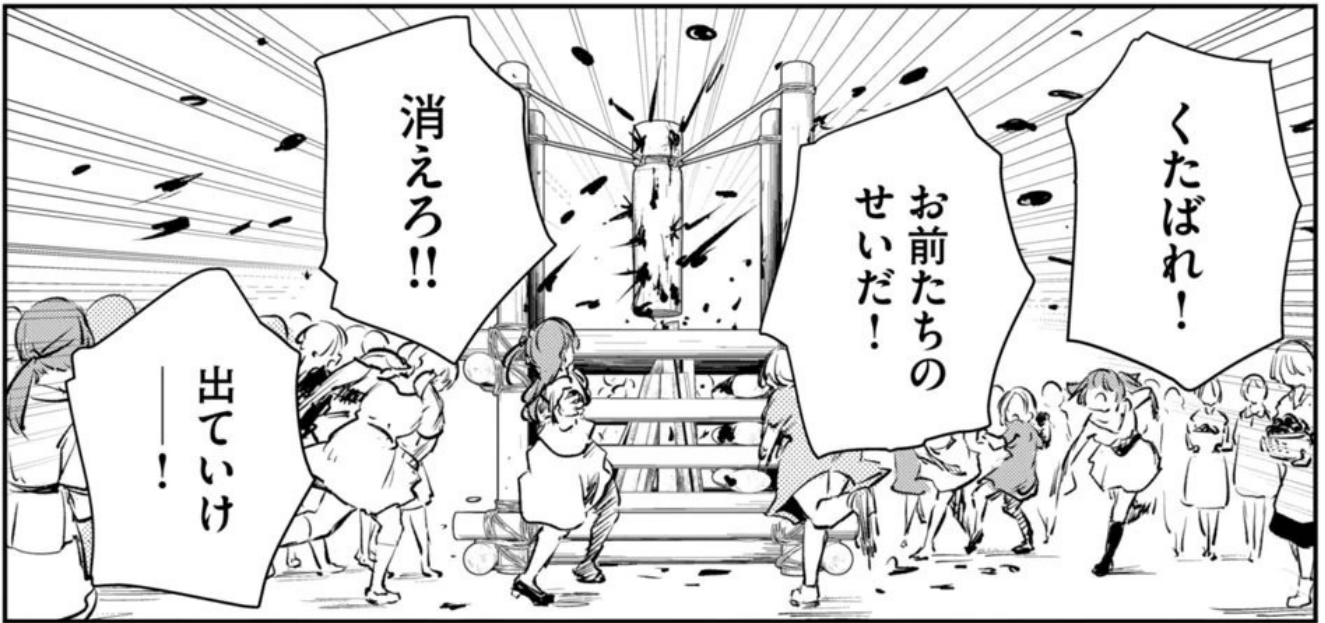
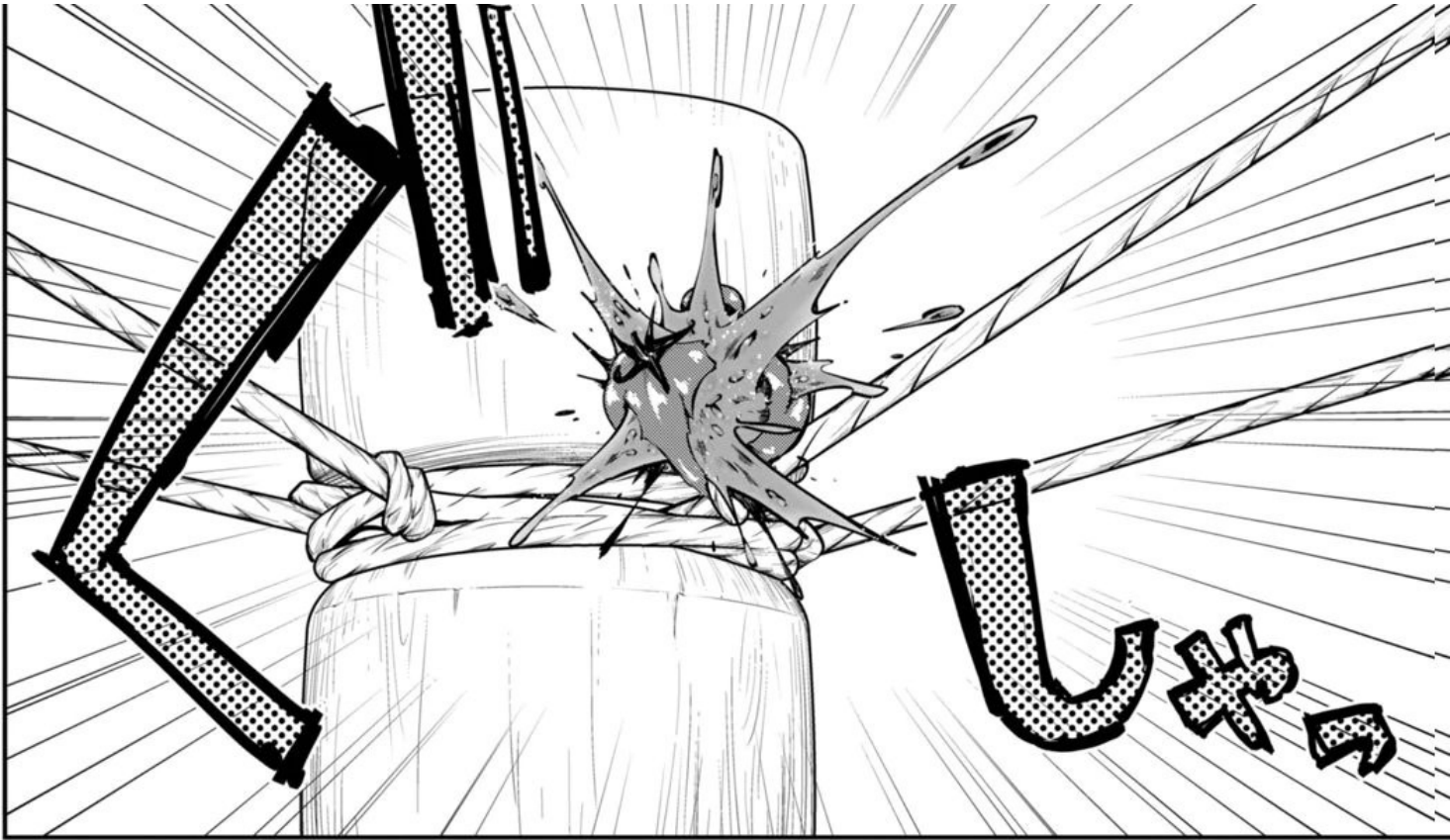
そんな  
ことが…

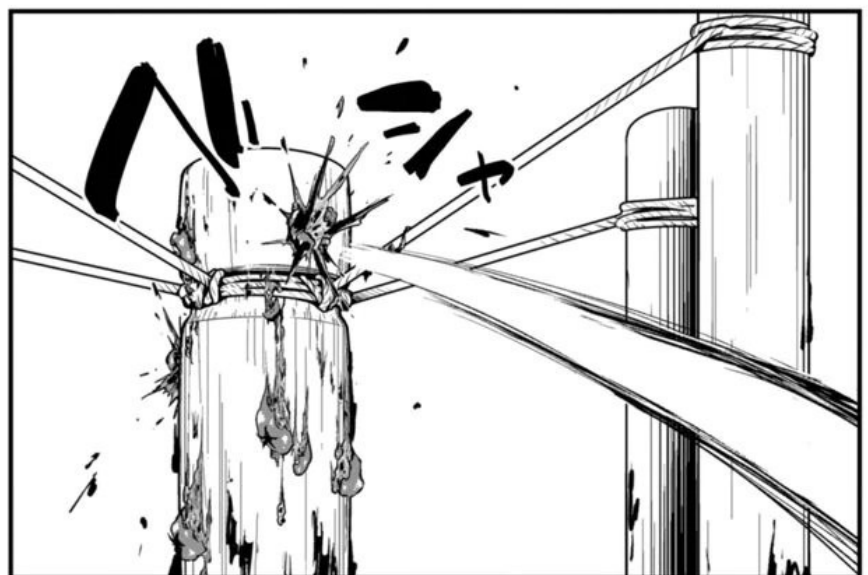
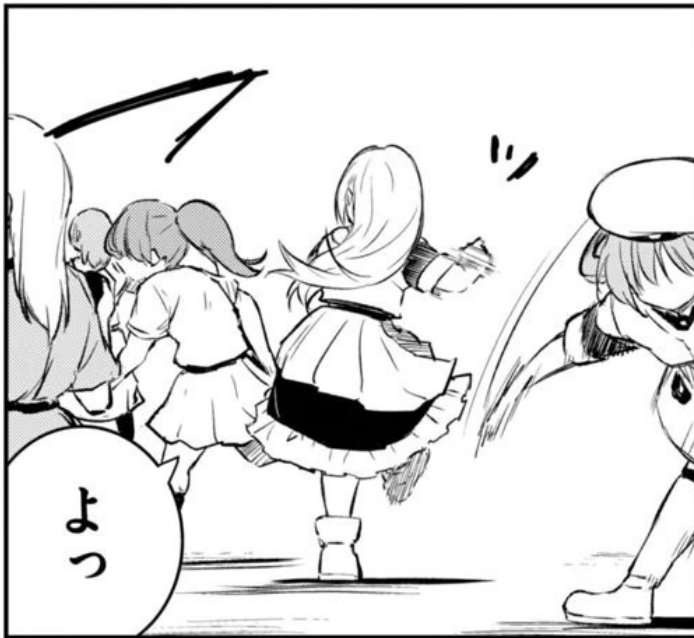
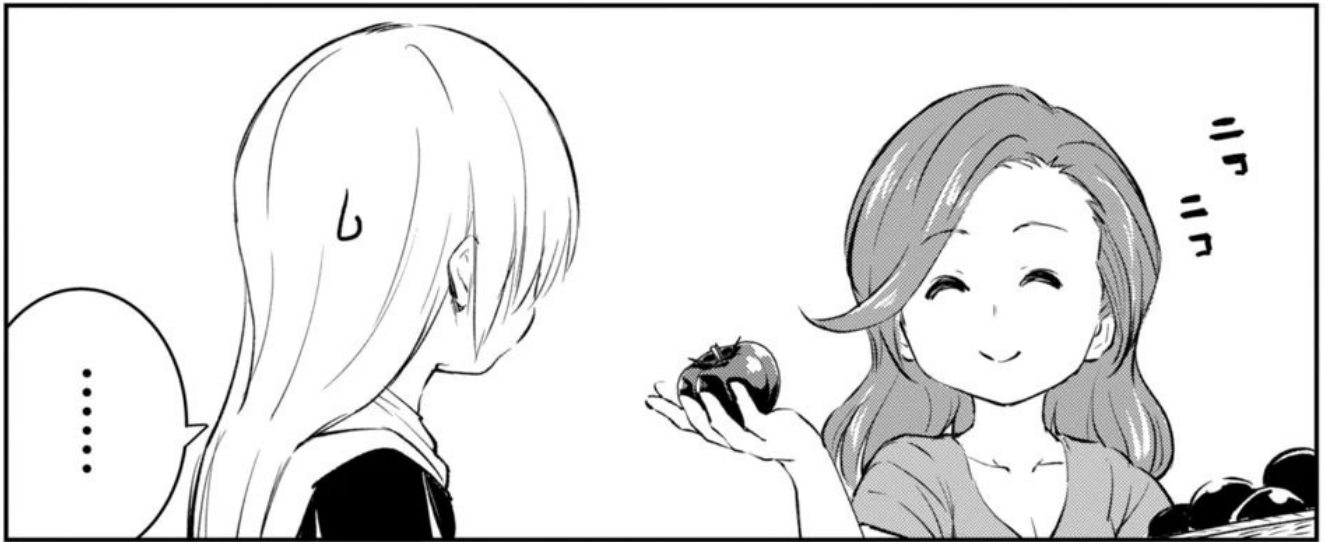
# 第28話 不都合な真実

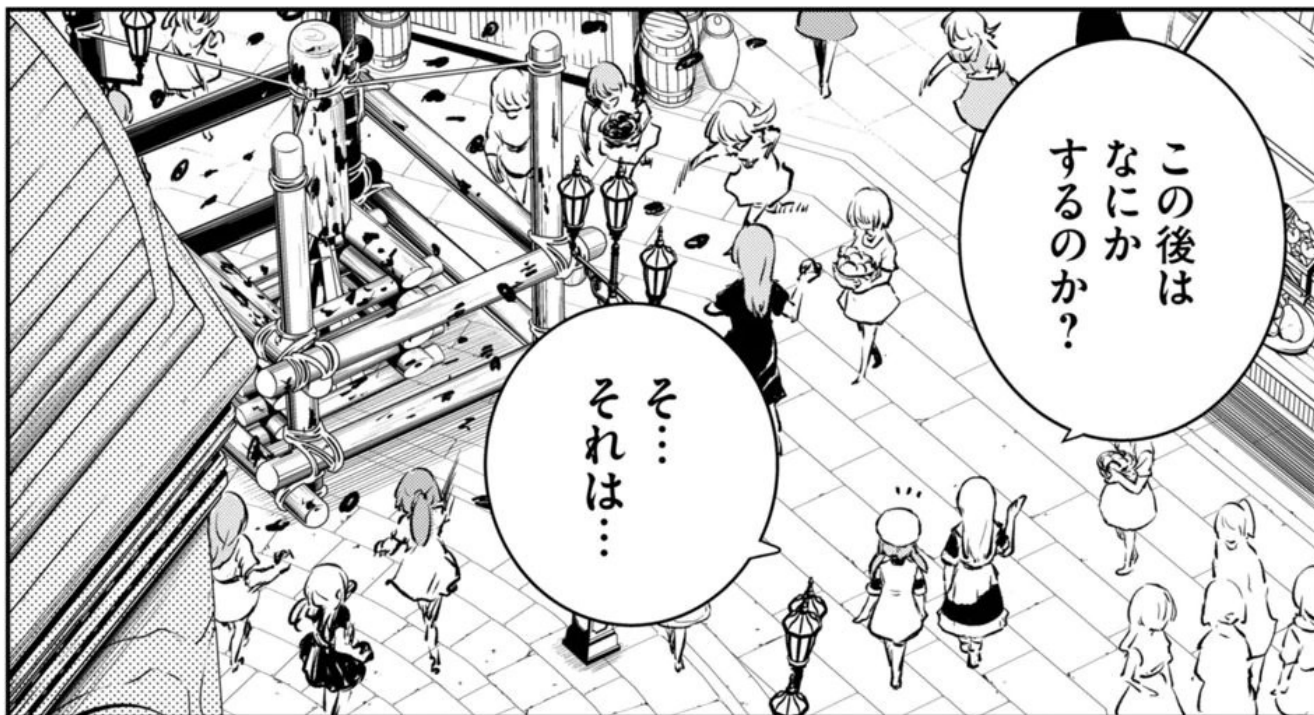












この後は  
なにか  
するのか？

そ…  
それは…



永遠に  
結ばれる…

という  
はなしで…



そう  
いえば…

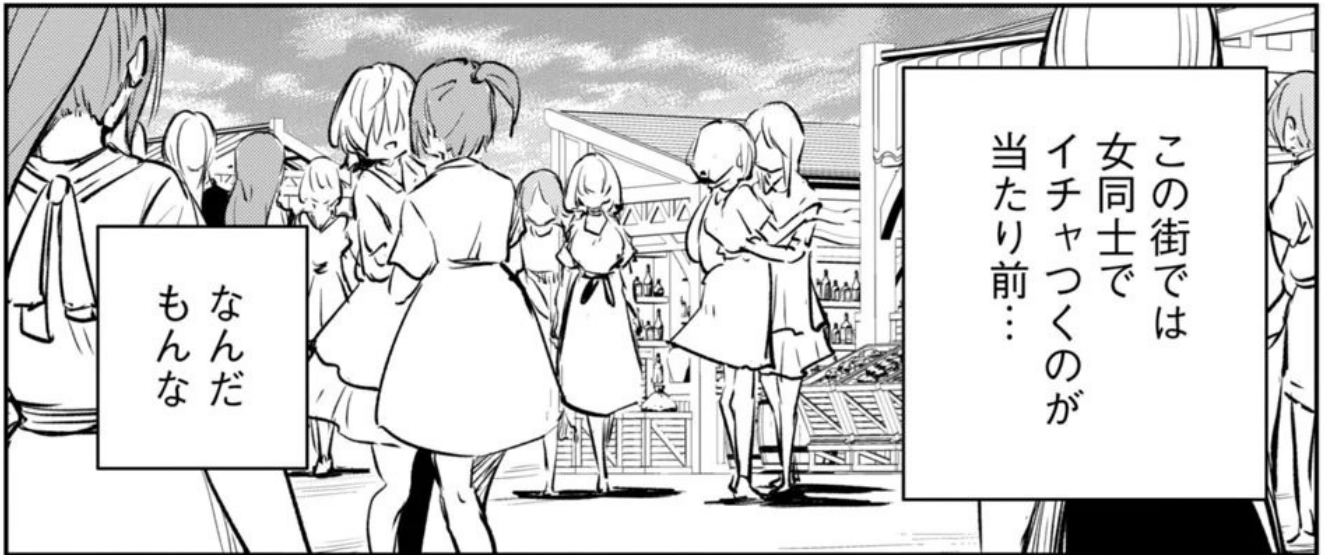


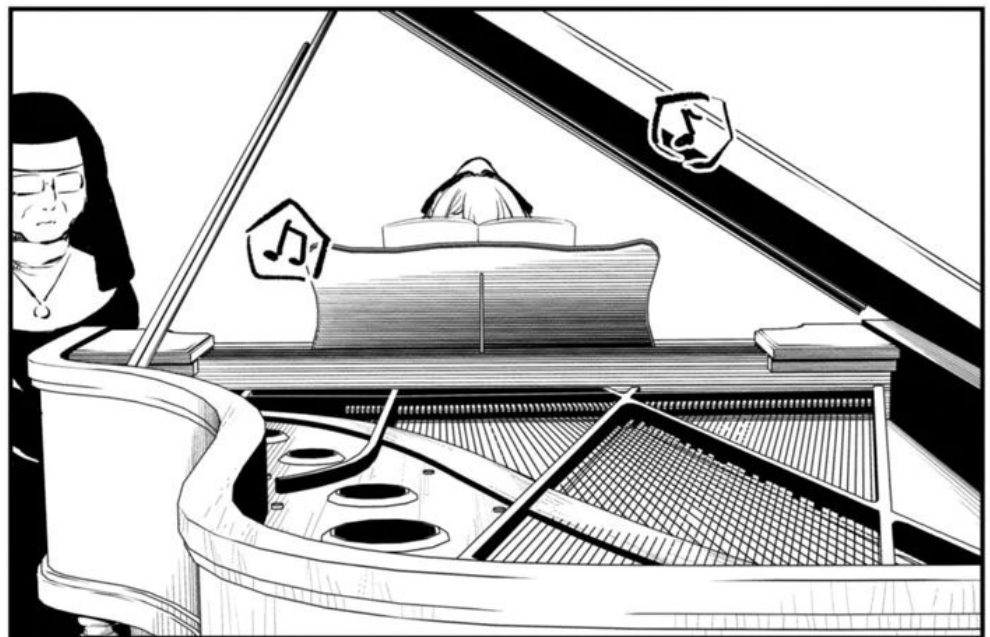
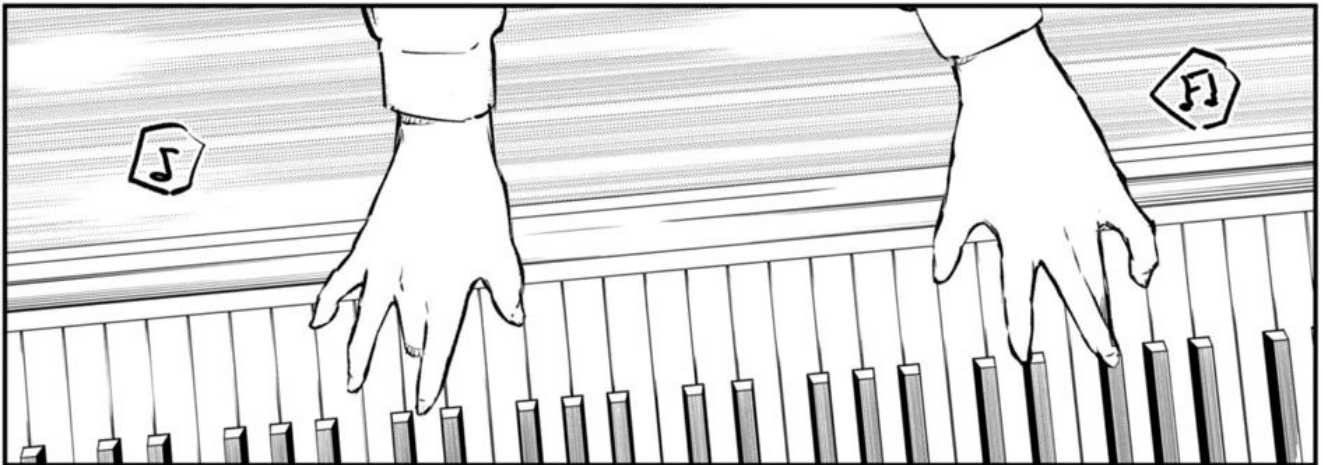
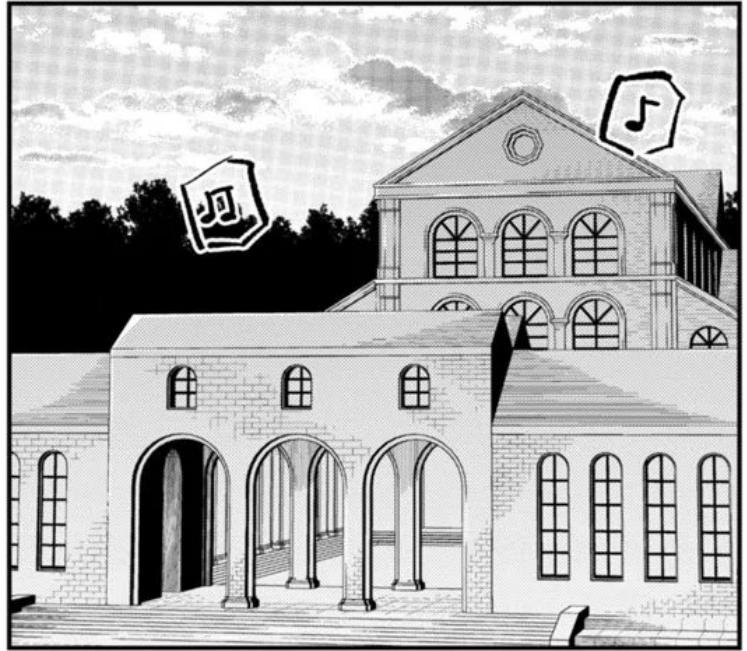
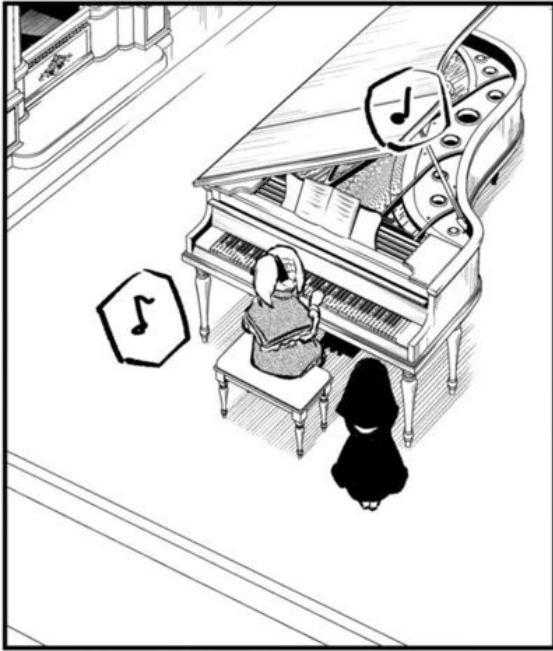
カップル同士で  
手を繋ぎ  
一緒に過ごす

そう  
すれば…

もじ

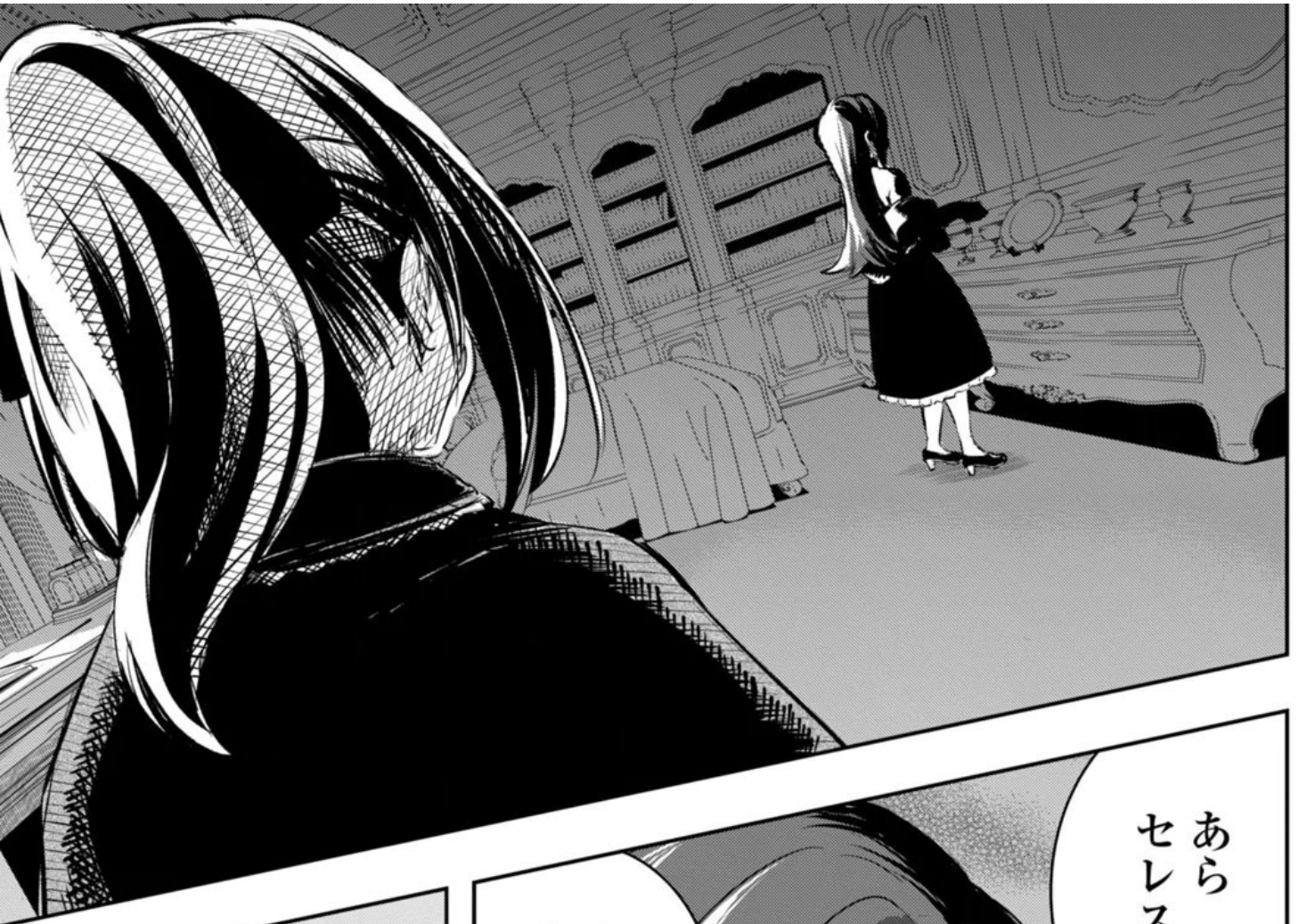
もじ











あら  
セレス様

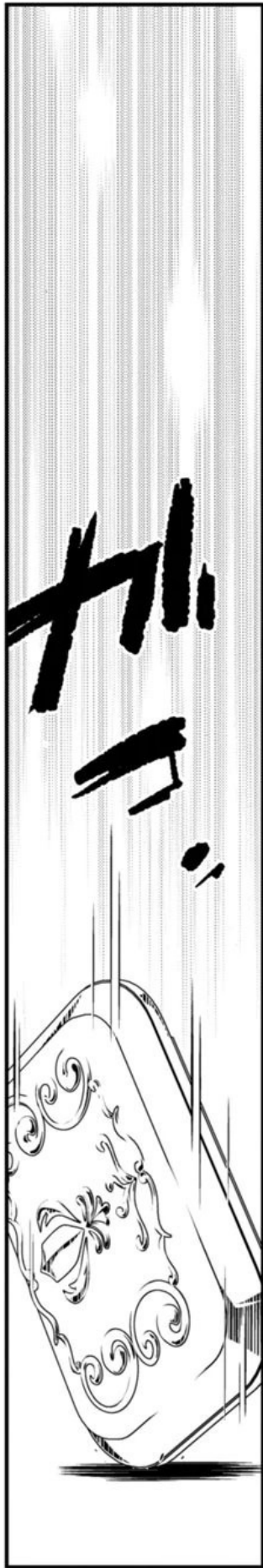
おかえり  
なさい

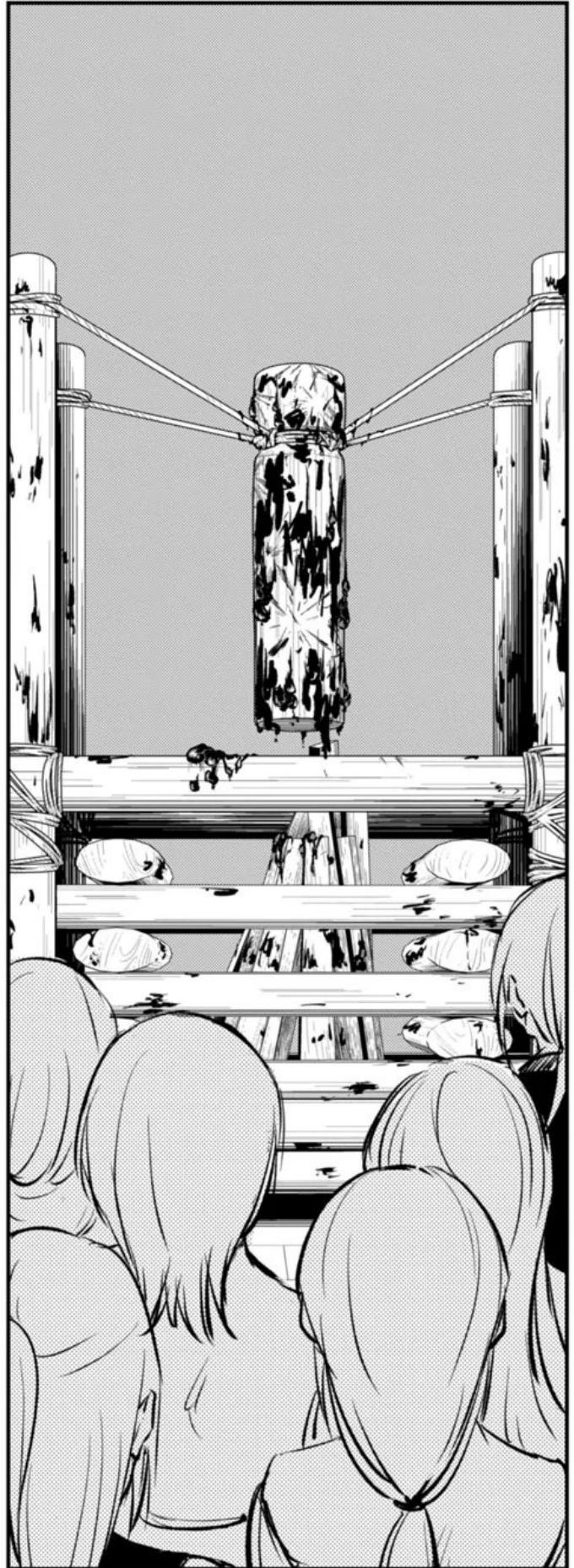


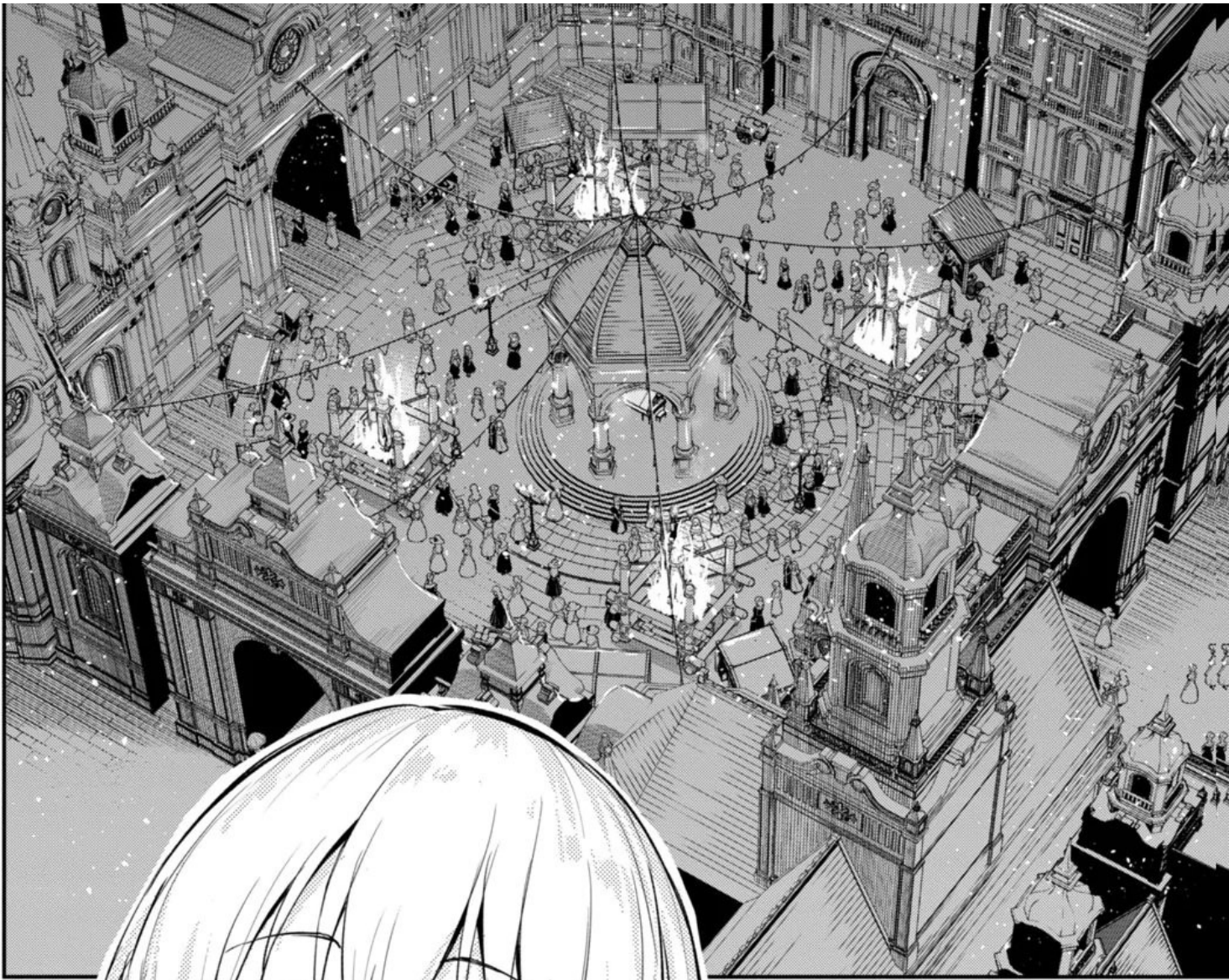
...

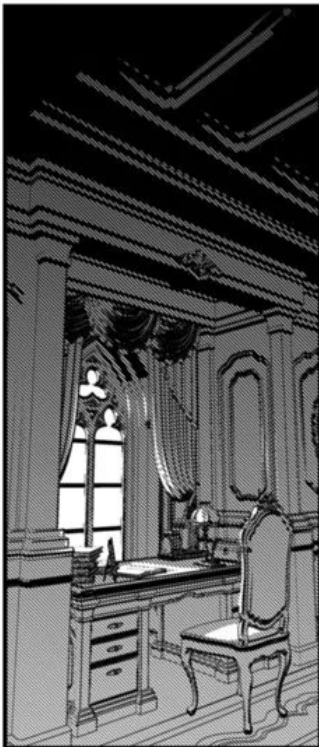
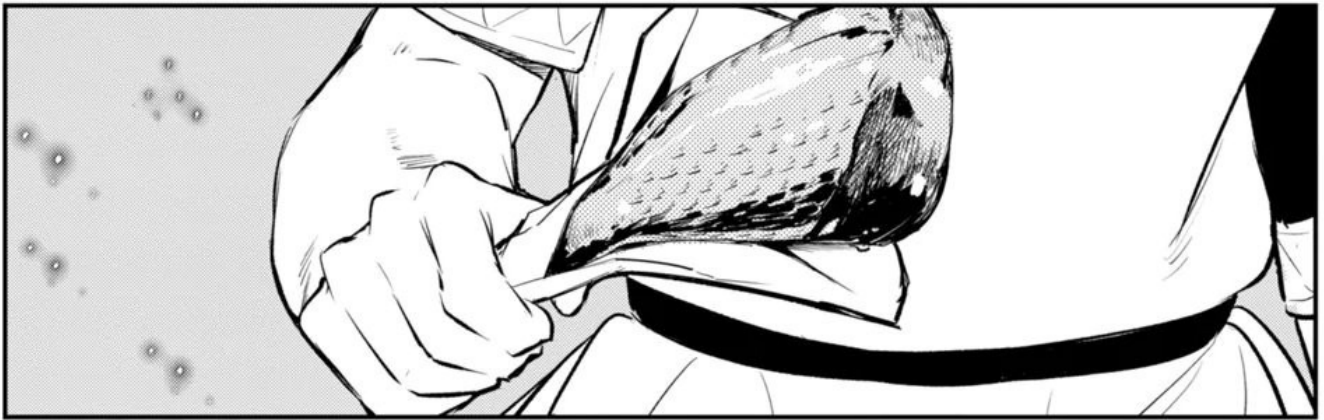
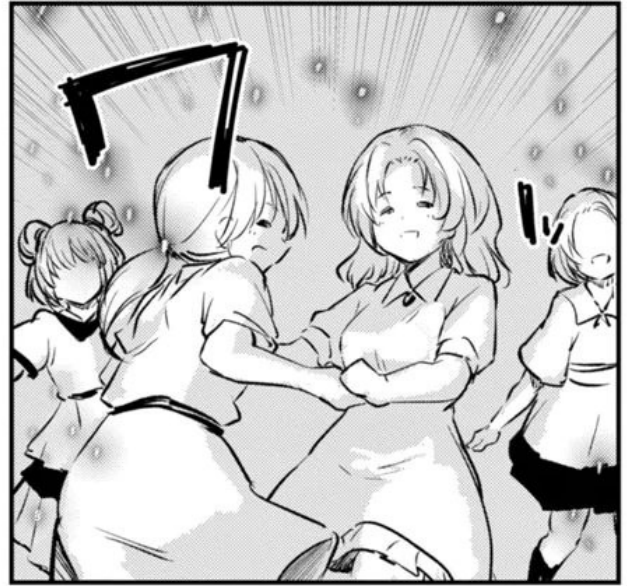












カズリアを  
捕縛し

今すぐ  
処刑しましょう



カズリア  
を……？

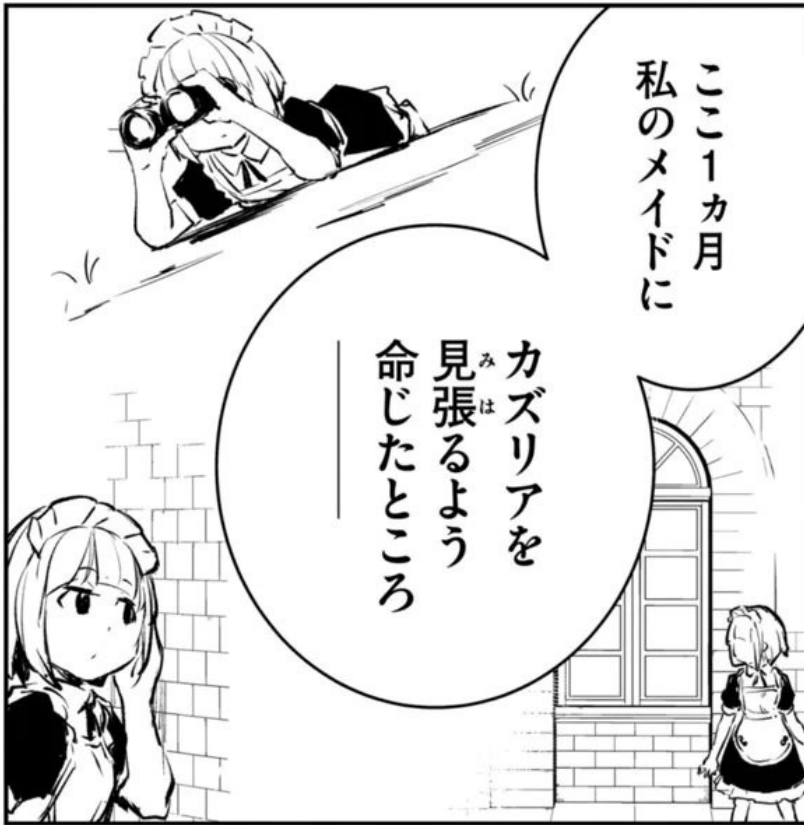
俺の指先で  
濡れる世界

A world wet with my fingertips

俺の指先で  
濡れる世界

A world wet with my fingertips

# 第29話 集まる視線

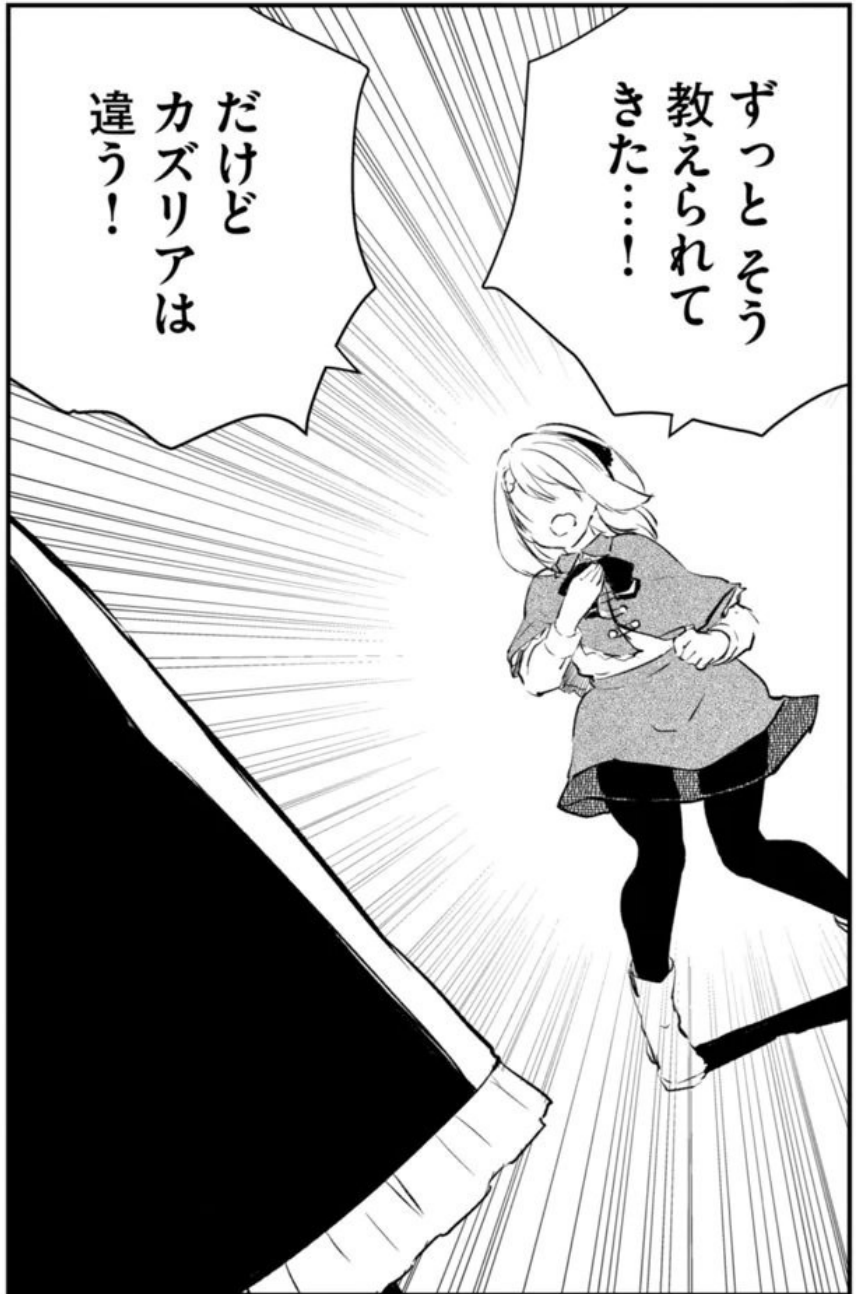
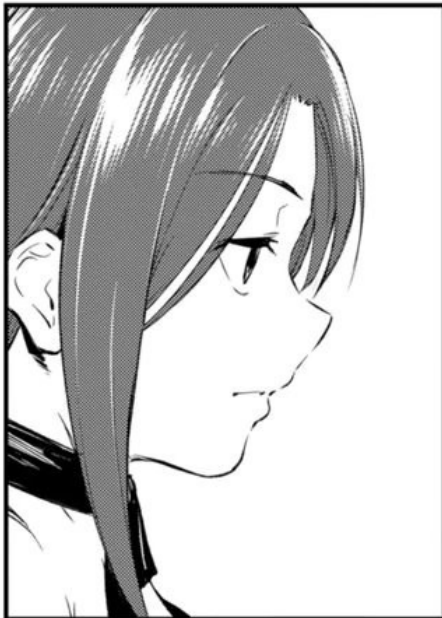






だって男は  
粗暴で  
品がなく  
汚<sup>けが</sup>らわしい

何にも  
役に立たない  
無能なもの  
だって……



ずっとそう  
教えられて  
きた……!

だけど  
カズリアは  
違う!



だって……

カズリアは  
所作も  
言葉遣いも  
キレイで

なにより  
ピアノが  
上手で

正直者で  
素直で…


とっても  
優しいの…

そんな  
人が…


あなたは男を  
見たことがないから  
わからないのです!!

!!


いいですか  
セレス様…



すぐに排除  
しないと  
大変なことに  
なりますよ



民を…  
女を守るために  
必要なこと  
なのです…!!



セレス様は  
ダンシャリー教の  
戒律を破る  
おつもりですか！

男というのは  
酷く汚らわしい  
ものです

絶対に見ては  
いけません

目が腐ります



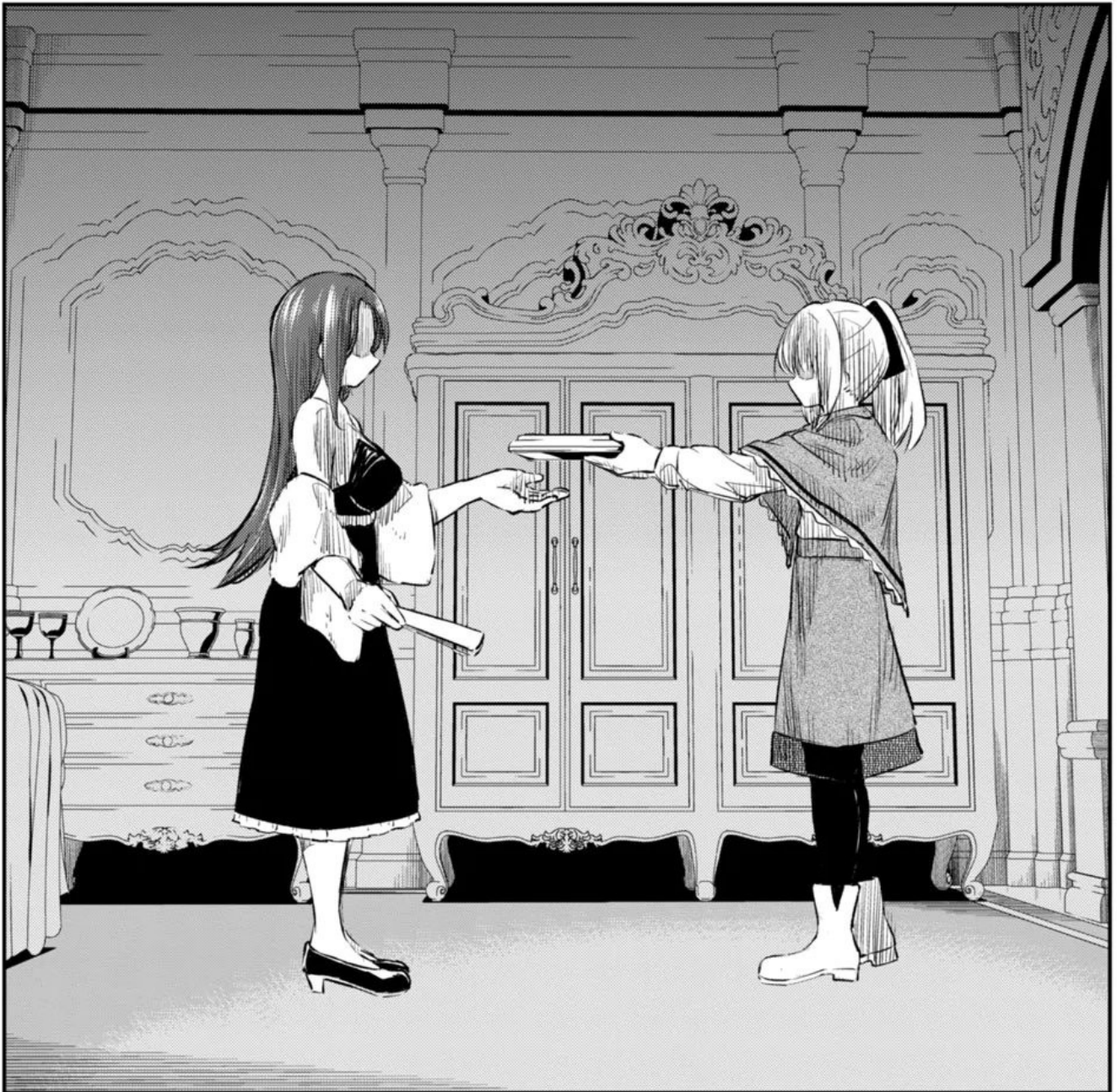
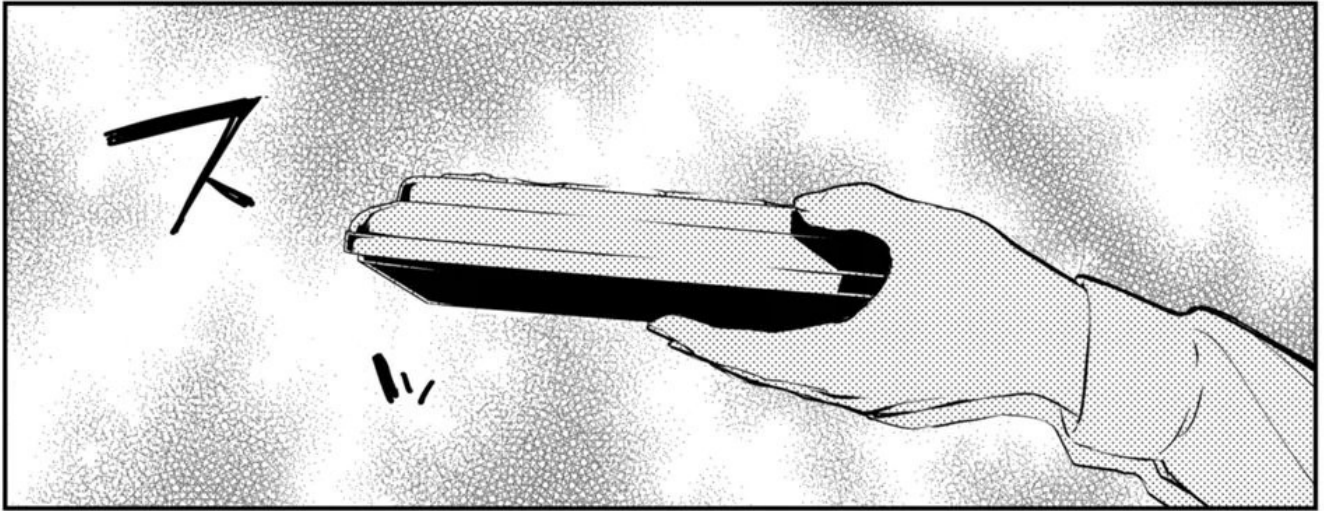
男が消えれば  
世界から飢餓が  
なくなり  
豊かになりますよ

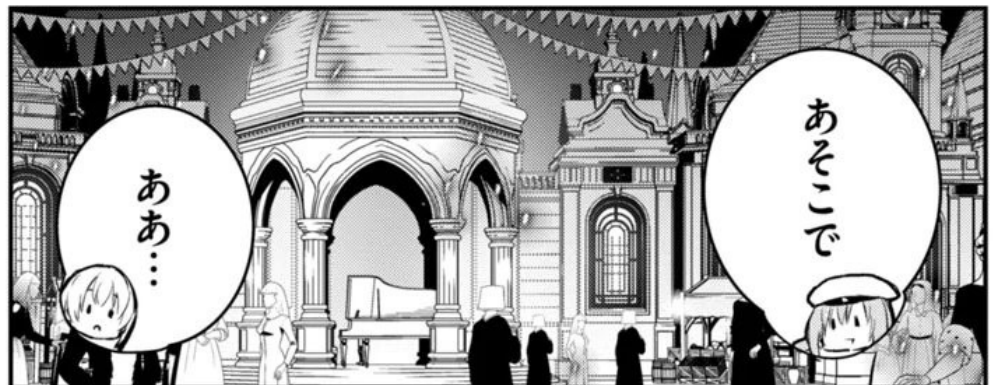
だから  
この世から  
排除しなくては  
なりません



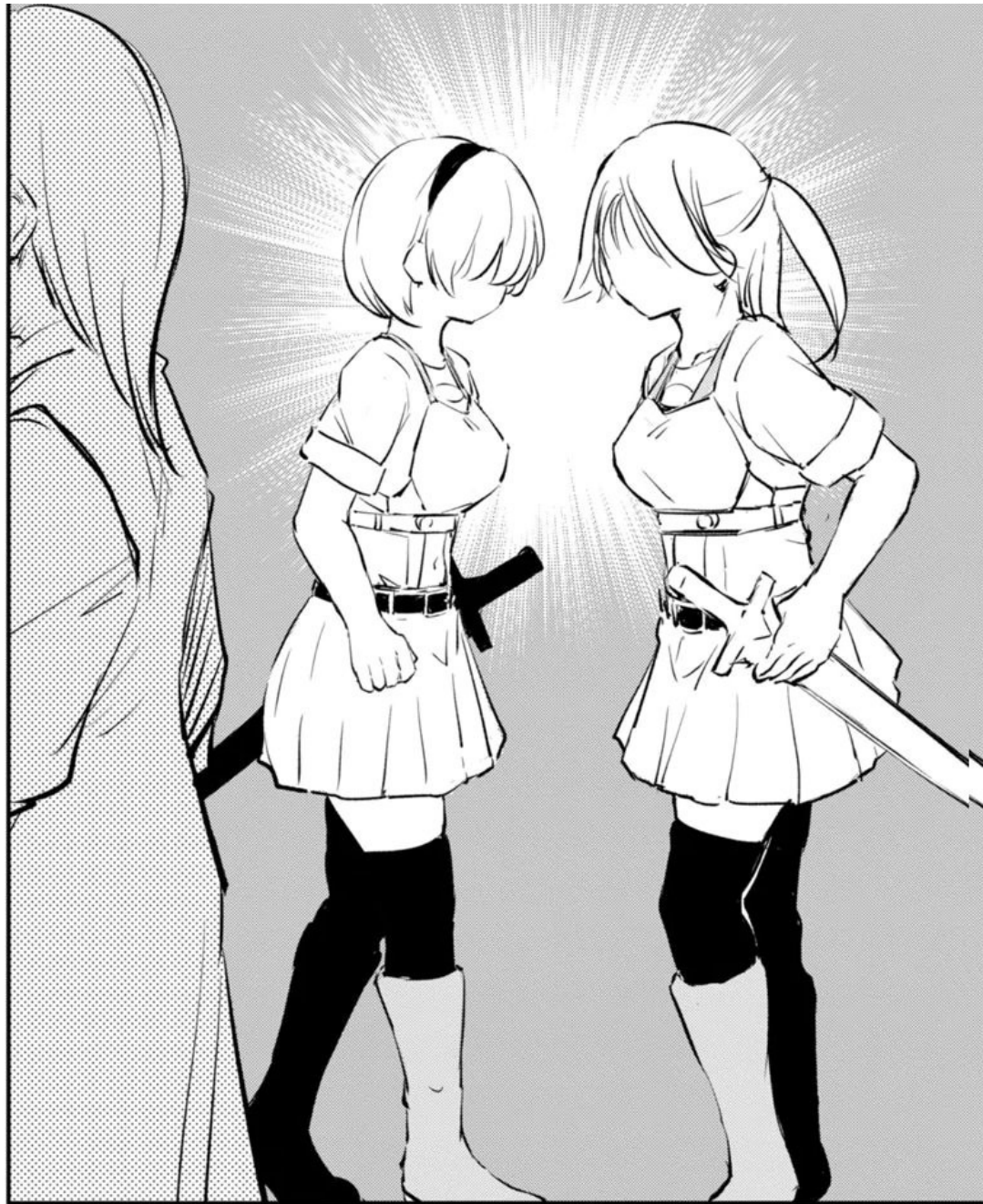


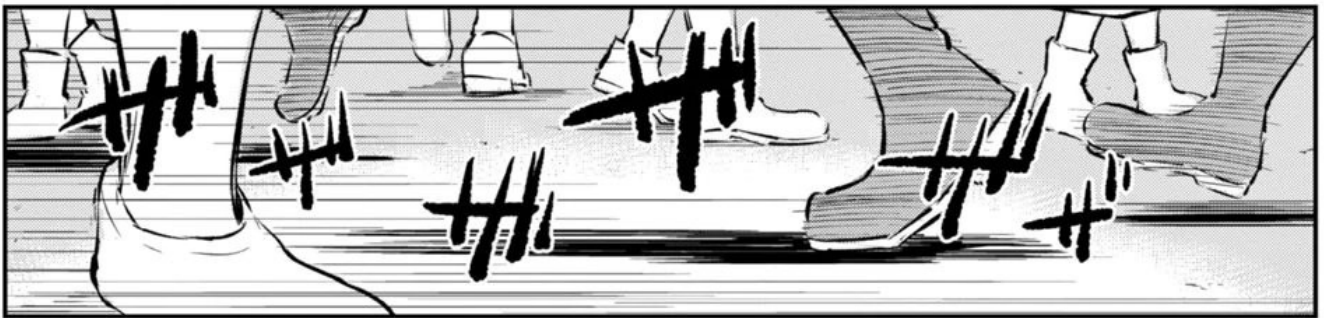
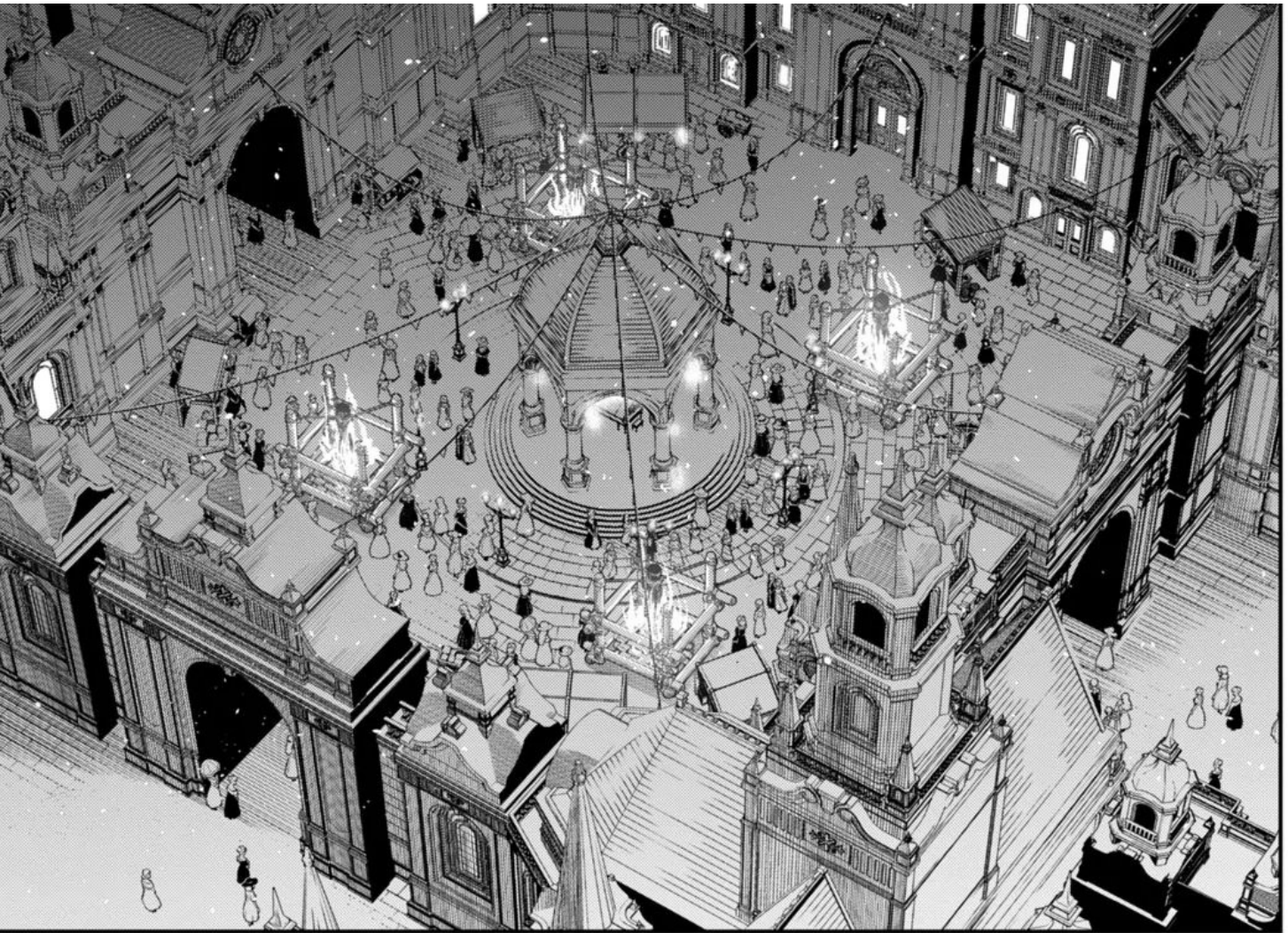
この世に…  
男は不要……













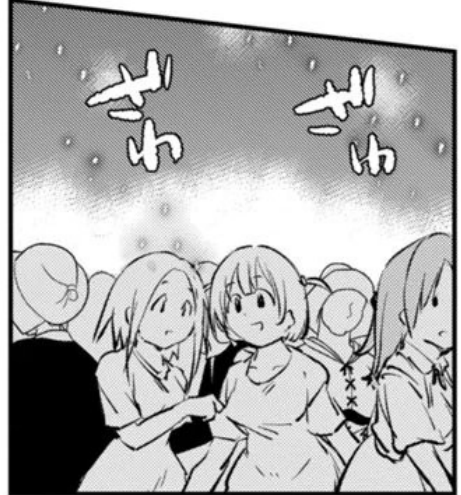
男だって  
バレてるかも

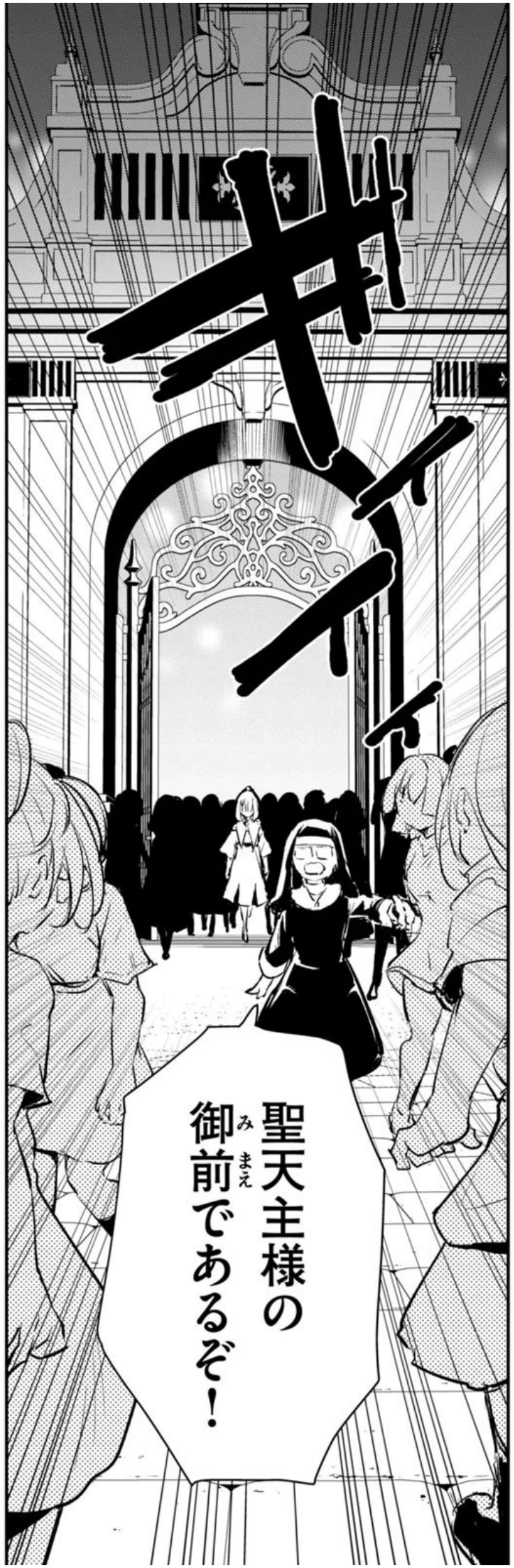
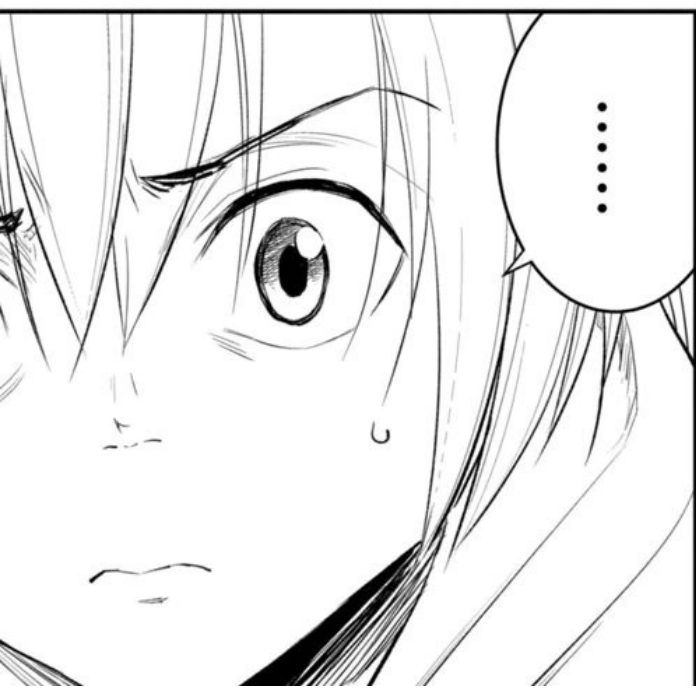


だったら…  
ボクがそれを  
知ってることも  
バレているな



静粛に!





今まで  
全然実感  
なかったけど…

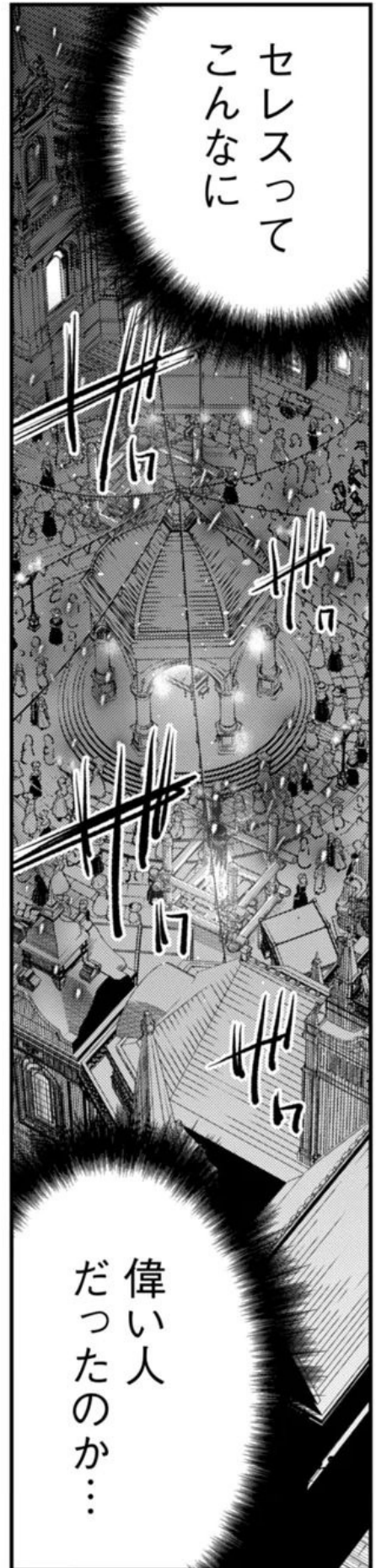




セレスって  
こんななに



もしか  
して…



偉い人  
だったのか…



俺：  
この場で

公開処刑とか  
されちゃうの  
：!?

# 第30話 怒りのトマト



そこで  
警察に囲まれ



祈響祭と  
呼ばれている  
豊作を願う祭り

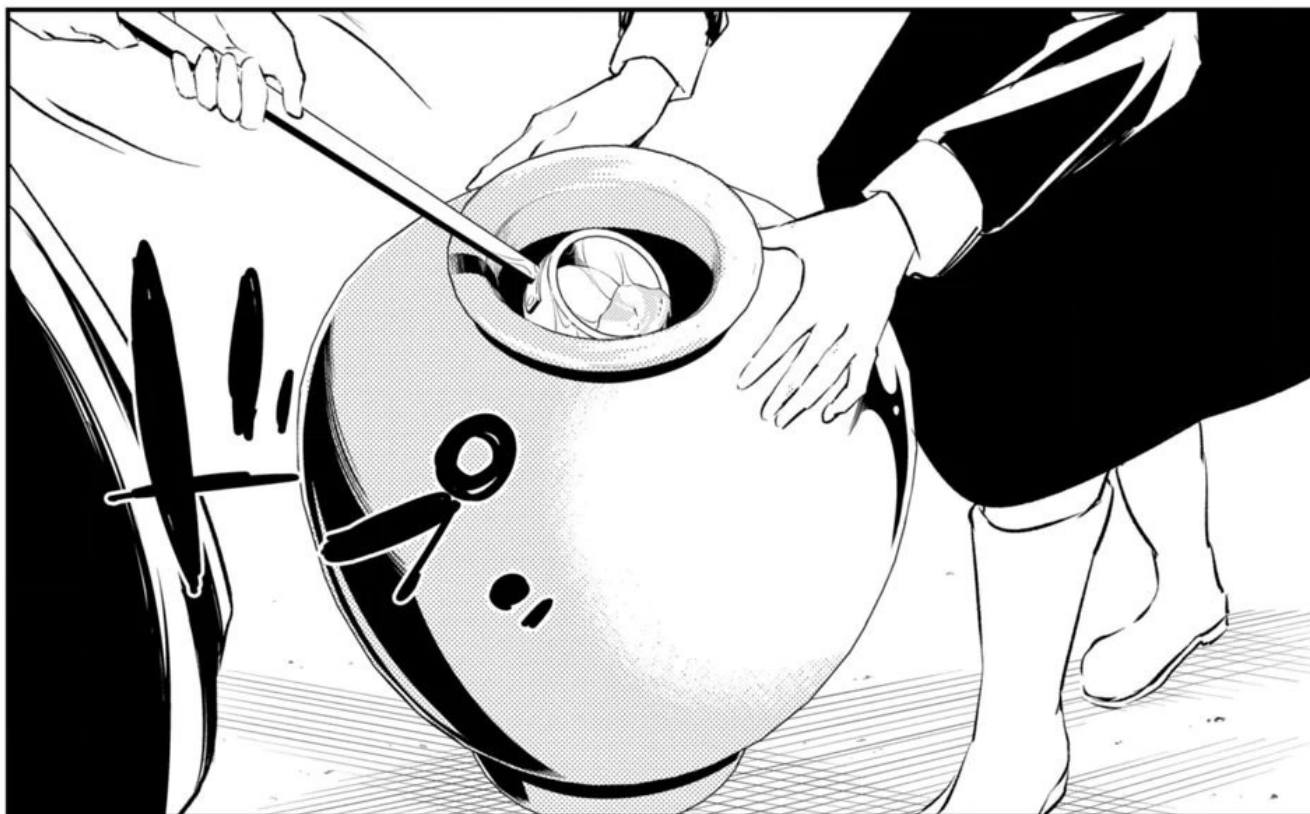


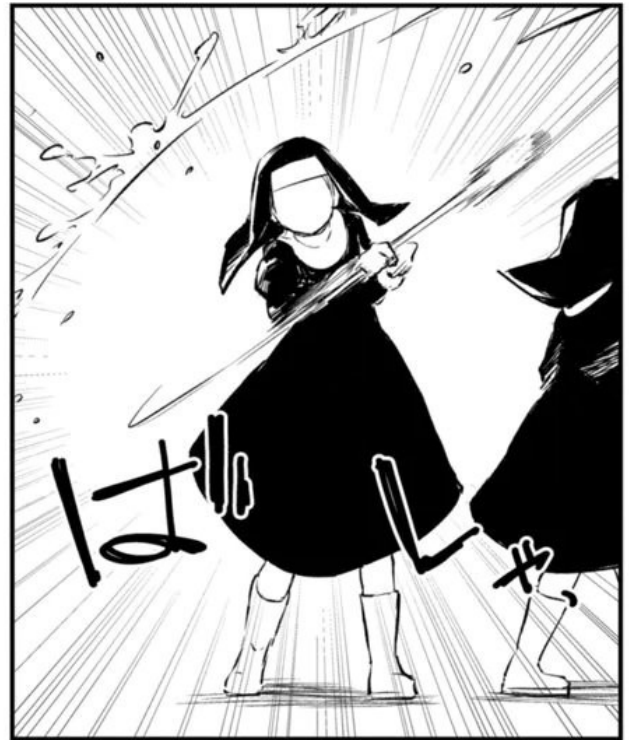
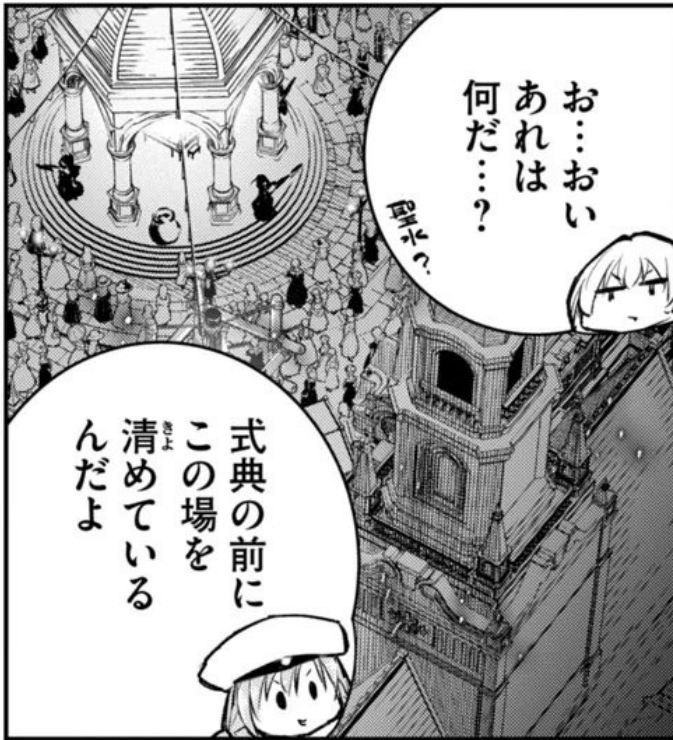
そんな  
嫌な予感が  
した時――

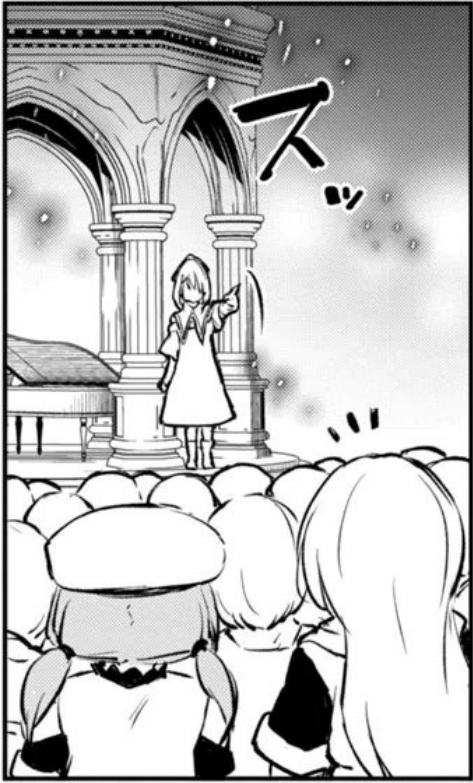


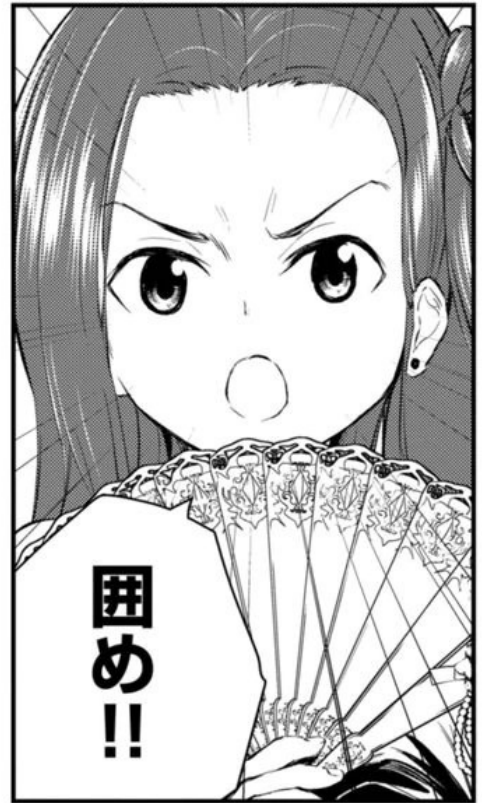
もしかしたら俺……

男だって  
バレてるかも











こりや  
もう完全に  
バレてる



さすがに  
この人数で  
囲まれたら



一体何事  
ですか!?

ララ様!?

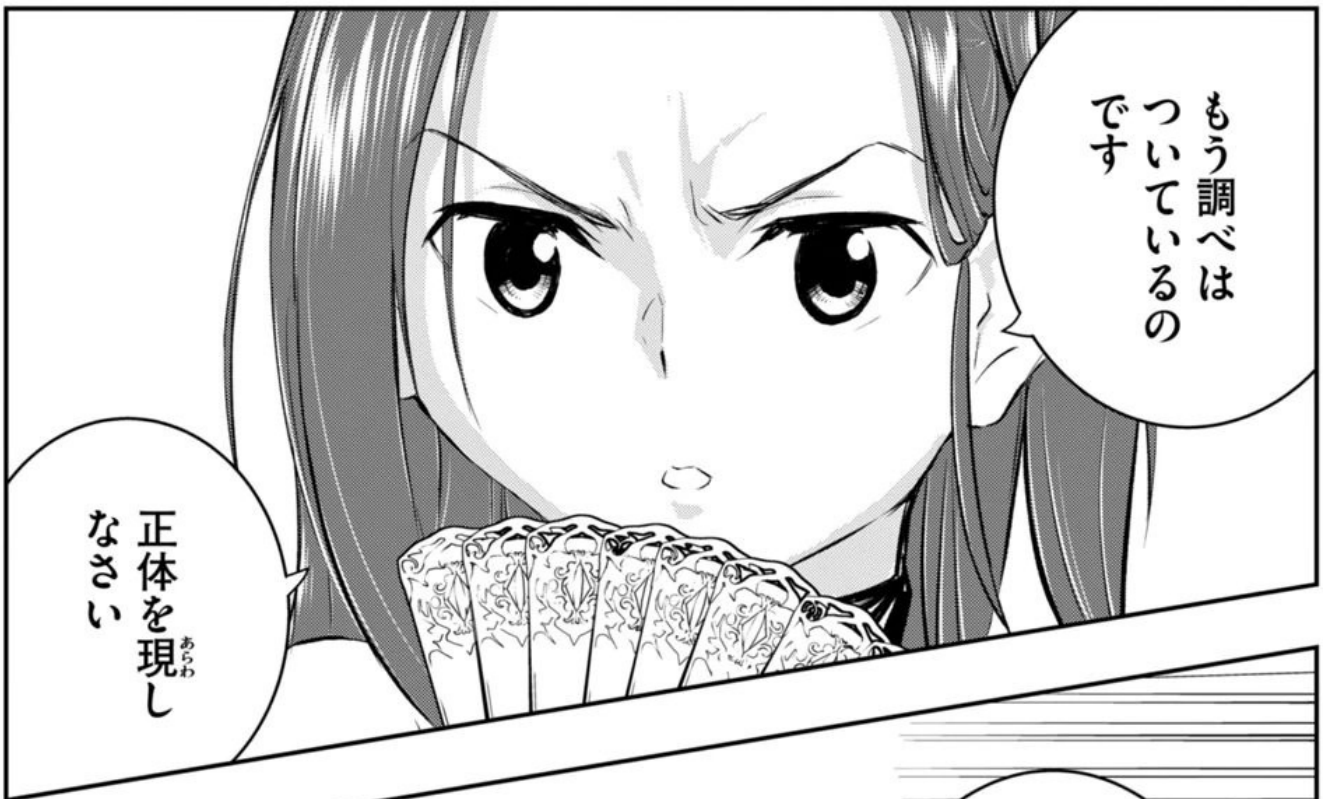


指の力を  
使うどころ  
じゃない:



その者は  
男の分際ぶんざいで

姑息こそくにも  
女に扮かんし  
この街へ侵入  
してきた…



もう調べは  
ついでているの  
です

正体を現あらわし  
なさい



さもなくば  
キヤミイ共々ともども  
処刑します

待って下さい  
ララ様！

かか…  
カズリアが  
そんなっ…

男なわけ  
ないじゃない  
ですか…!!

あらあら…  
そんな必死に  
かばっちゃって

そういえば…  
キヤミイ  
あなたの裸も  
見たことないわ

こそこそ  
隠していた  
し…

もしかして  
あなたも  
男だったり  
するのかしら？

なっ!?

違います！  
ボクは  
正真正銘の  
女です!!

だったら




ここで服を  
脱ぎなさい



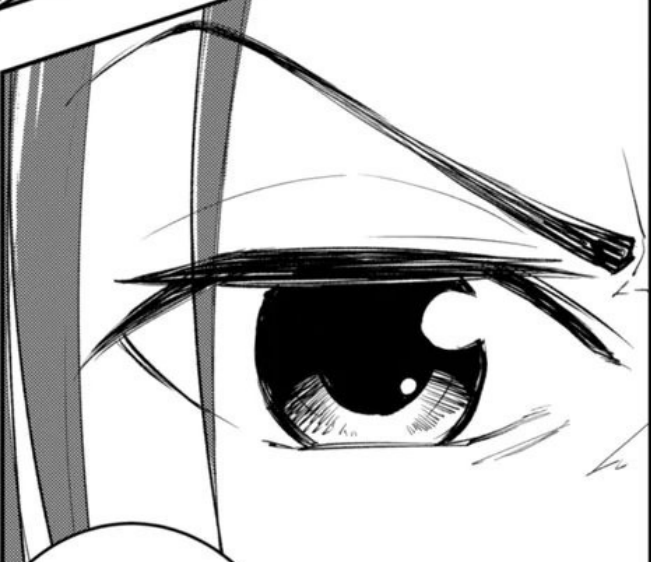
!!



…!



ララ様…



これは命令よ  
キヤミイ…

小さくて  
いい胸…

ララ様が  
気に入る  
はずだ

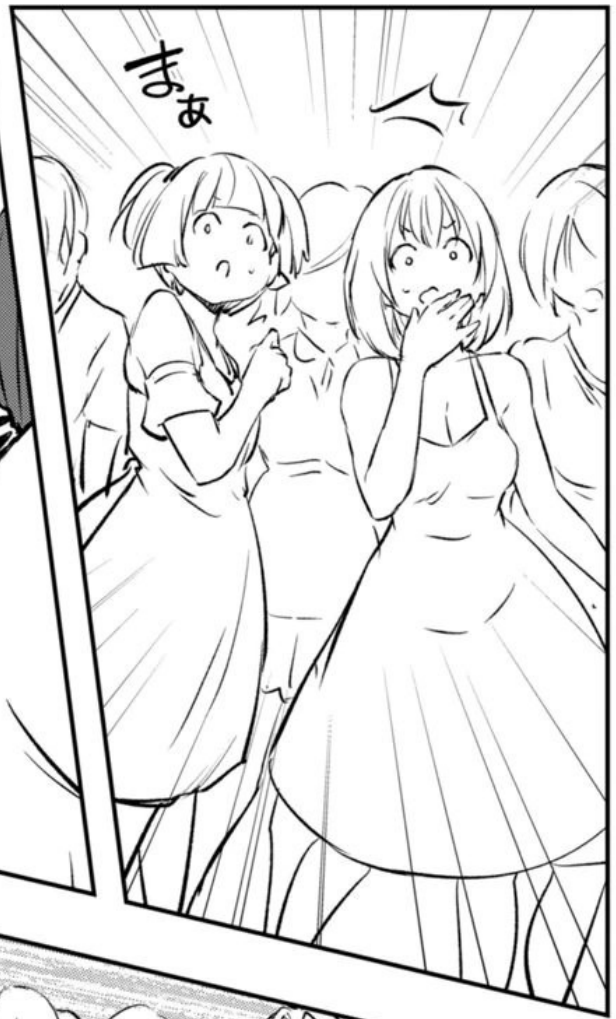
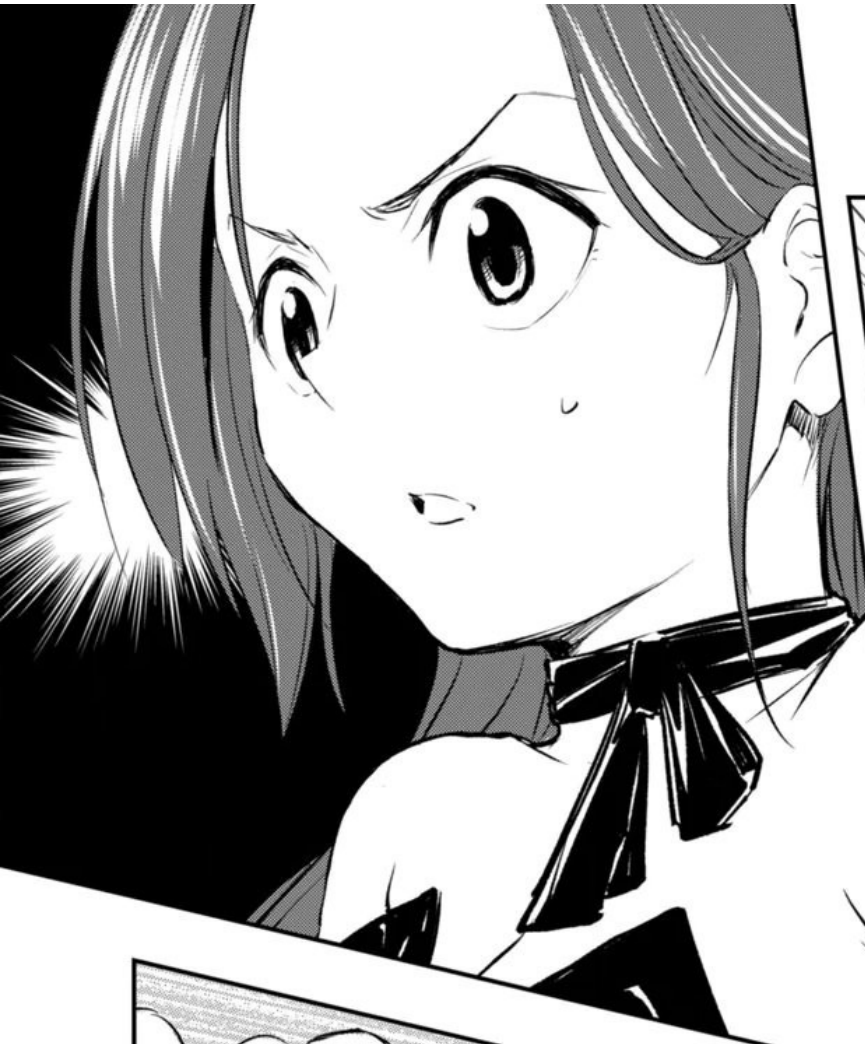
ボクの胸が  
大きいことは  
ララ様には  
秘密だぞ…？

ララ様に  
嫌われたく  
ない…

はっ

かばって  
くれて  
ありがとう  
キヤミィ…

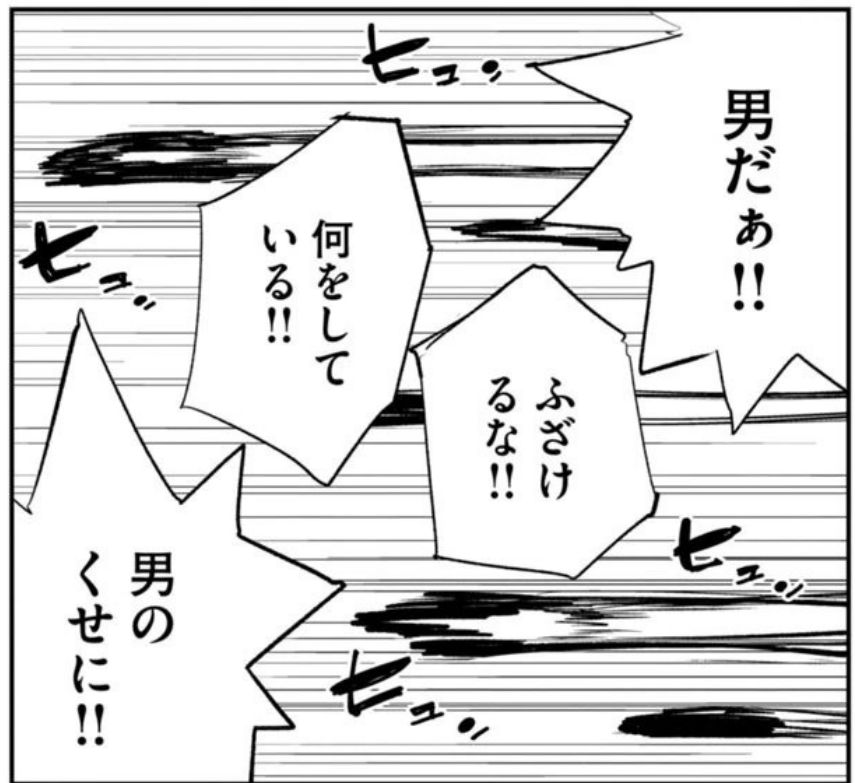
だけど  
もういい…

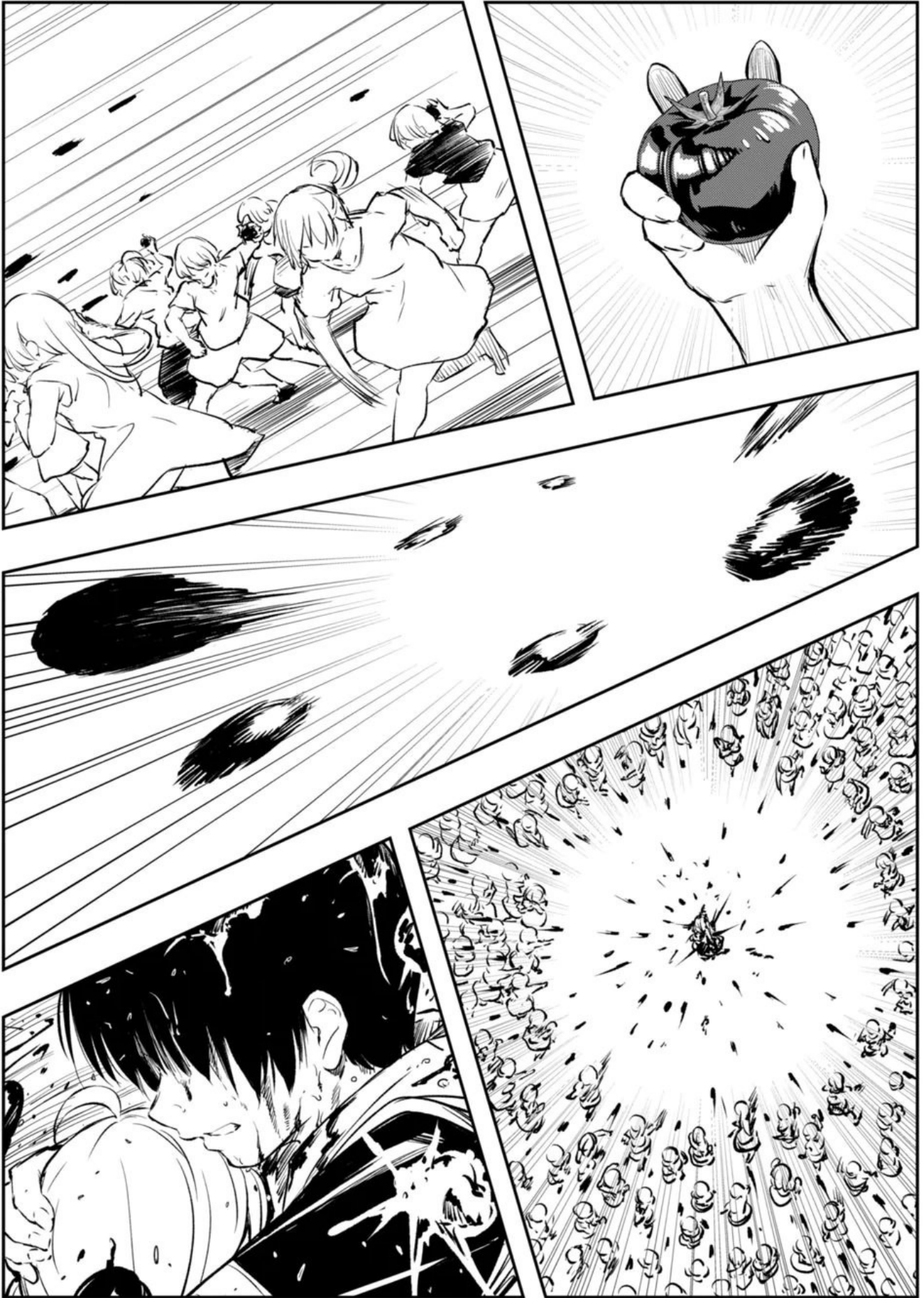


カズリア...




俺は男だ












トマト  
とはいえ




さすがに  
痛いな



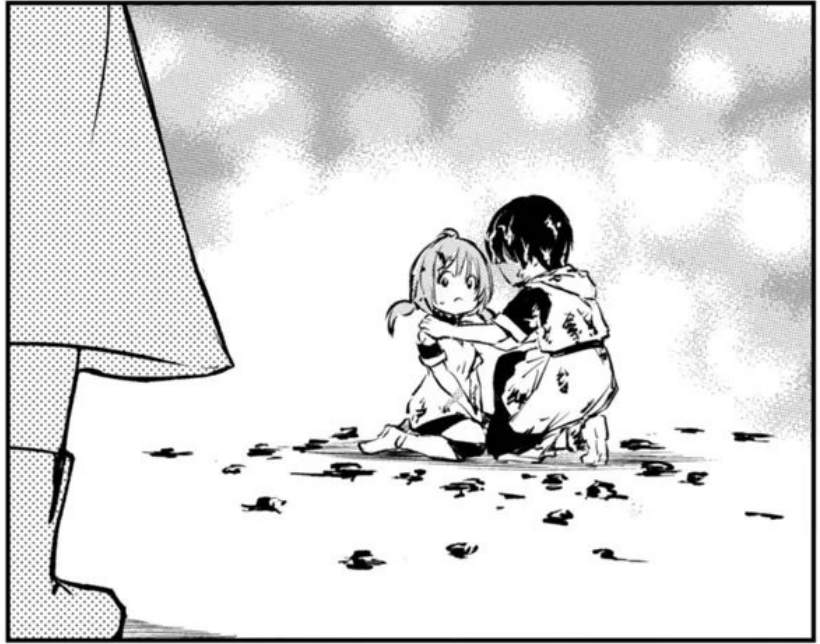
カズリア…  
ち…  
血が…っ



いやいや  
トマトだろ…

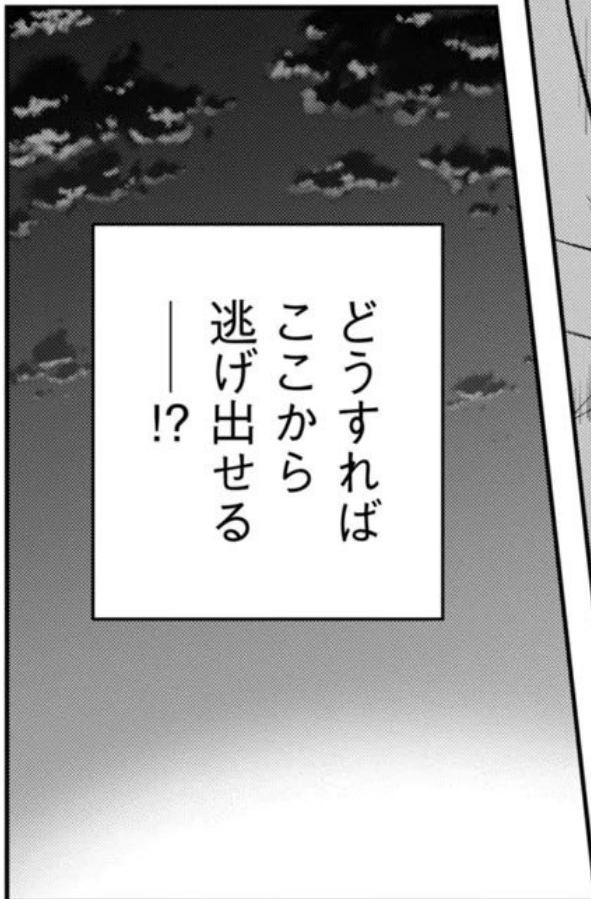


でも…  
っ!?





どうする  
…?



どうすれば  
ここから  
逃げ出せる  
—!?



あなたを  
処刑します

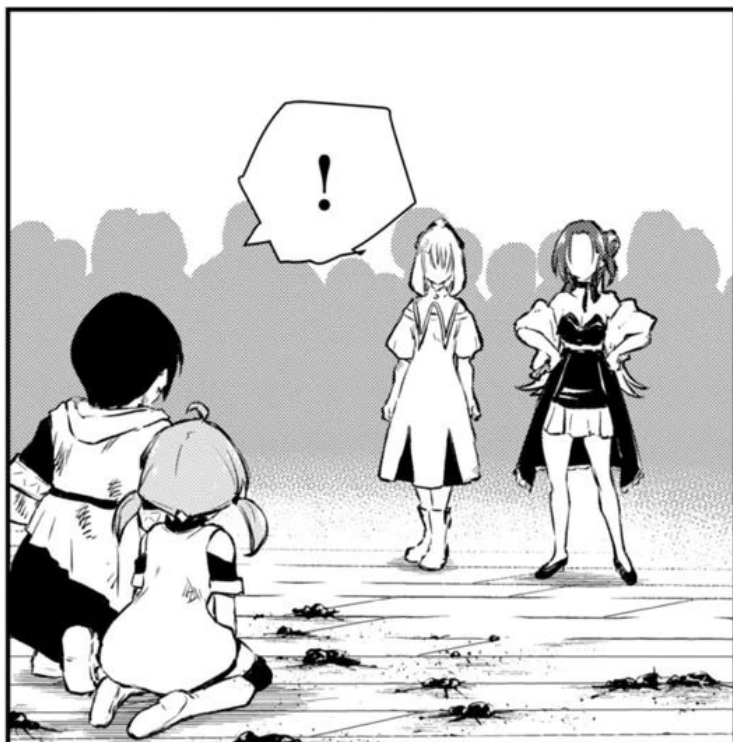
俺の指先で  
濡れる世界

A world wet with my fingertips

俺の指先で  
濡れる世界

A world wet with my fingertips

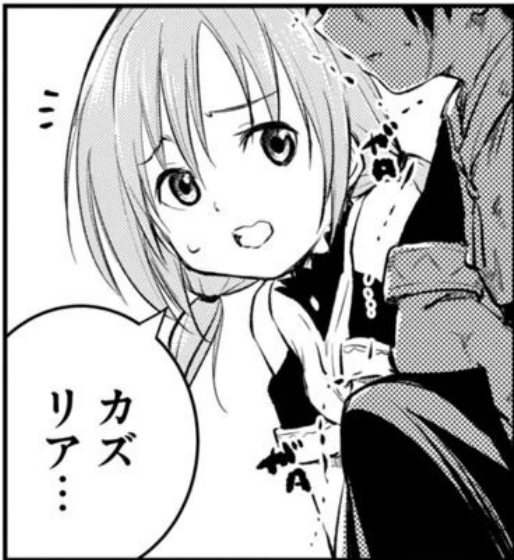






ヤバイ…

どうにも  
逃げられない  
気がしない…



ミ

カズ  
リア…



俺はここで  
殺されるのか  
— ?

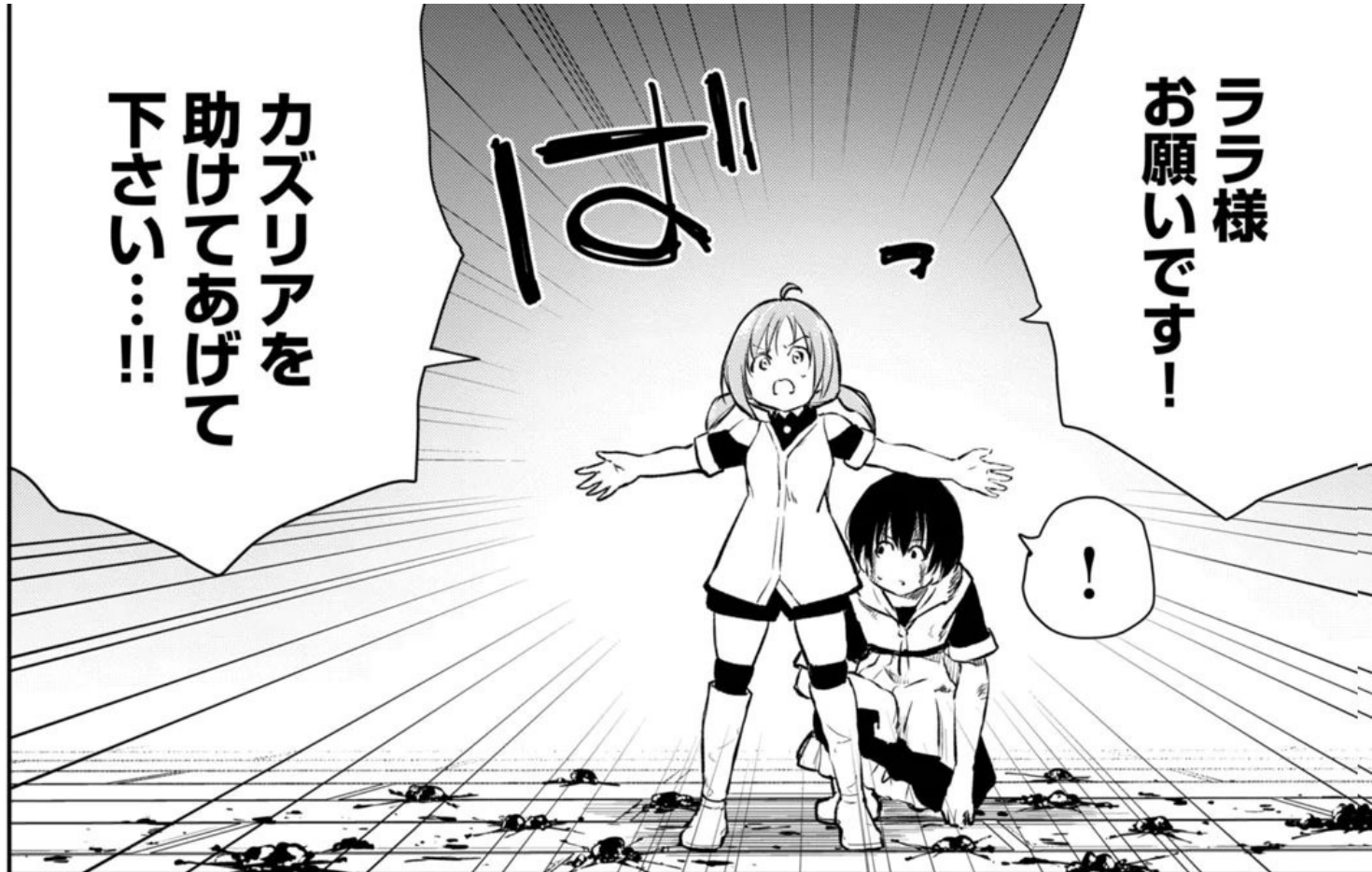


…

ララ様  
お願いです！

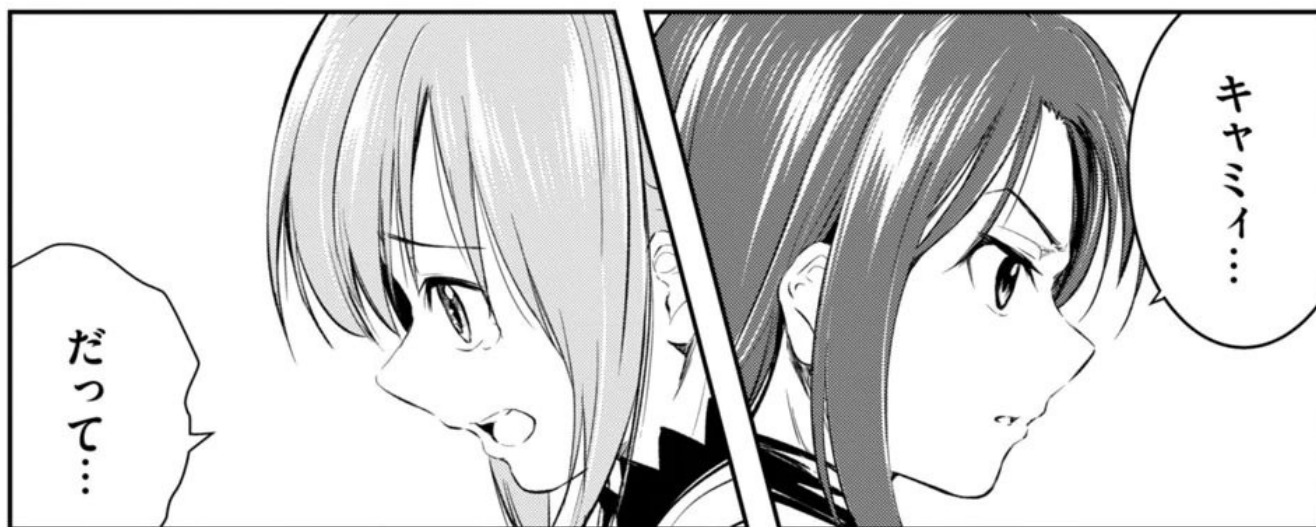
ばっ

カズリアを  
助けてあげて  
下さい…!!



キヤミイ…

だって…

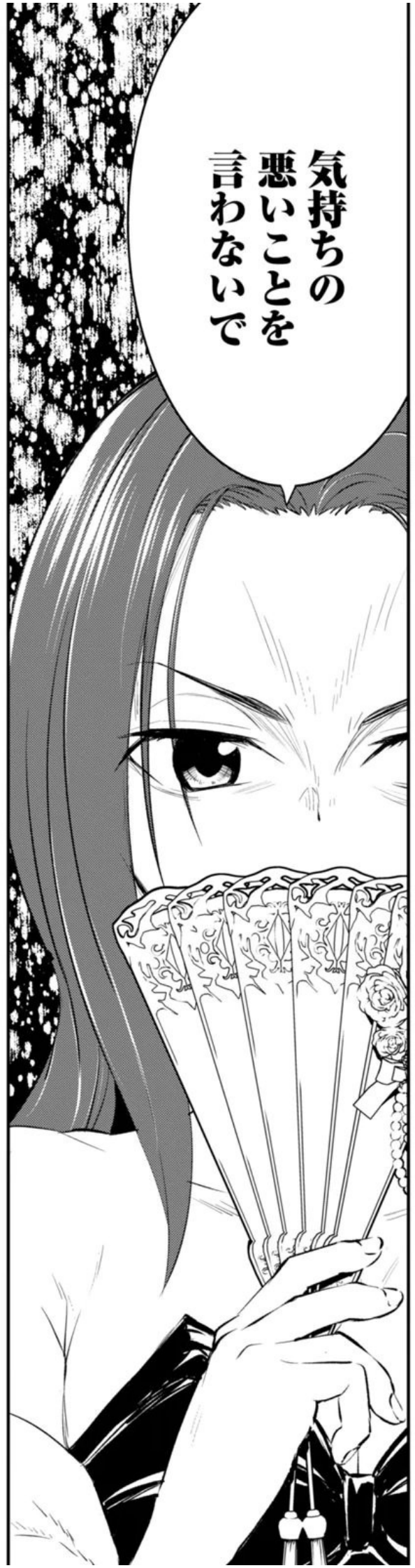


ララ様も  
カズリアの  
こと…

気に  
入ってたじゃ  
ないですか

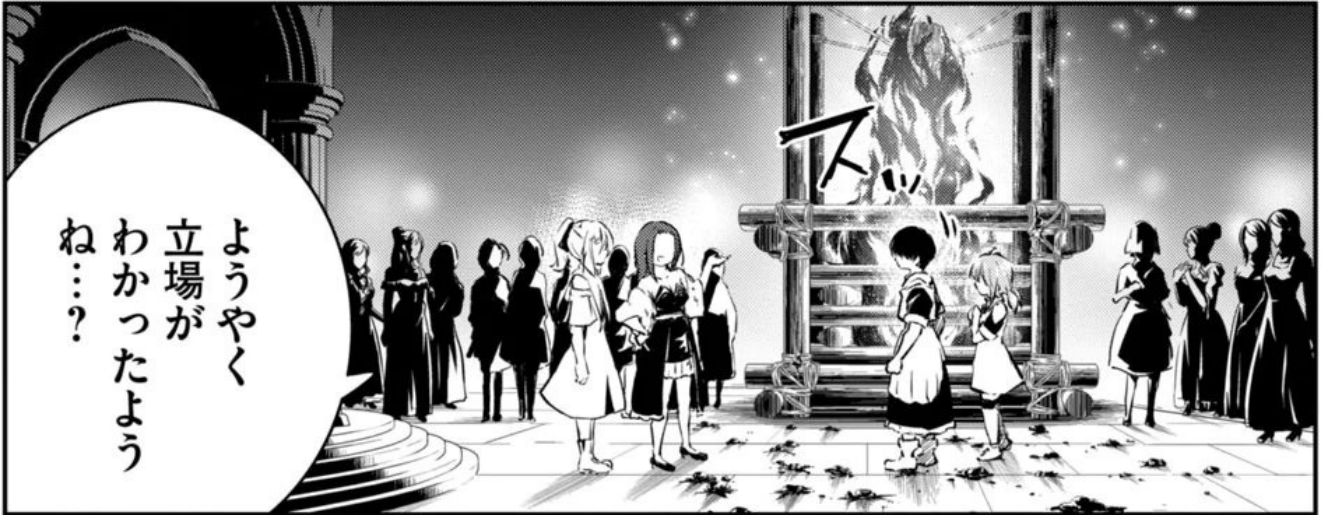
ふふ…







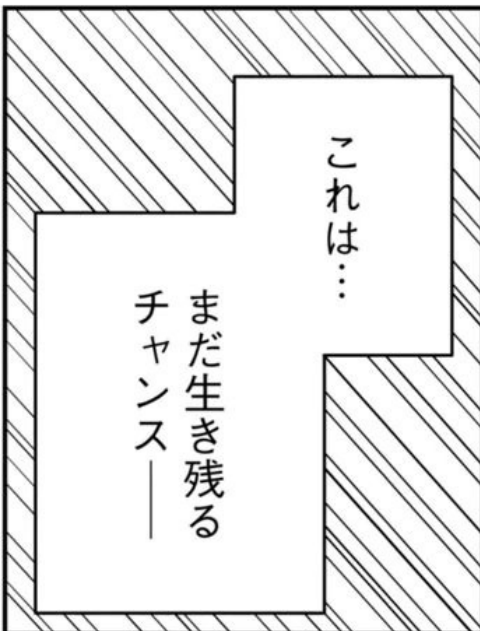




ようやく  
立場が  
わかったよう  
ね…？

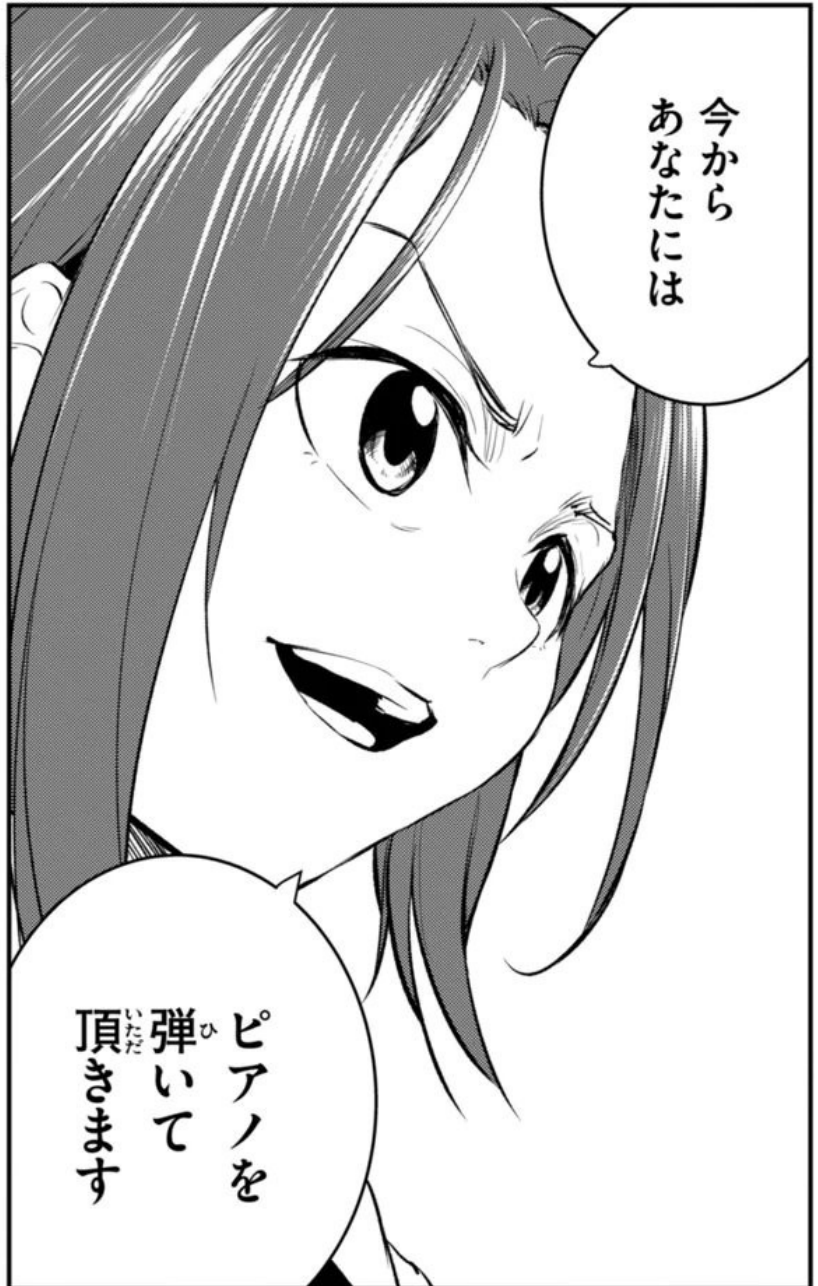


ピアノを  
…!?



これは…

まだ生き残る  
チャンス——



今から  
あなたには

ピアノを  
弾いて  
いただきます



アルジャーヌに  
関係のある  
あなたを普通に  
処刑しては

あの小娘シエリルに  
何を言われるか  
わかりません



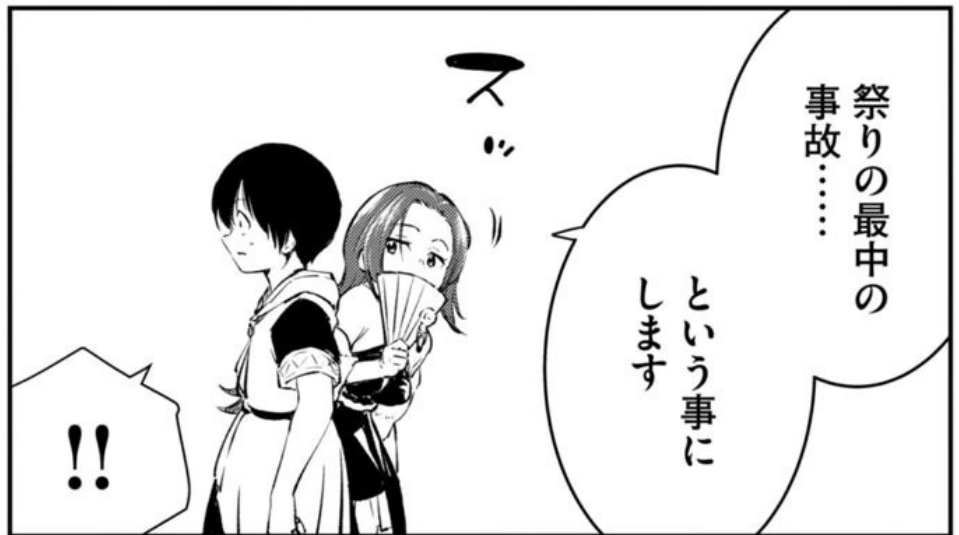
なので

カッ

カッ



...



祭りの最中の  
事故……

という事に  
します

スッ

!!



それなら  
アルジャーヌも  
抗議しにくい  
でしょう…？



さあ

お弾き  
なさい…！



構いま  
せん

それくらい  
の方が  
事故らしい  
ですから



それ  
だと…

大事な  
ピアノも  
燃えちやい  
ますよ？



他に  
選択肢は  
無い…か



男を許す  
わけには  
いかないの  
です…



セレス…



ごめん  
なさい…



火をたけ!!





なんて  
こった…

まさかこんな  
死に方をする  
ことになるとは  
夢にも…



まあでも  
他にやる事  
ないし…

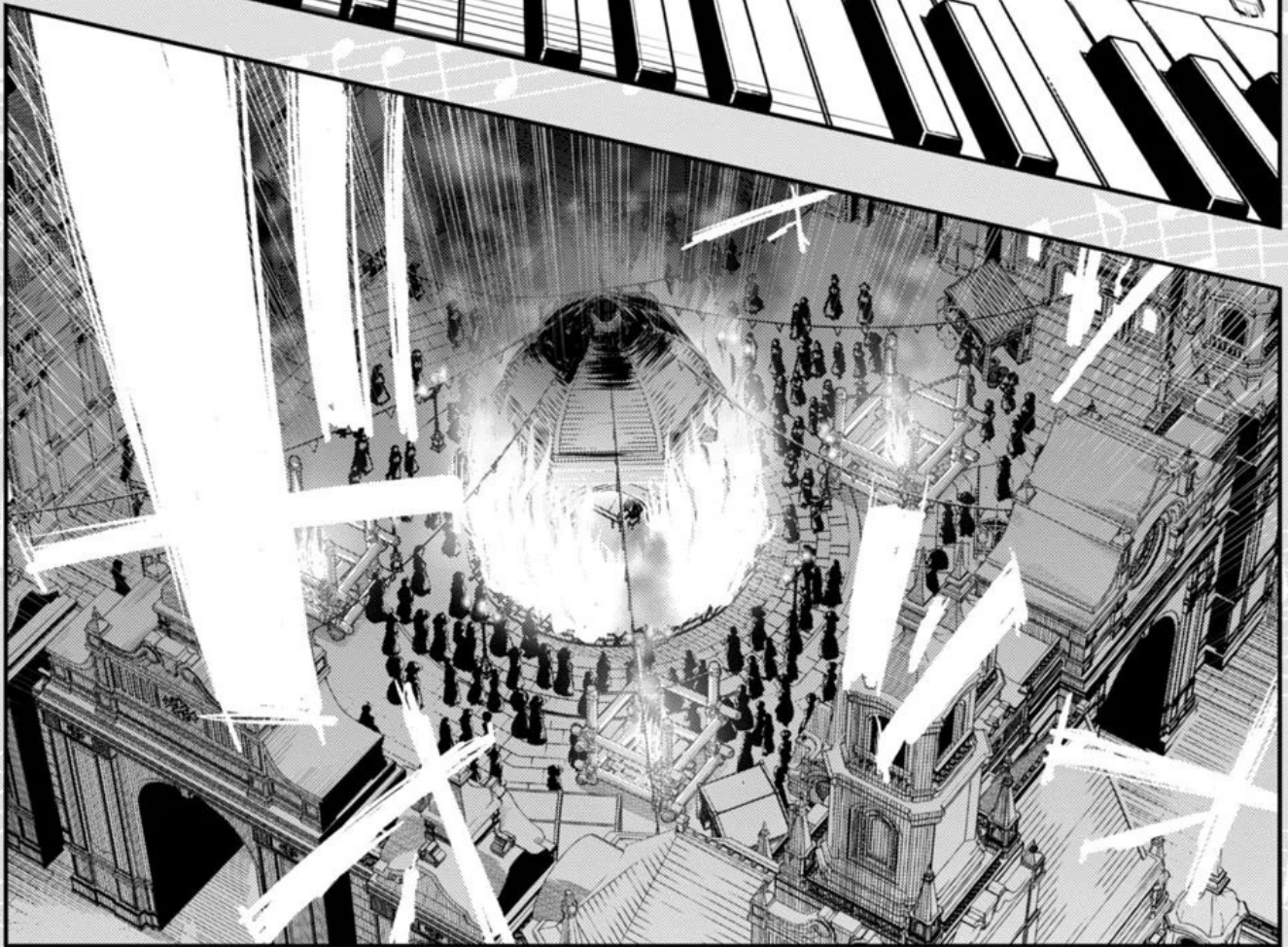
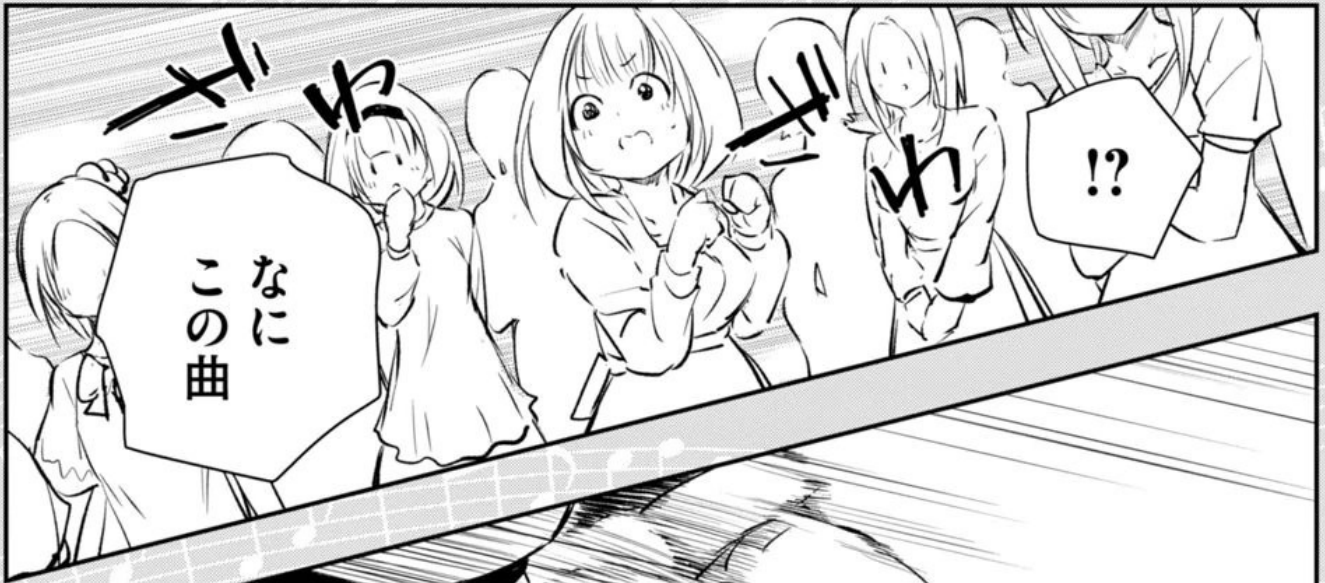


ピアノなんて  
弾いてる場合  
かっての…



気を  
紛らわすのに  
丁度いいか…









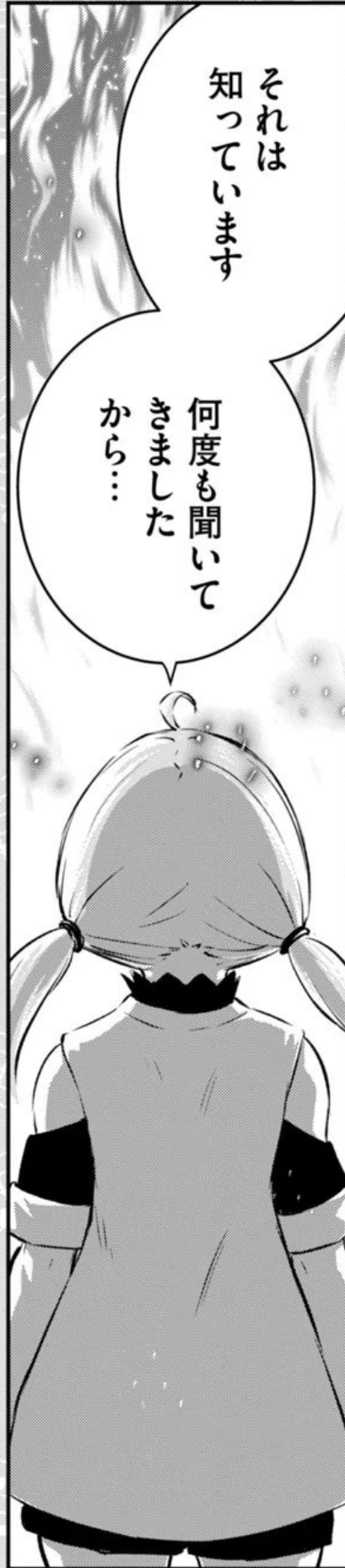
それが  
当たり前  
でした



ボクも  
そう思って  
いました



でも…



それは  
知っています

何度も聞いて  
きました  
から…



もちろん  
です…

だって男は  
粗暴で愚かで  
この世の…



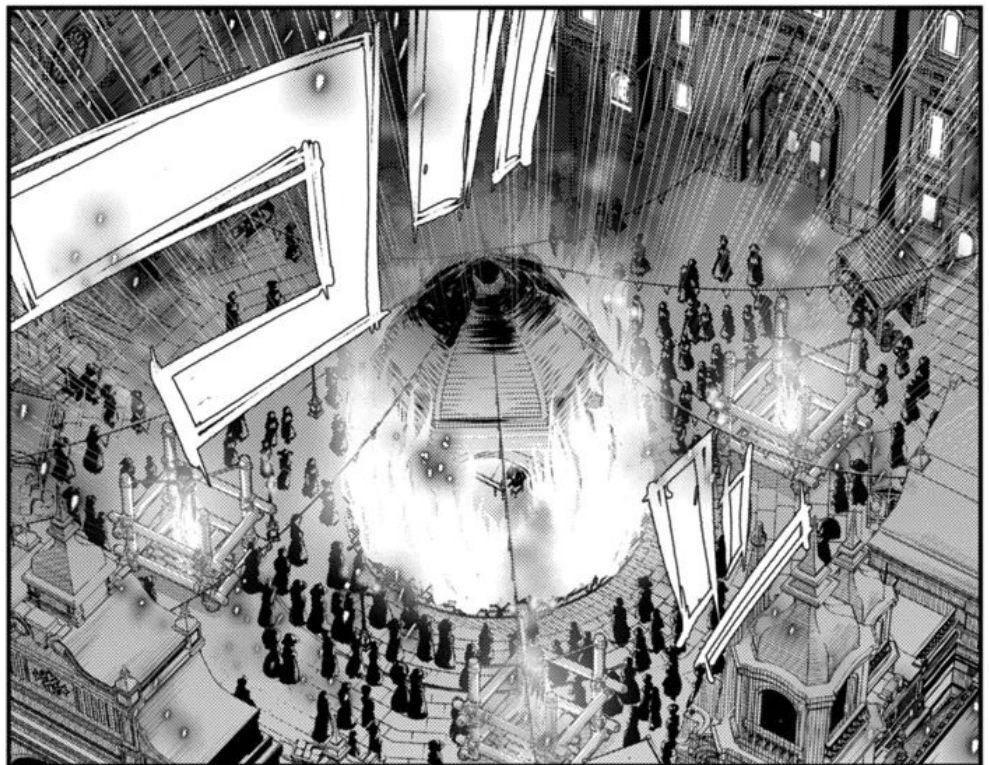
第④話 おわり



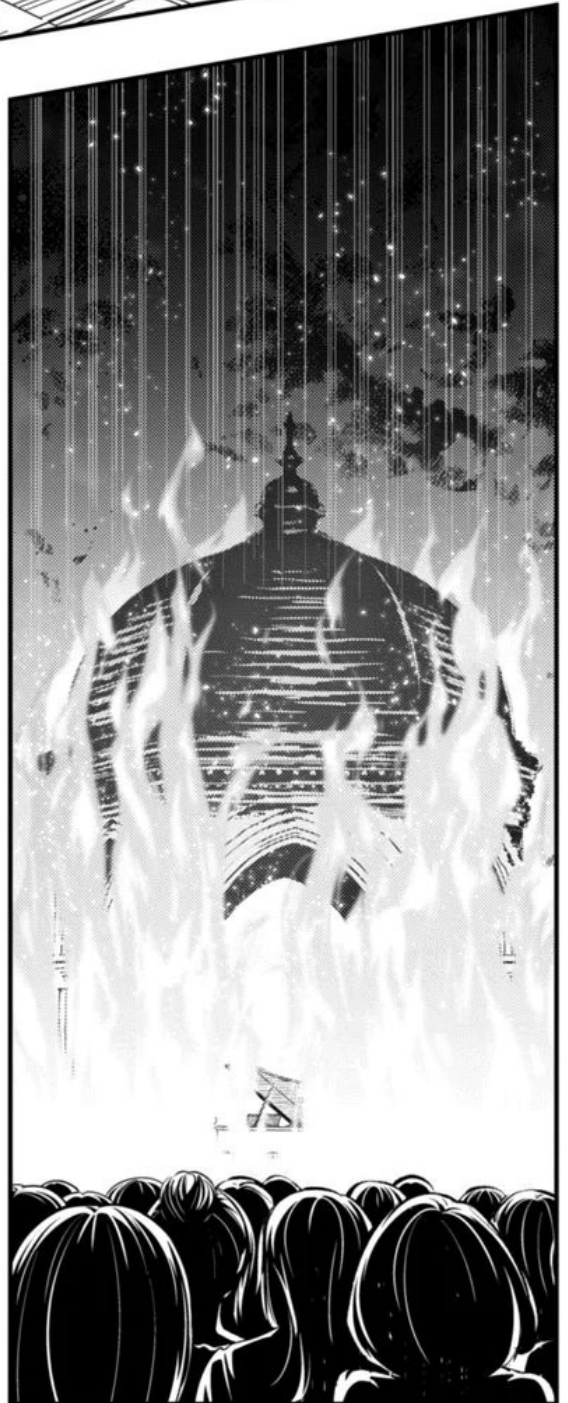
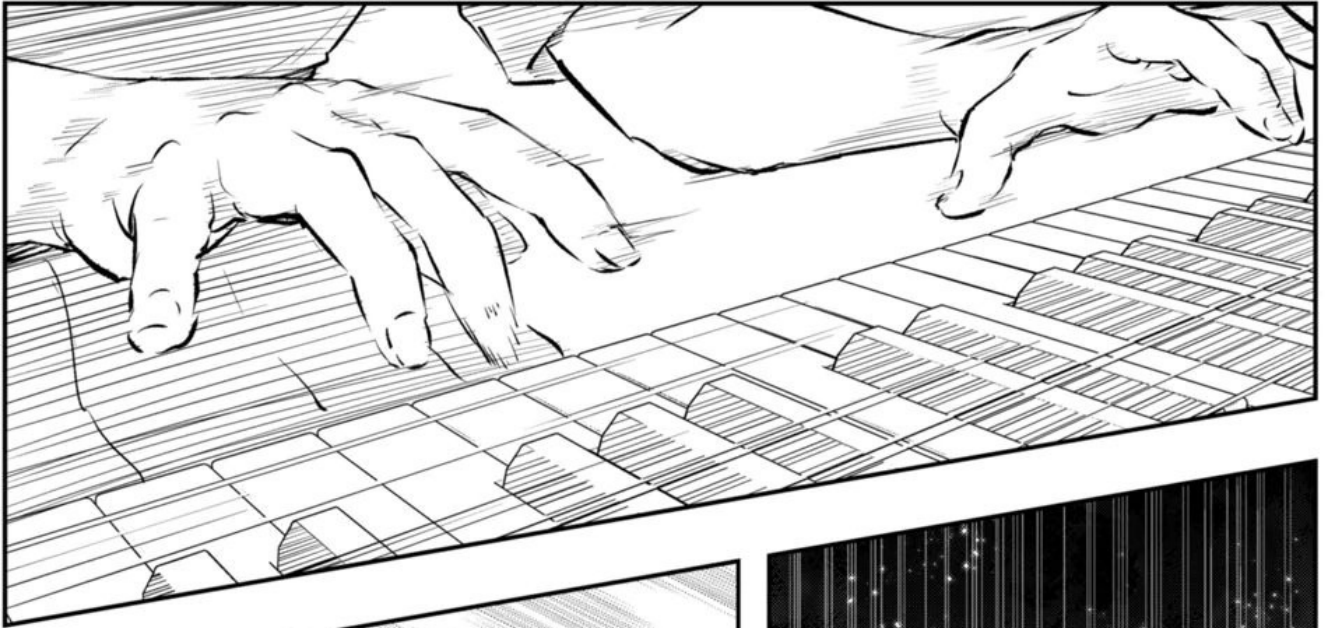
ボクは  
カズリアが  
死んだら  
悲しいです…!!




…




第32話 あなたのことが好きだから



男はこの世に不要



ずっと  
そう教え  
られてきた



それが  
私には  
当たり前

だけど…



その教えに  
違和感を覚えた  
日があったのは

いつだった  
だろう



どうしたの  
セレス

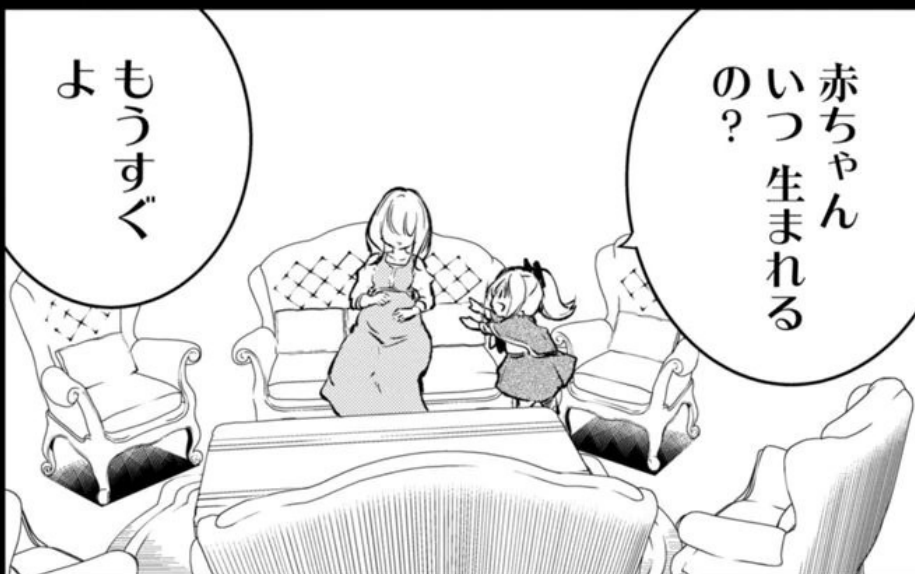


ママ〜!



カワイイ  
妹だと  
いいわね

うん!



もうすぐ  
よ

赤ちゃん  
いつ生まれる  
の?

数ヵ月後

ママ〜？

今回は男  
だったの

ごめんね  
セレス

赤ちゃん  
は…？

だから  
もう少し  
待ってね

…

赤ちゃんは  
どこへ  
いったの？

…うん

とは  
聞けなかった

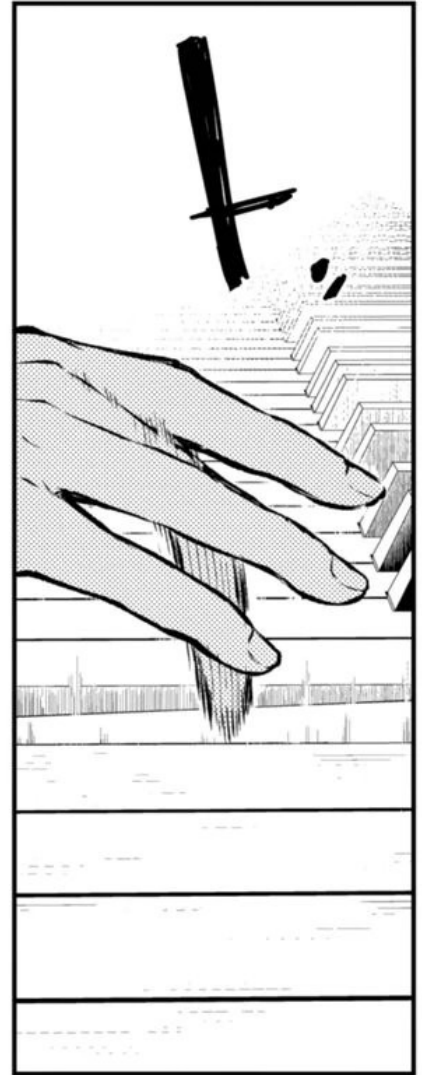
聞いては  
いけない  
気がした

みんな  
当たり前の  
顔をして  
いたから

男は  
悪いもの

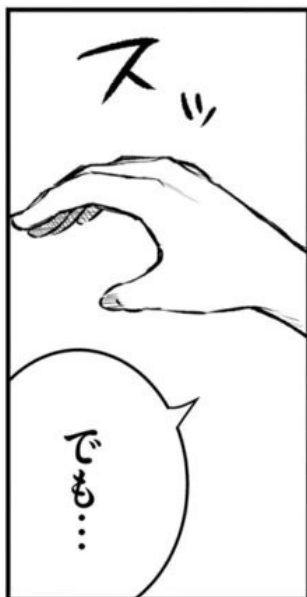
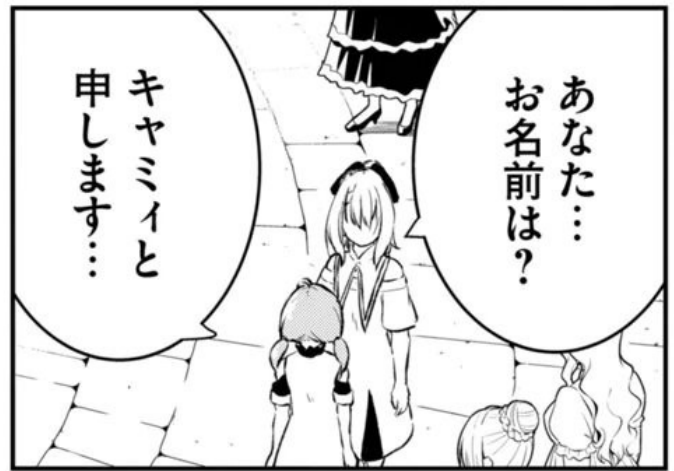
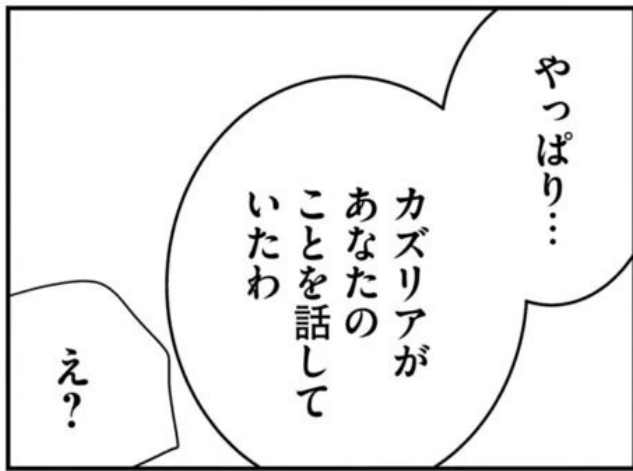
女の  
幸福のため

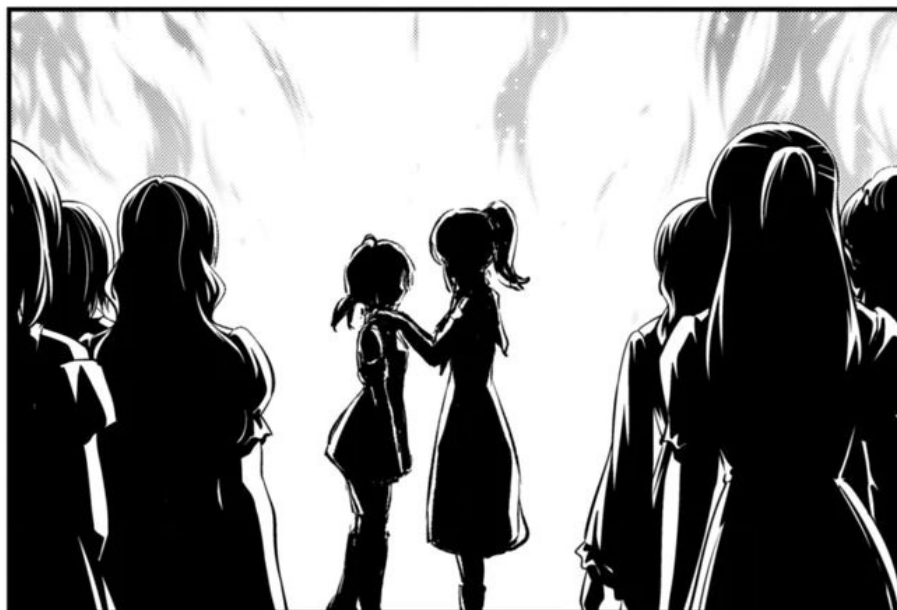
それが  
正しい…

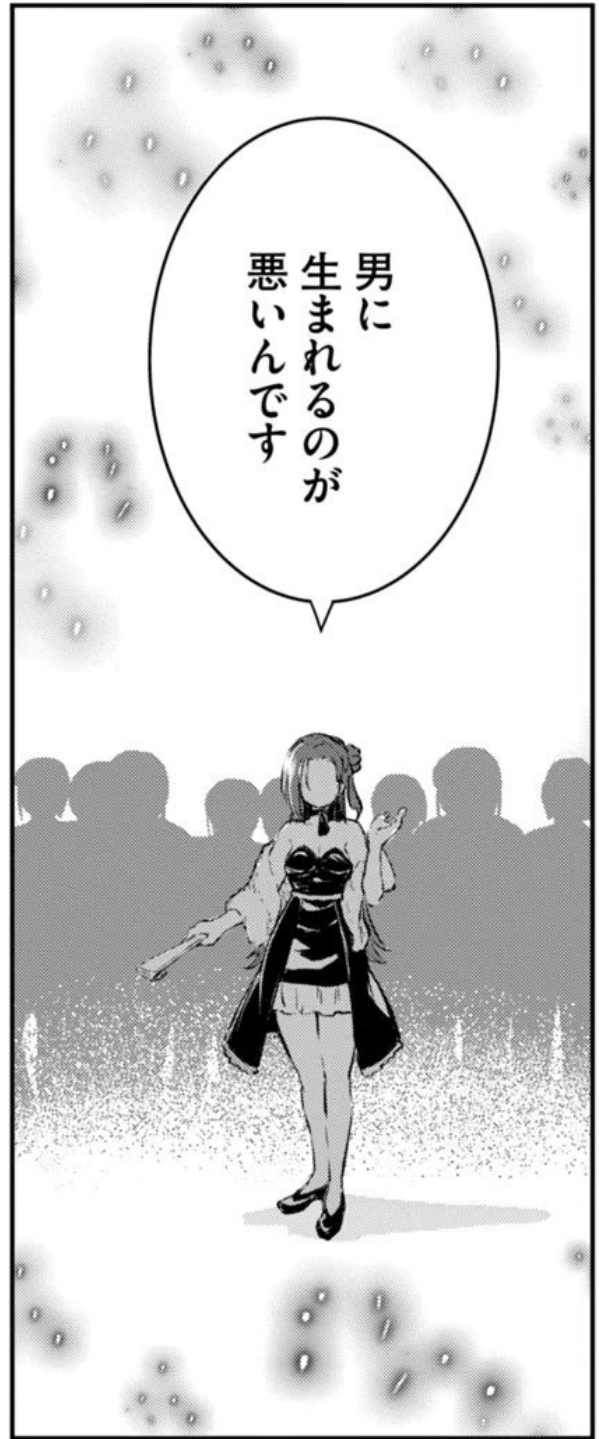
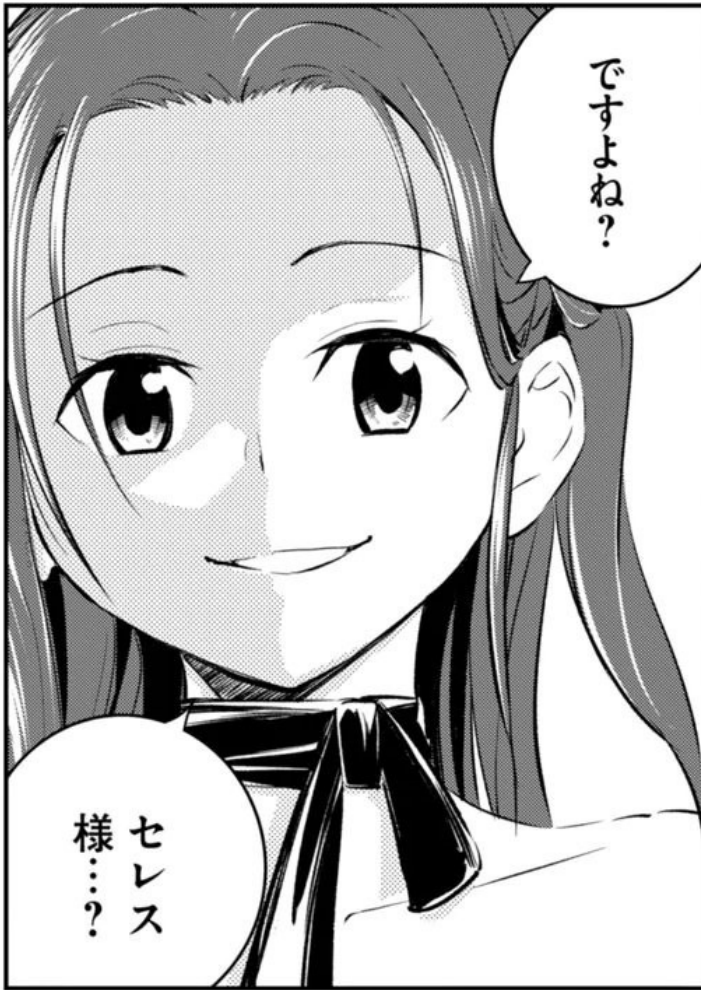


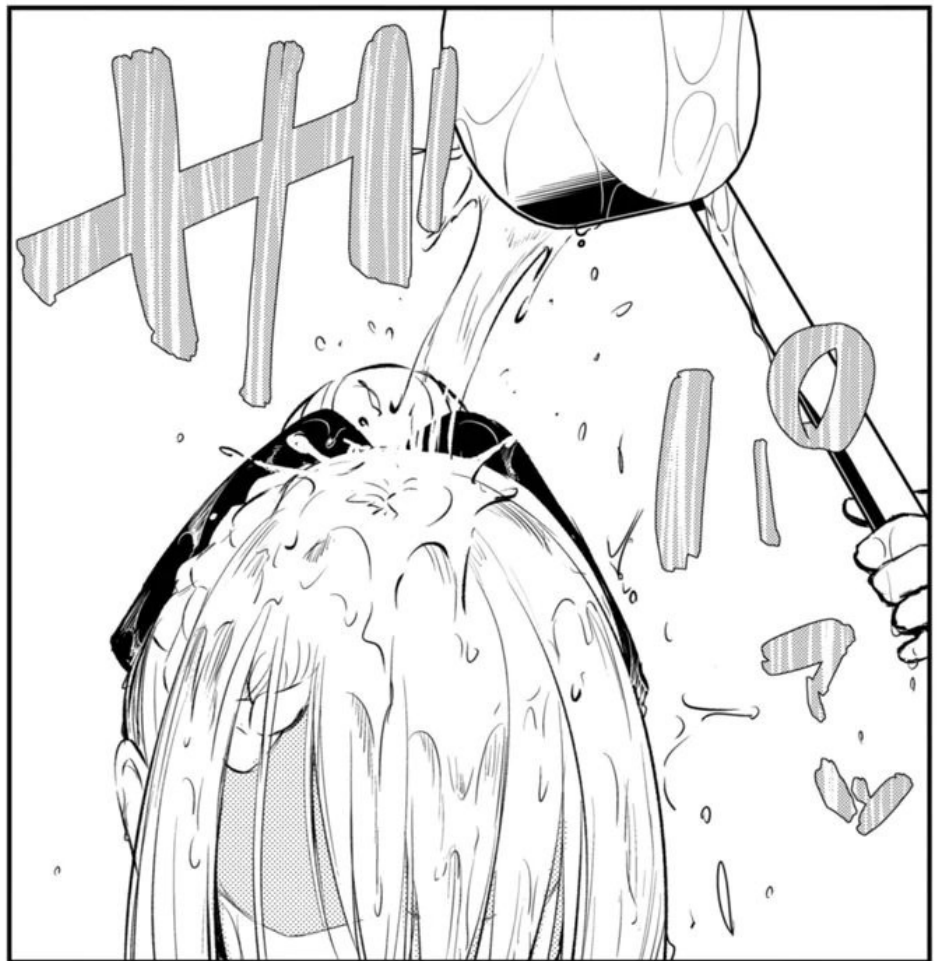
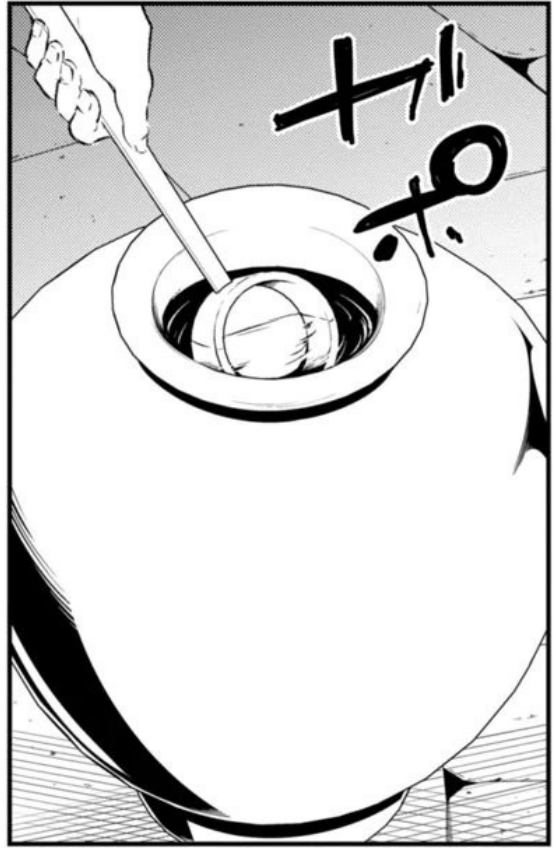
カズリアと一緒に  
弾いた曲——













セレス  
様…!!



火の中に  
飛び込むと  
いうのに



カズリアに  
会えると  
思うと――



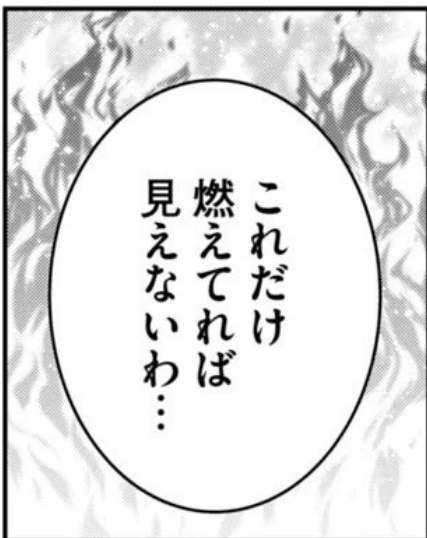
だって  
おかしいもの



ほお  
頬が  
ゆる  
緩んで

笑顔に  
なっ  
ちやう



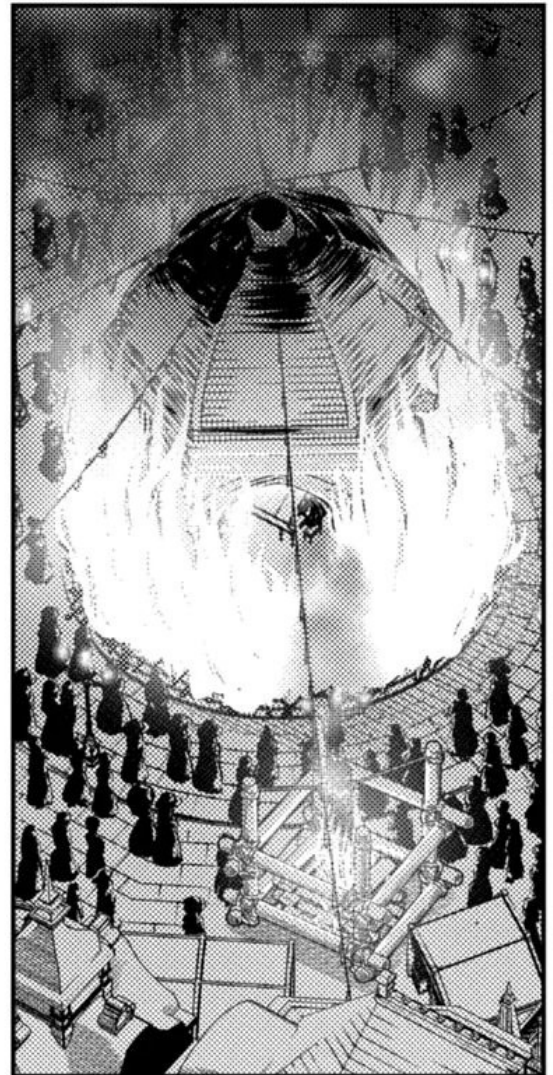
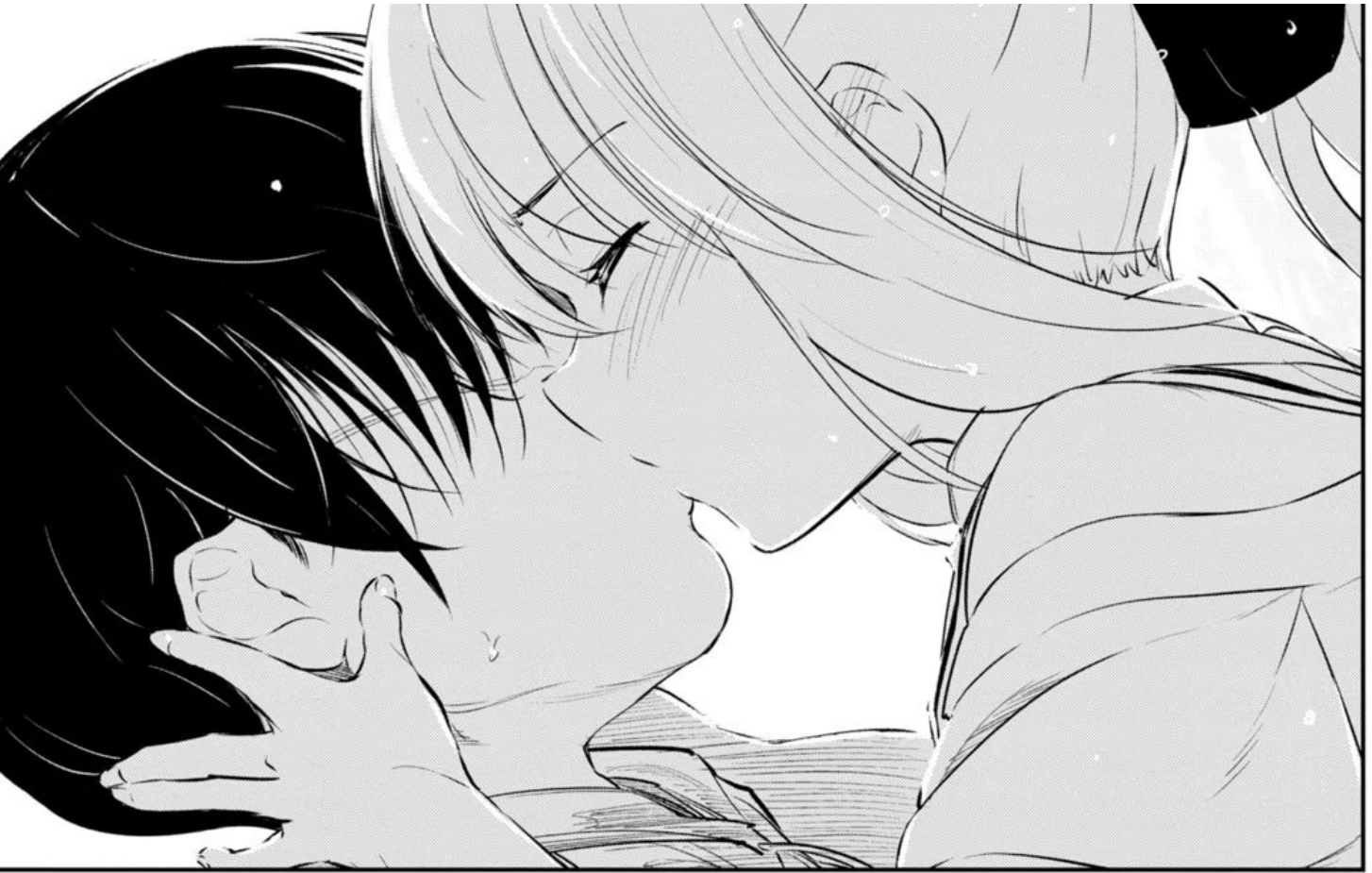








第⑫話 おわり



第33話 じっと見ないで…

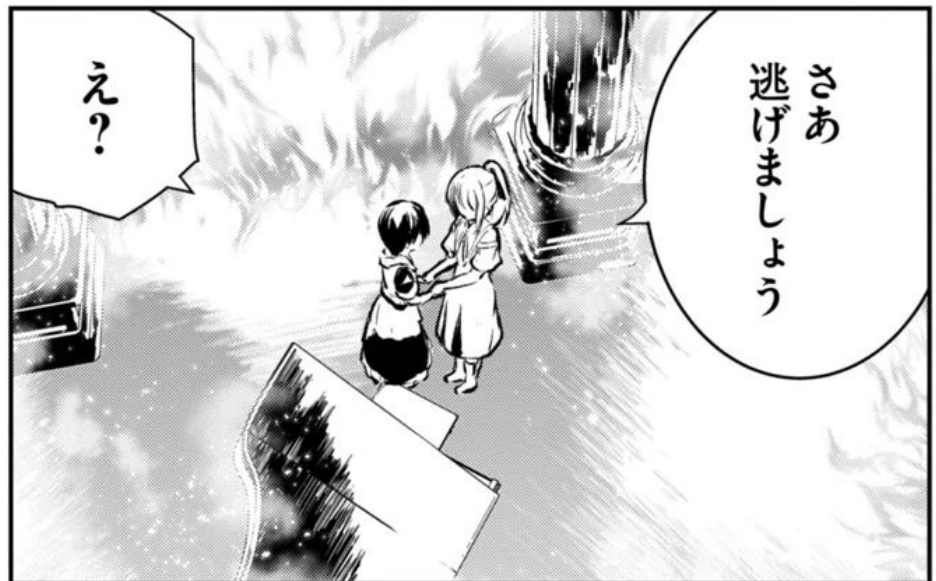


だって…

放<sup>ほう</sup>つておけ  
なかつたんだ  
もの…

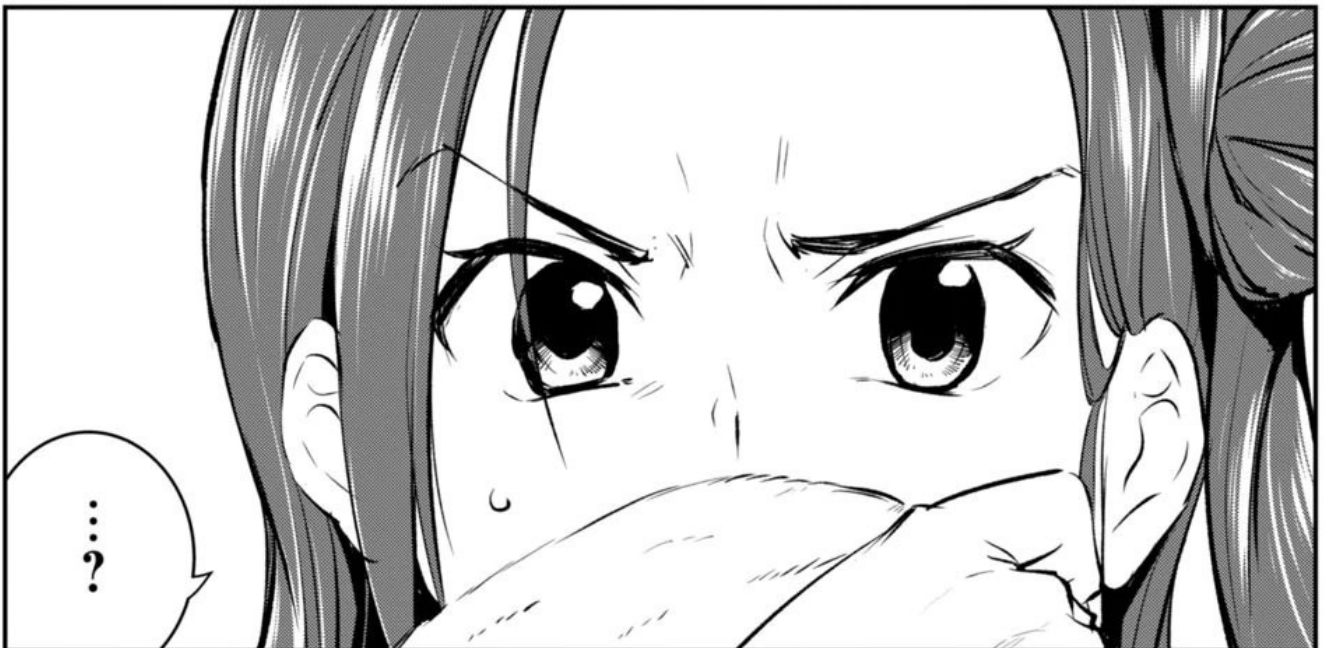
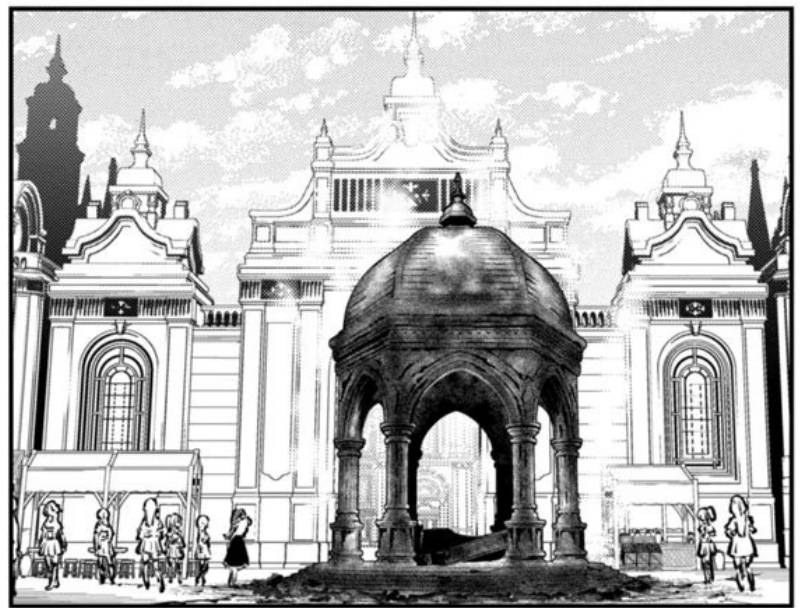
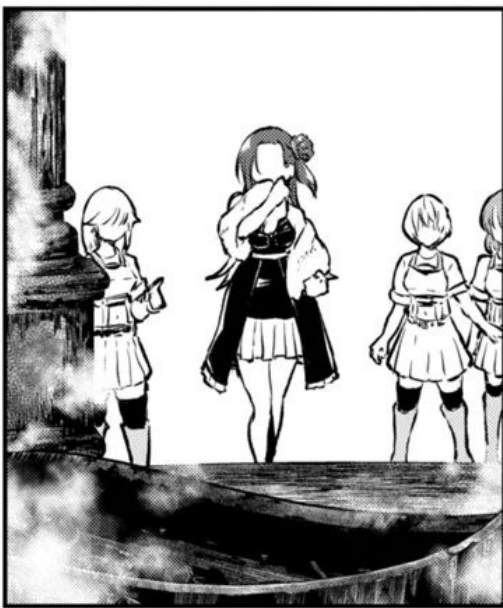


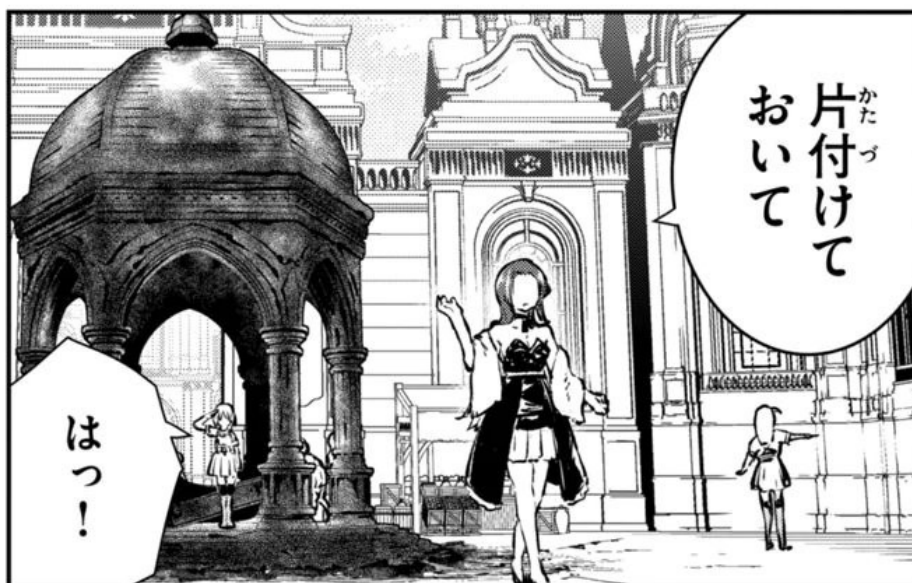
に…  
逃げるって  
!?



え？

さあ  
逃げましょう







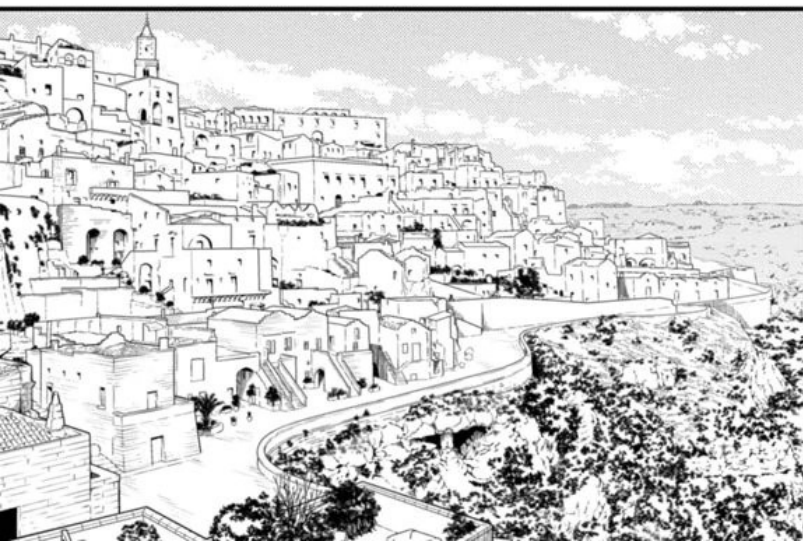
凄<sup>さ</sup>かった  
よね

ねえ  
聴いた？  
あのピアノノ

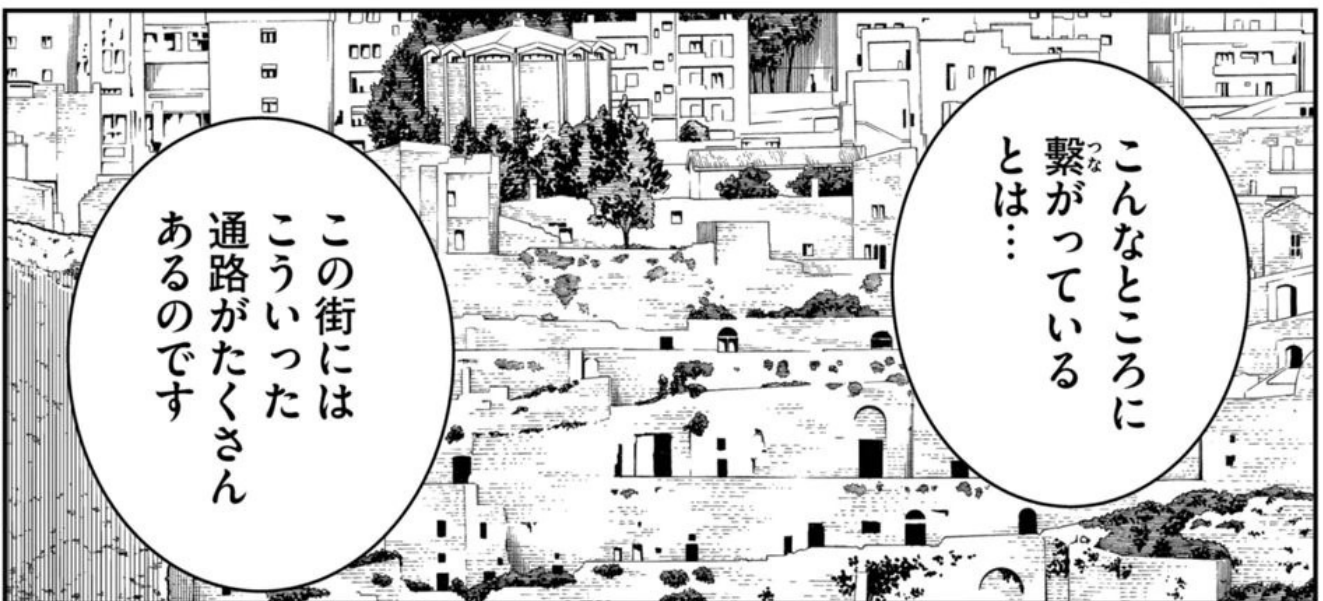
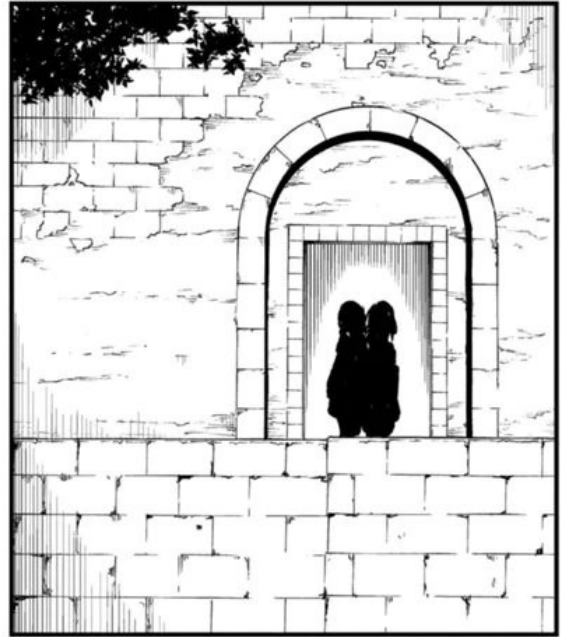


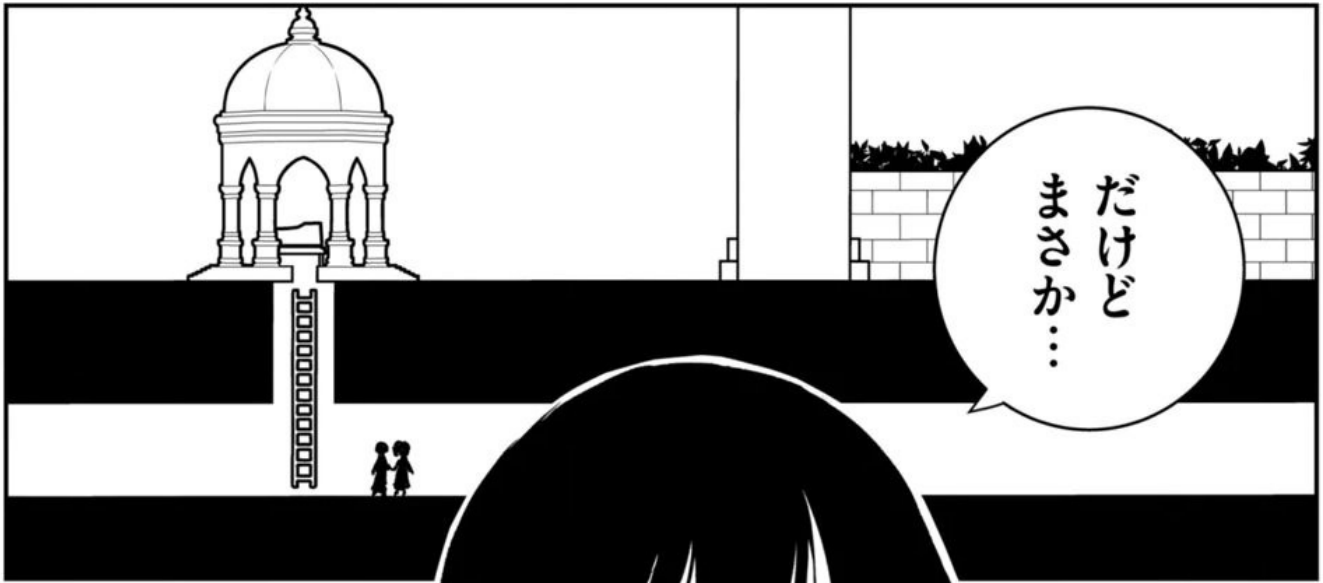
なんか  
聴いてて  
ドキドキ  
しちゃった

あ  
た  
し  
も



いつたい  
なぜあんな  
ことを...





だけど  
まさか…



ピアノの下に  
抜け道がある  
なんて…



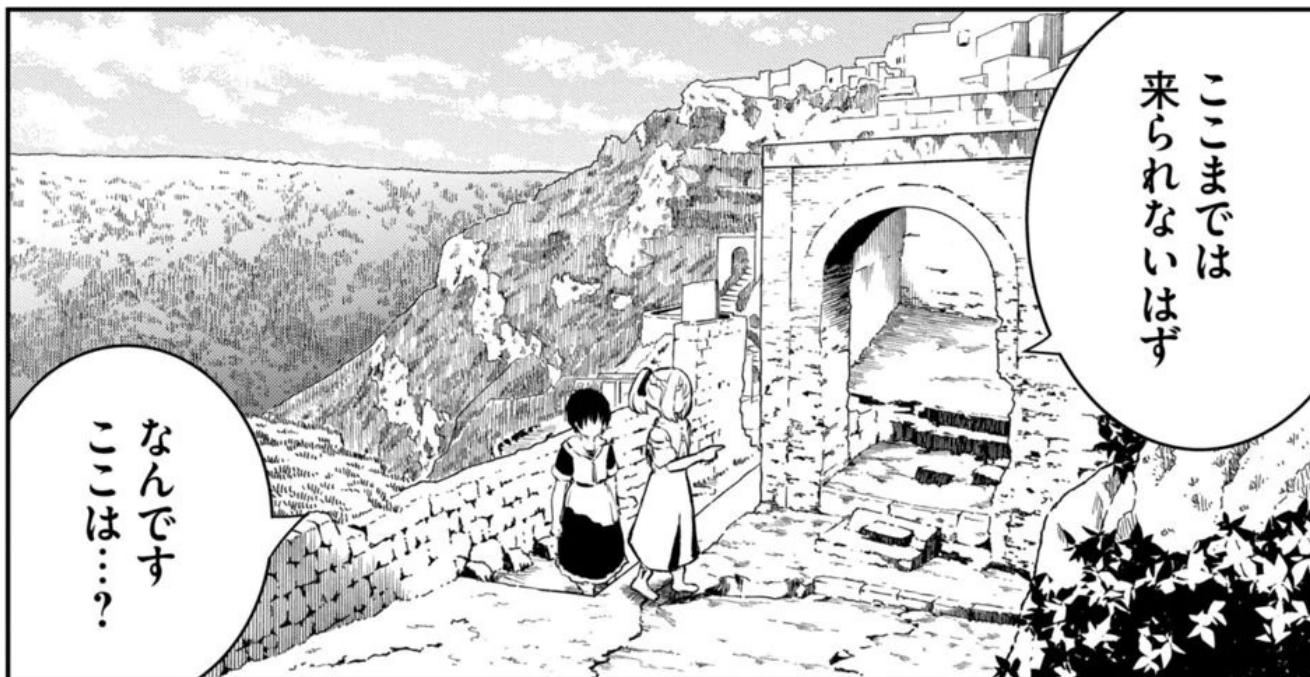
片付けたらすぐ  
見つかって  
しまうでしょう

けど…



聖<sup>せい</sup>天<sup>てん</sup>主<sup>しゅ</sup>しか  
知らない  
脱出経路です！

そんなの  
あるんだ…



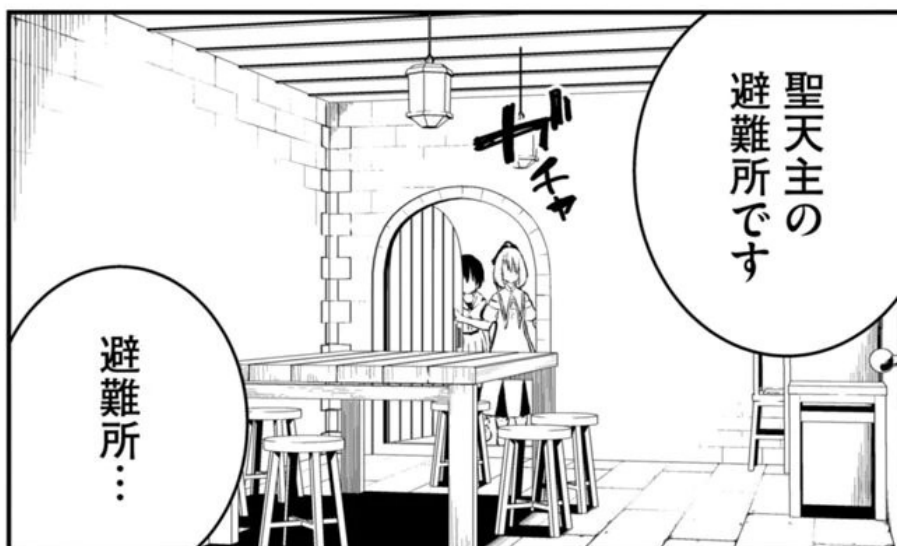
ここまででは  
来られないはず

なんです  
ここは……？



ここで少し  
休みましょう

カキカキ



聖天主の  
避難所です

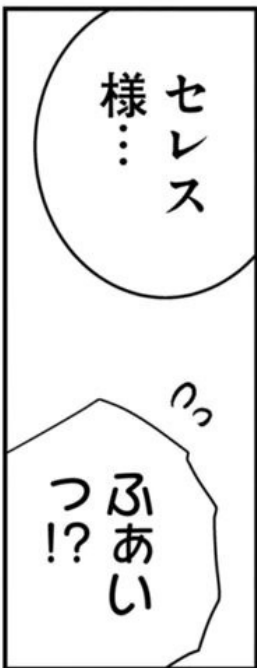
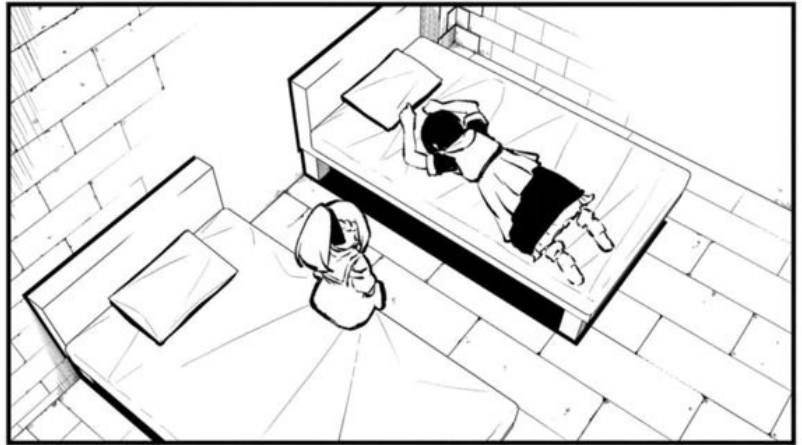
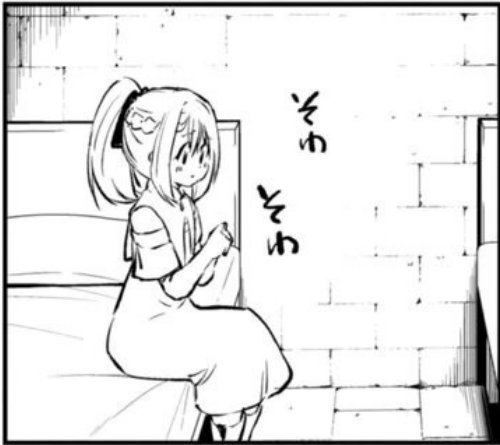
避難所…



はあゝ  
……

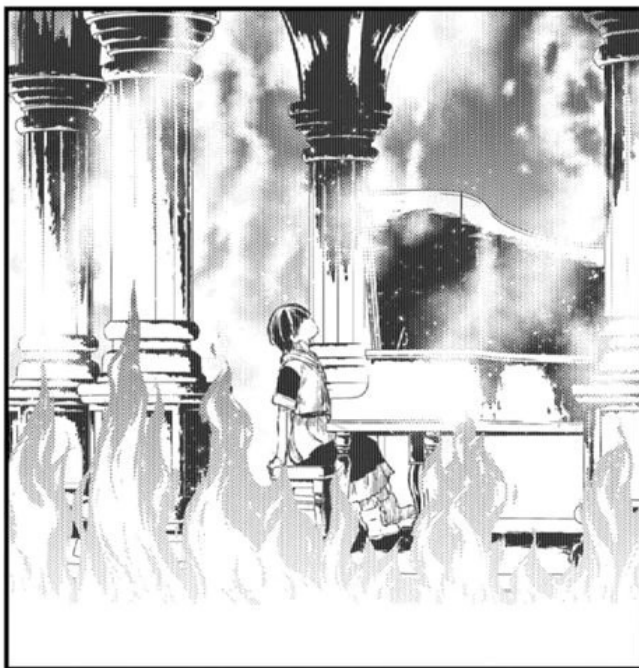


死ぬかと思っただけ



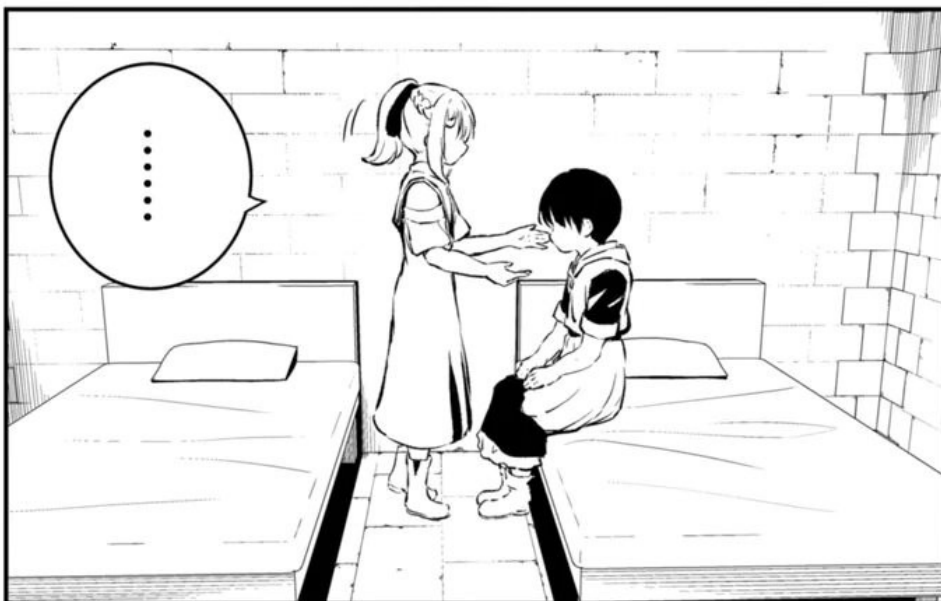
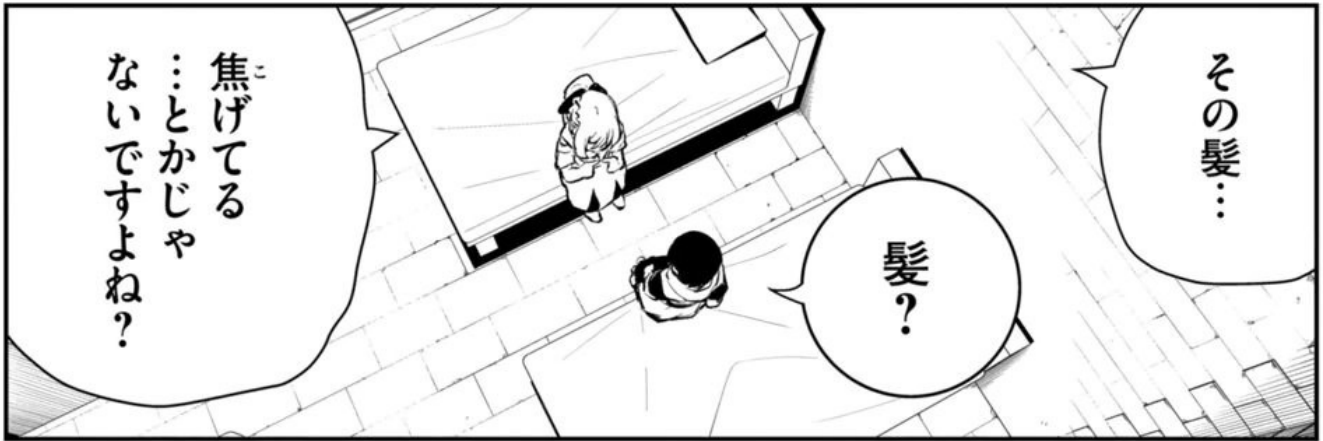
セレス様...

ふあい!?



...







!?

ちゅる

ちゅる

ちゅる

(ちゅる)

(ちゅる)

ちゅる

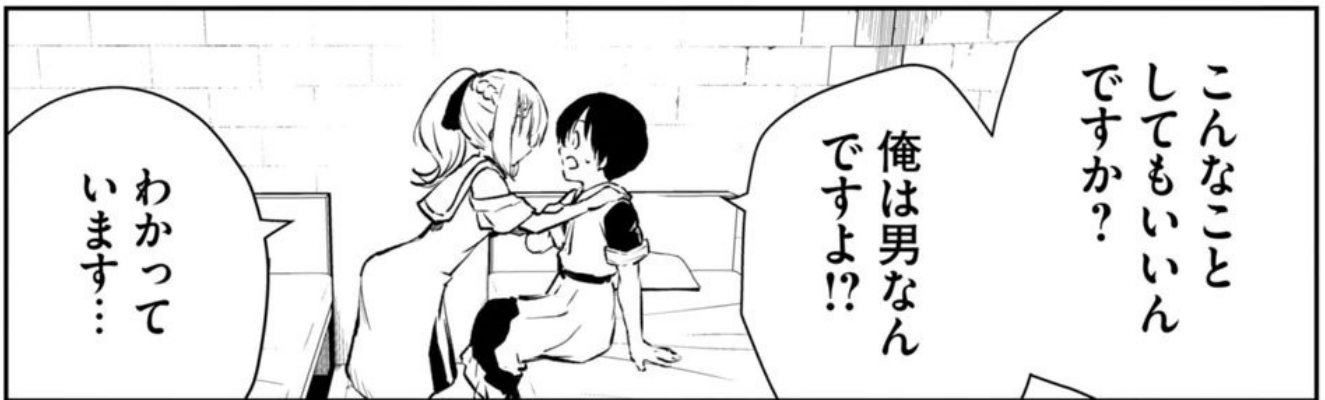
んっ…

セレス  
様!?





~~~~~!



わかって  
います…

俺は男なん  
ですよ!?

こんなこと  
してもいいん  
ですか？



だけど…



だけど…

この世界に  
男は不要

処刑  
しなさい

男なんて全部  
滅びればいいのに

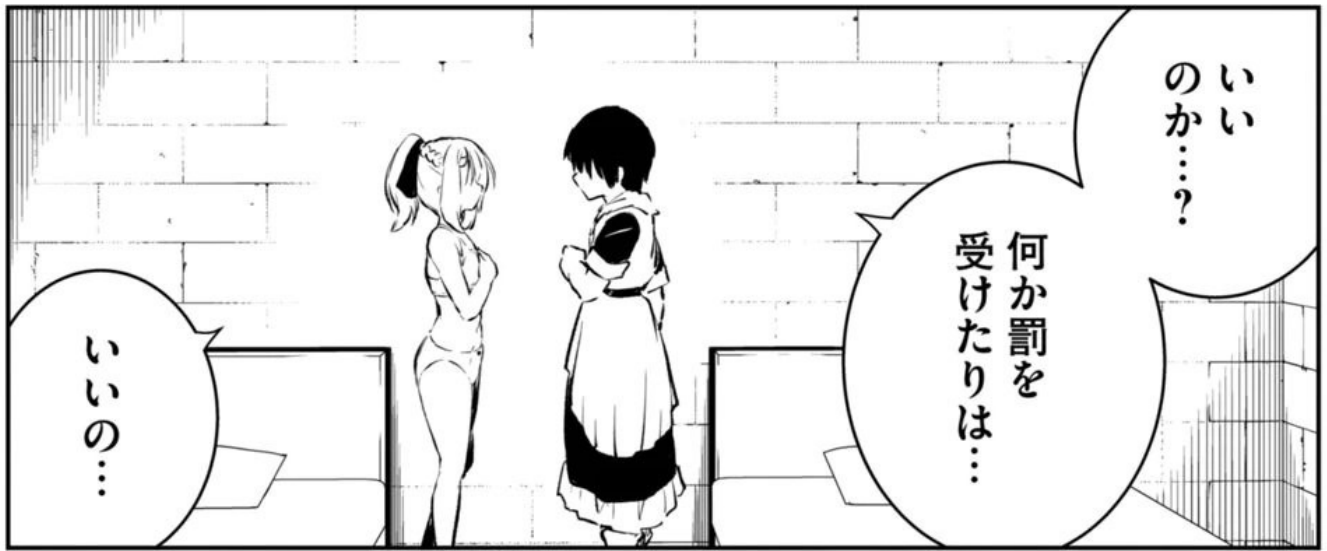
もう…  
いいんです…!!







恥ずかしい  
から…



いい  
のか…?

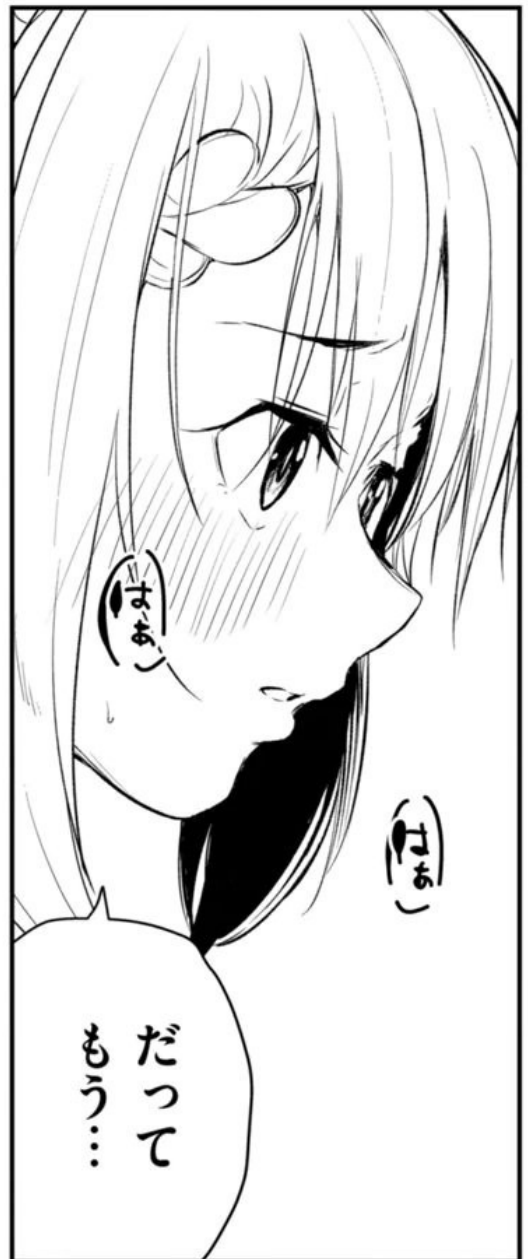
何か罰を  
受けたりは…

い…の…

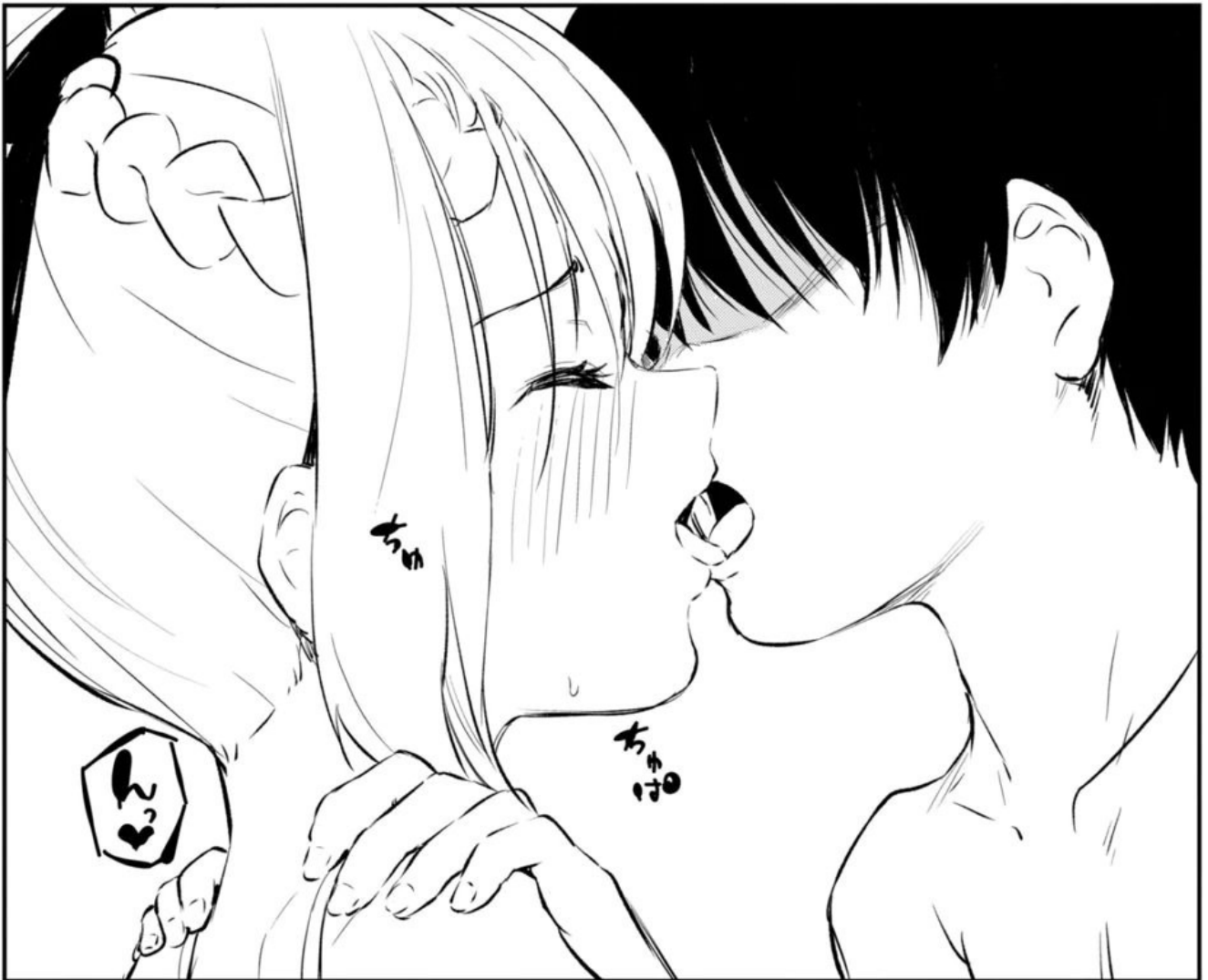
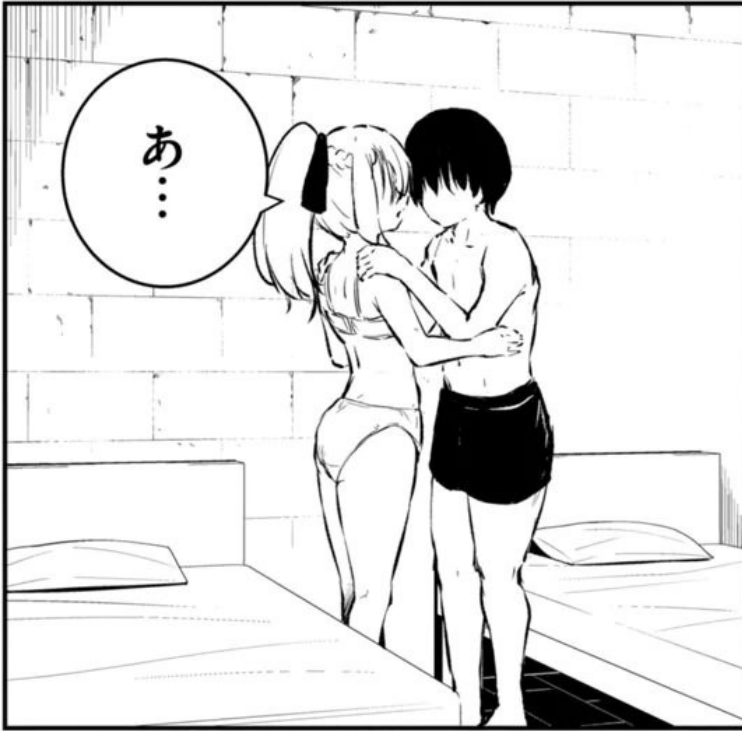


…ガ

ガマン  
できない  
です…



だって  
もう…



『俺の指先で濡れる世界』④ おわり  
5巻につづく!!

# 次巻予告

その指先が理不尽極まる世界に挑む!!

窮地を脱した和也を待っていたのは…!!

# 大・饗・宴♡

無事に生存延び、生を実感する和也とセレス。  
ルナレザエイル  
その中で「夢写の鏡」について  
和也は新たな事実を告げられる。  
真偽を確かめるべく向かった先は、

DSな女医がムチを振るう  
悪夢の地だった!!

# 俺の指先で濡れる世界

お医者様の言うことはゼツタイ…

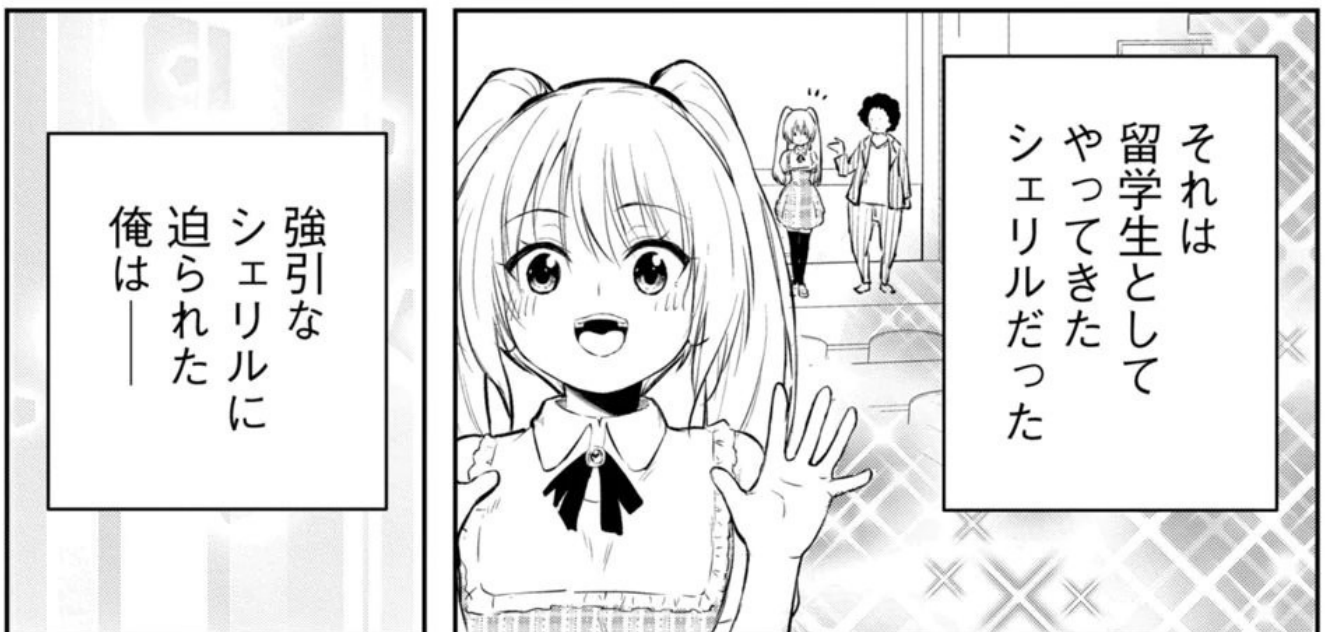
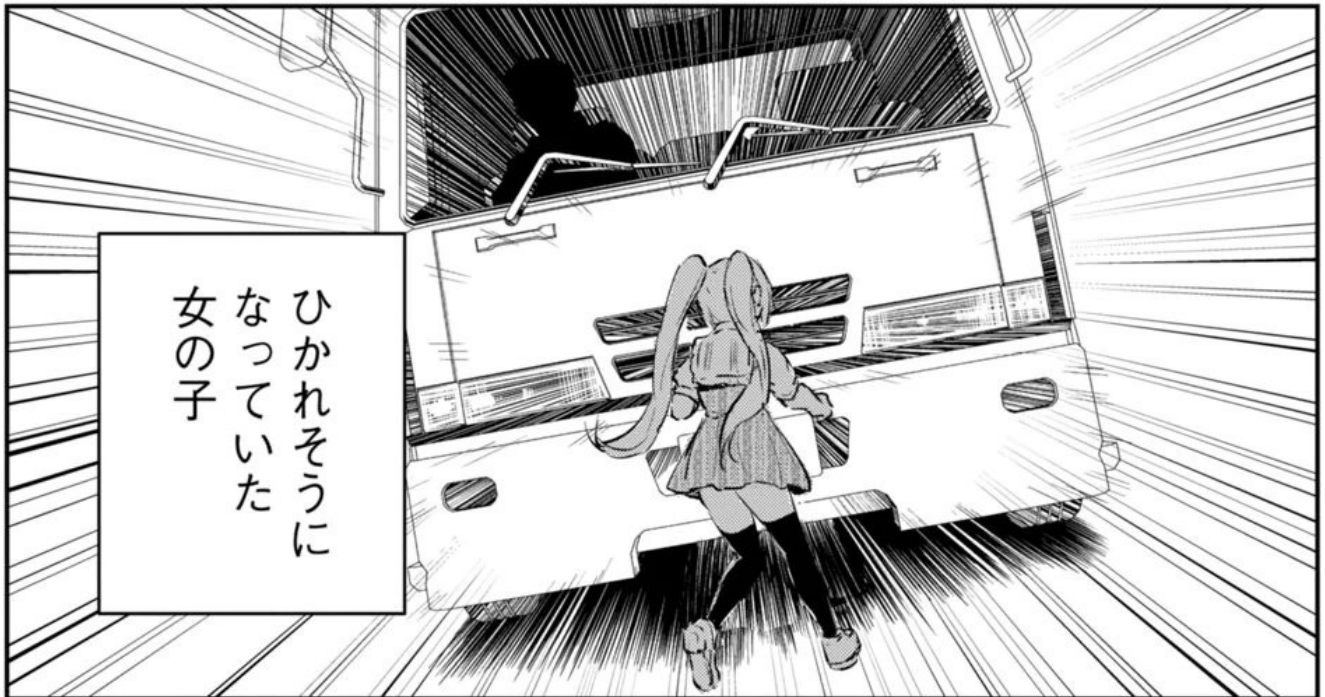


A world wet with my fingertips

# 5 26年6月発売予定!!

# おまけ

## 異世界には行かず タイムリープしてしまった件 (指の力もあるよ!)





気がつくと  
ホテルに  
連れ込まれて  
いた



カズヤ：  
そこっ♡

……  
カズヤ









おまけ おわり

欲望わしづかみ！ 禁断の愛と性！

「上野くんは開発済み」

中浦トモキ

イジメられなきや××できない。  
歪んだ性癖の大学生らが織りなす、  
哀しきフル○ツキ青春譚！



「108P！ ～1年後に絶対108Pする話～」

zensori

彼女の欲望を解き放ち、絶頂させる  
ことは出来るのか!? 107人と  
愛し合う、前代未聞のエロコメディ♡



ヤンマガKCNOWONSALE!!

# NTREVENGE

ネトリベンジ

revenge  
01  
ROUND  
原作  
マサイ  
STORY MASAI  
漫画  
奇仙  
MANGA KISEN



悪魔と契約して得た力で、  
徹底的に姦り返せ——。  
NTR×復讐の物語、開幕。

## NTREVENGE

マサイ／奇仙



原作 チンジャオ娘  
漫画 野上たま

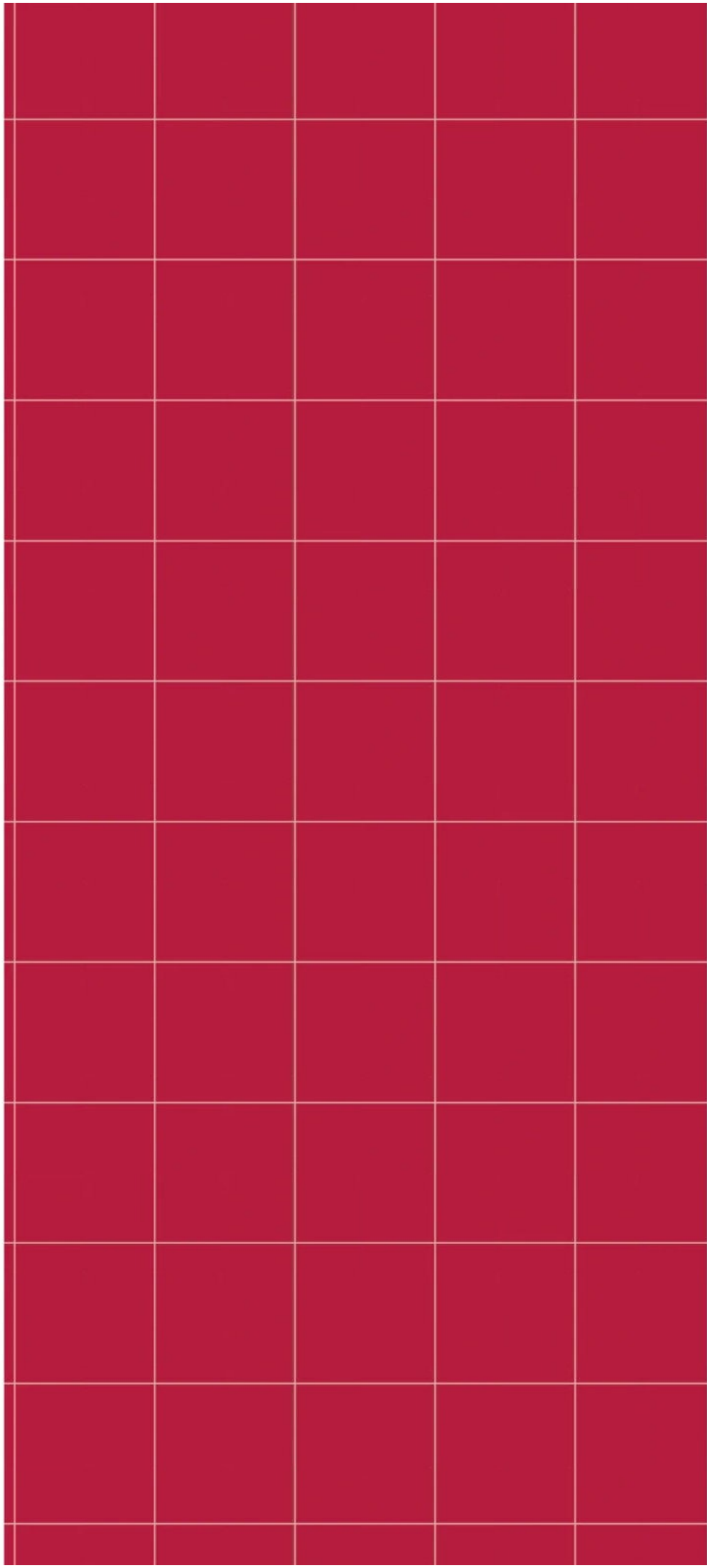
1

人妻の唇は  
缶チューハイの  
味がして

「人妻×ストロング系缶チューハイ」  
が織りなす、背徳のオムニバス！

## 人妻の唇は 缶チューハイの味がして

チンジャオ娘／野上たま



せいてんしゅ  
私は聖天主として…  
男を許すわけにはいかないのです…

女尊男卑の異世界で「触ると女性が“反応”してしまう魔法の指先」を  
獲得した芸大生<sup>かすや</sup>の和也は、「女性しかいない国」を訪ねる。

男とバレるだけで処刑される恐ろしい国で、  
和也は過激思想の持ち主「聖天主」から、元の世界に  
帰るための手がかりを得なければならない。

和也の指先は、男を忌み嫌う聖天主に通じるのか。  
そもそも、バレずに生きて帰れるのか…!?



# 俺の指先で 濡れる世界

A world wet with my fingertips

龍大和

presented by Ryu Yamato  
young magazine KC



**A world wet with my fingertips**

講談社のコミックスを買って応募!!



# 春のマンガまつり 2026

キャンペーン応募期間 2026年2月2日(月) ~ 2026年5月12日(火)



株式会社講談社は東京ディズニーランド® / 東京ディズニーシー® のオフィシャルスポンサーです。

©Disney

貸切コース(2冊1口で応募) 抽選日 2026年9月25日(土) 19:30-22:30

東京ディズニーシー® プライベート・イブニング・パーティーパスポート(ペア)

抽選で 5,000 組 10,000 名様に当たる!

貸切コース グレードアップ賞 5口以上で自動エントリー 50 組 100 名様

東京ディズニーシー プライベート・イブニング・パーティーパスポート(ペア)  
東京ディズニーリゾート・トイ・ストーリー、ホテル当日宿泊

パークチケットコース(3冊1口で応募)

東京ディズニーリゾート® パークチケット(ペア)

抽選で 1,000 組 2,200 名様に当たる!

パークチケットコース グレードアップ賞 2口以上で自動エントリー

東京ディズニーリゾート パークチケット(4枚) 100 組 400 名様

ギフトカードコース(2冊1口で応募)

東京ディズニーリゾート® ギフトカード 1万円分 抽選で 500 名様に当たる!

図書カードコース(2冊1口で応募)

図書カード 1万円分 抽選で 1,000 名様に当たる!

さらに! セカンドドリーム賞 規定の金額以上の購入をさせていづれのコースにも当選されなかった方

A 図書カード10万円分 抽選で 50 名様に当たる! B 講談社ドリームセレクション 抽選で 100 名様に当たる!

詳しい応募方法は  
こちら



このキャンペーンは全国約8,000店舗の書店および約30店舗の電子書店で実施しています。 ※当選者数は、全て紙版と電子版の合計数です。 詳しい応募方法は、講談社 HP 特設サイトを必ずご確認ください。 <https://mangamatsuri.kodansha.co.jp>

※この物語はフィクションです。実在の人物・団体・出来事などとは、一切関係ありません。

※収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、コミックス発売当時のまま掲載しています。

# 俺の指先で濡れる世界(4)

2026年3月1日発行(01)

著 龍大和  
© 龍大和 / 講談社

発行者 宍倉立哉

発行所 株式会社 講談社  
〒112-8001  
東京都文京区音羽 2-12-21



KODANSHA